

福井市の 現状データ集

令和4年6月

総務部総合政策課



活用方法

- この資料は、統計データや本市が策定した計画に掲載されたデータ等を使ってグラフ化することで、本市の現状を「見える化」した資料です。
- 「第八次福井市総合計画」に掲げる14の政策ごとにデータを分類することで、各政策に関する様々な数字の動きが分かるように整理をしています。
- 下記のような様々なシーンでご活用いただけます。



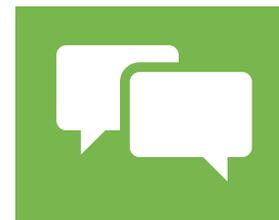
会議や審議会での
手持資料として



施策立案や予算要求
時の根拠資料として



計画策定時の
参考資料として



福井市の
紹介の資料として

目次

人口・財政



- (1)総人口の現状と予測 ……4
- (2)人口構成の現状と予測 ……5
- (3)出生・死亡の現状と予測(自然動態) ……6
- (4)転入・転出の現状(社会動態) ……7
- (5)財政状況の推移 ……8

政策1 公共交通



- (1)新幹線の延伸 ……9
- (2)新幹線開業効果 ……10
- (3)北陸新幹線の建設状況 ……11
- (4)並行在来線の運行 ……12
- (5)公共交通輸送 ……13
- (6)バス等の路線 ……14
- (7)レンタサイクル ……15
- (8)地域拠点・乗継拠点 ……16

政策2 中心市街地



- (1)福井駅周辺の再開発 ……17
- (2)空き店舗 ……18
- (3)まちなかのにぎわい ……19
- (4)足羽山のにぎわい ……20

政策3 生活インフラ



- (1)公共施設の状況(①) ……21
- (2)公共施設の状況(②) ……22
- (3)空き家 ……23
- (4)下水道 ……24
- (5)水道 ……25

政策4 地域活性化



- (1)若者の県内定着状況 ……26
- (2)転出超過(年齢別) ……27
- (3)転出超過(相手先都道府県) ……28
- (4)自治会加入率 ……29

政策5 共生、協働



- (1)女性の就業 ……30
- (2)夫婦の育児・家事、労働時間 ……31
- (3)男性の育児休業 ……32
- (4)市内在留外国人数の推移 ……33
- (5)ボランティア ……34

政策6 福祉



- (1)医療 ……35
- (2)出生の状況 ……36
- (3)保育 ……37
- (4)児童虐待 ……38
- (5)平均寿命と健康寿命 ……39
- (6)高齢化(現状) ……40
- (7)高齢化(予測) ……41
- (8)介護認定者数 ……42
- (9)障がい者 ……43
- (10)生活保護 ……44
- (11)ひきこもり ……45
- (12)保健衛生 ……46

政策7 環境



- (1)ごみ ……47
- (2)自然エネルギー、公害 ……48
- (3)気温変動、温室効果ガス ……49

政策8 防災、安全安心



- (1)火災・救急 ……50
- (2)自然災害 ……51
- (3)犯罪 ……52
- (4)消費者トラブル ……53
- (5)交通事故 ……54
- (6)免許返納 ……55

政策9 農林水産業



- (1)農業 ……56
- (2)漁業 ……57
- (3)林業 ……58
- (4)有害鳥獣の被害 ……59

政策10 商工業



- (1)所得 ……60
- (2)製造業(出荷額) ……61
- (3)製造業(従業者・事業所数) ……62
- (4)有効求人倍率 ……63
- (5)開業率・廃業率 ……64

政策11 観光



- (1)新幹線開業による経済波及効果 ……65
- (2)観光 ……66
- (3)観光地別 観光客入込数 ……67
- (4)外国人観光客 ……68
- (5)首都圏での認知度 ……69

政策12 文化、歴史、自然



- (1)文化指標の都道府県順位 ……70
- (2)文化財 ……71

政策13 学校教育



- (1)学力全国順位 ……72
- (2)体力全国順位 ……73
- (3)英語力 ……74
- (4)児童・生徒数 ……75

政策14 生涯教育、生涯スポーツ



- (1)生涯学習 ……76
- (2)図書館 ……77
- (3)スポーツ ……78

その他



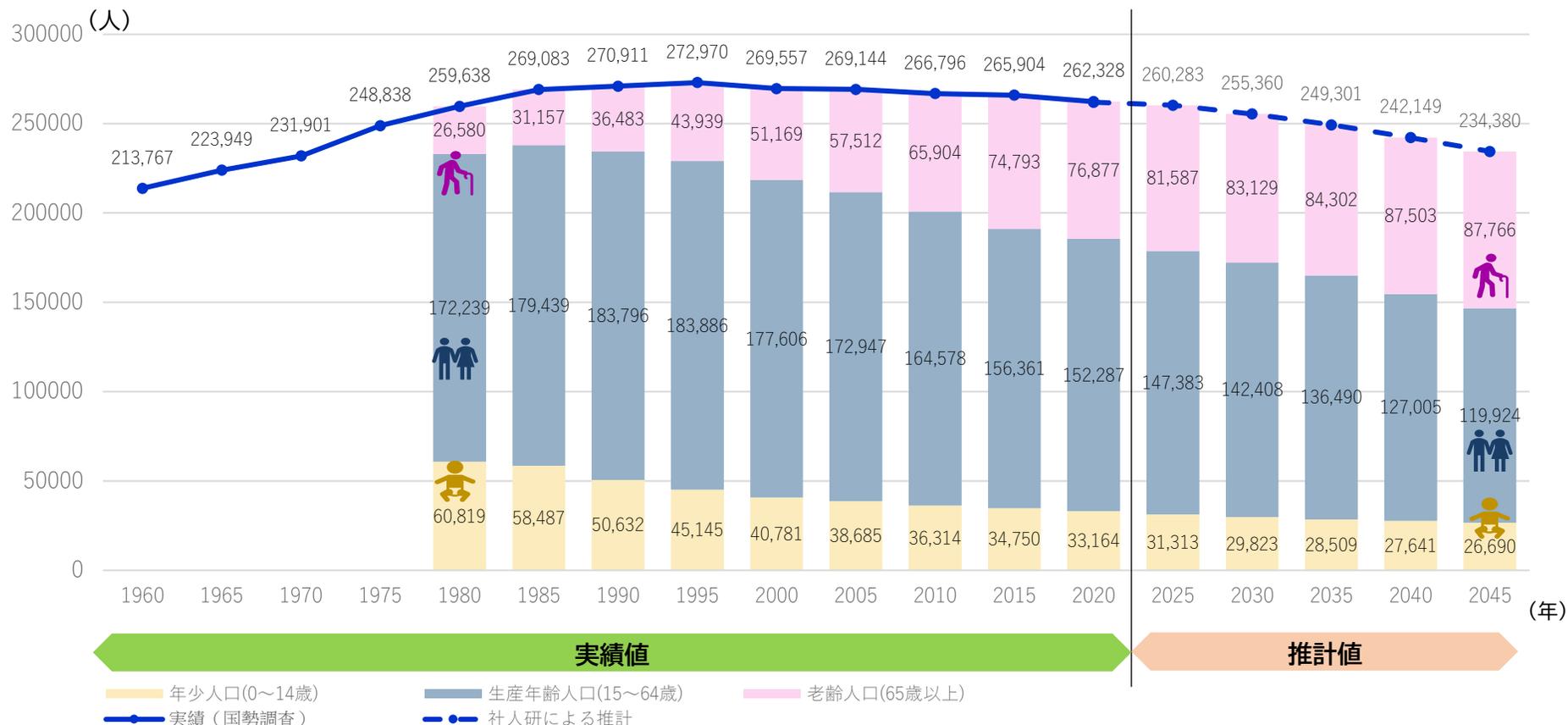
- (1)住みよさランキング ……79
- (2)中核市との比較 ……80

人口・財政

(1) 総人口の現状と予測

○本市の人口は、1995年（平成7）の約27万3千人がピーク。
 ○今後も減少傾向が続くと予測されており、2045年には、2020年より約2万8千人（約1割弱）減少する見通し。

●本市の人口と将来推計

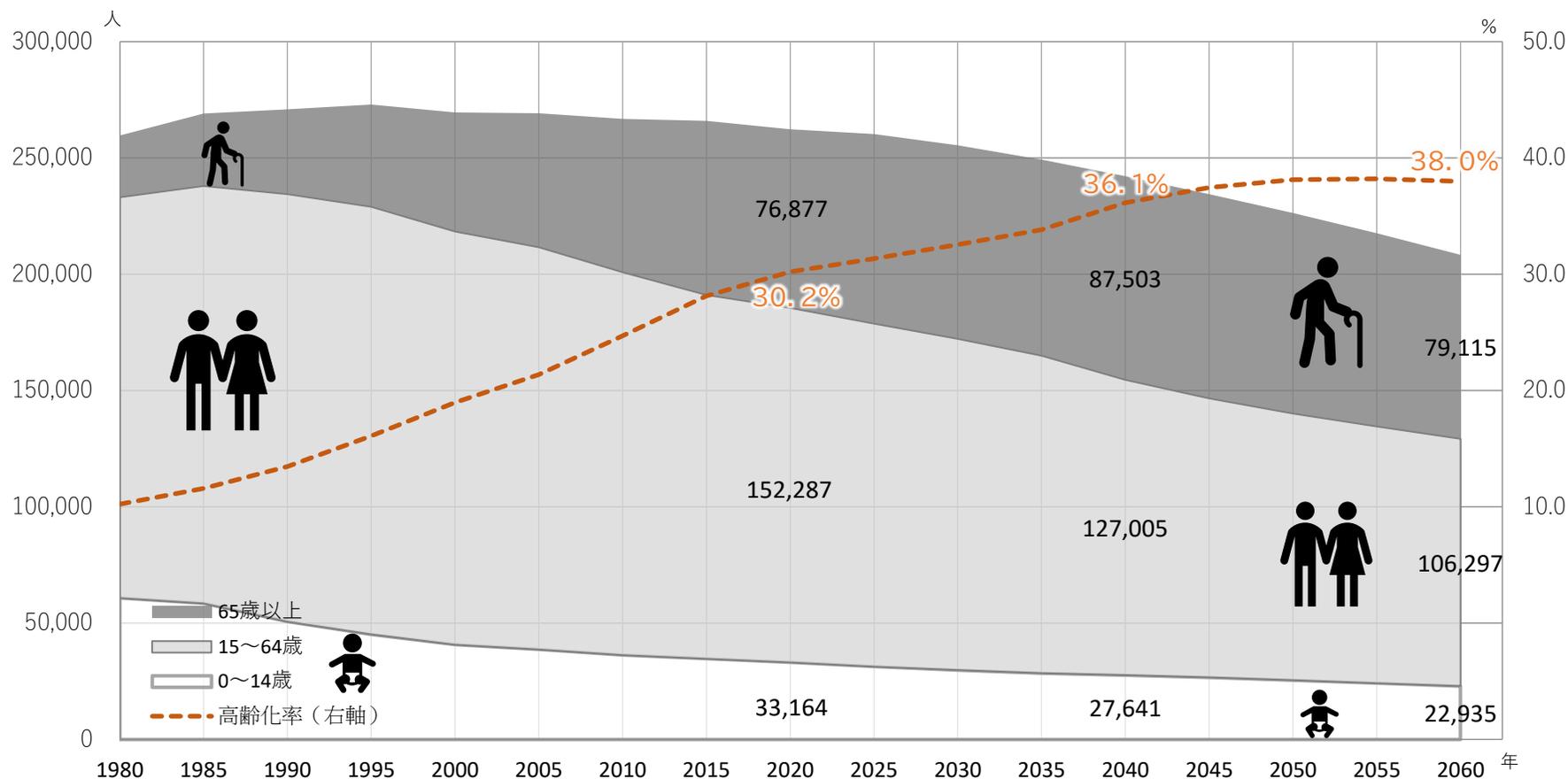


出典：実績値…国勢調査（～2020）
 推計値…国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」

(2)人口構成の現状と予測

- 年少人口（0～14歳）は減少し続け、2040年には、2020年に比べて約6千人減少して8割程度となる。
- 生産年齢人口（15～64歳）も大幅な減少が見込まれ、2040年には、2020年に比べて約2万5千人の減少となる。
- 高齢化率は上昇し続け、約38%で高止まりする。

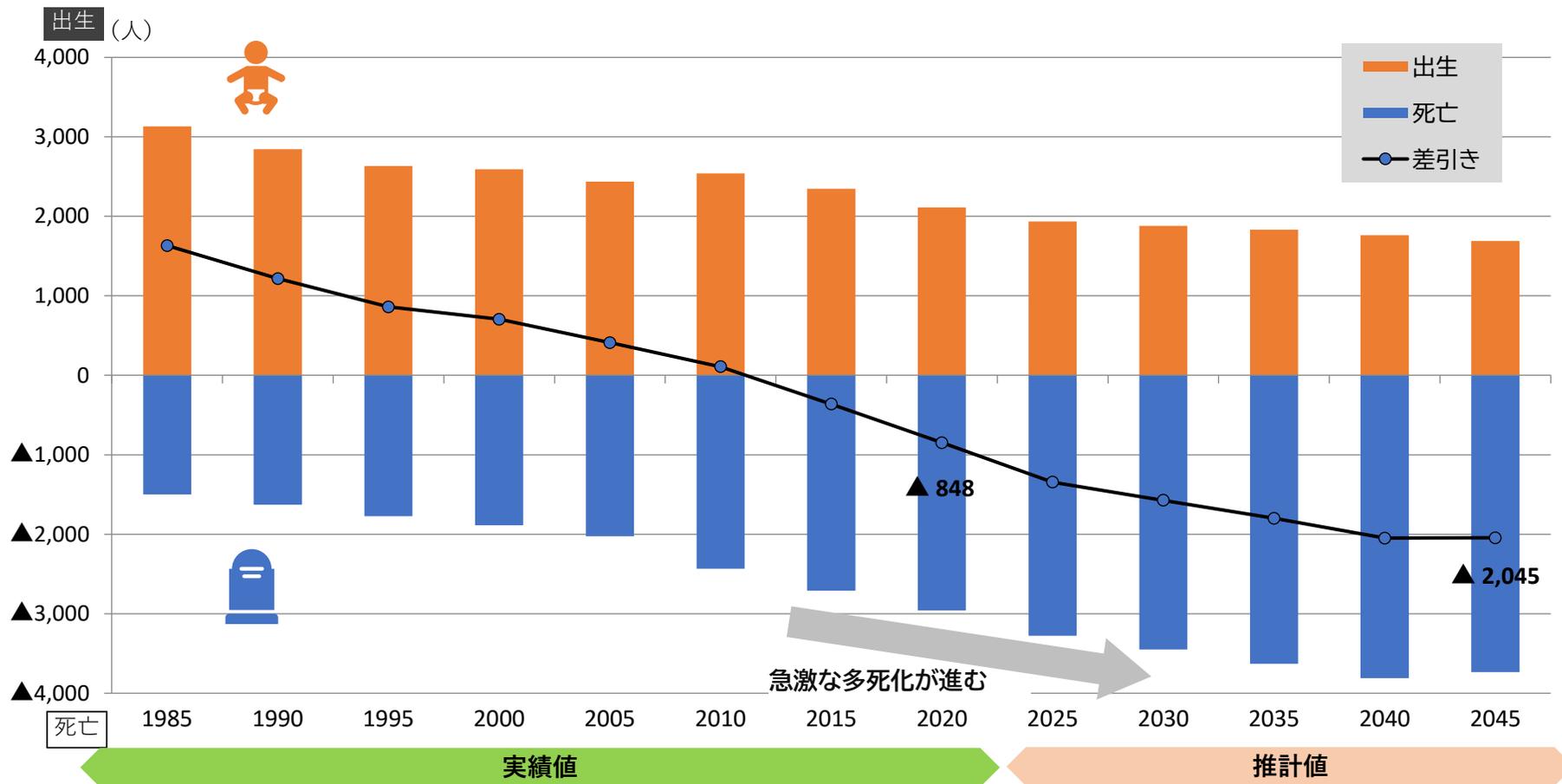
●本市の年齢3区分別人口の推移：2015年国勢調査に基づく社人研中位推計



(3) 出生・死亡の現状と予測(自然動態)

○死亡数は、高齢化が進展した結果として、今後、急激に増加し、2040年にピークを迎える。
 ○自然動態(出生数-死亡数)は、今後、プラスに転じることは無く、将来的に年間2,000人を超える自然減となる。

●本市の出生・死亡の現状と予測

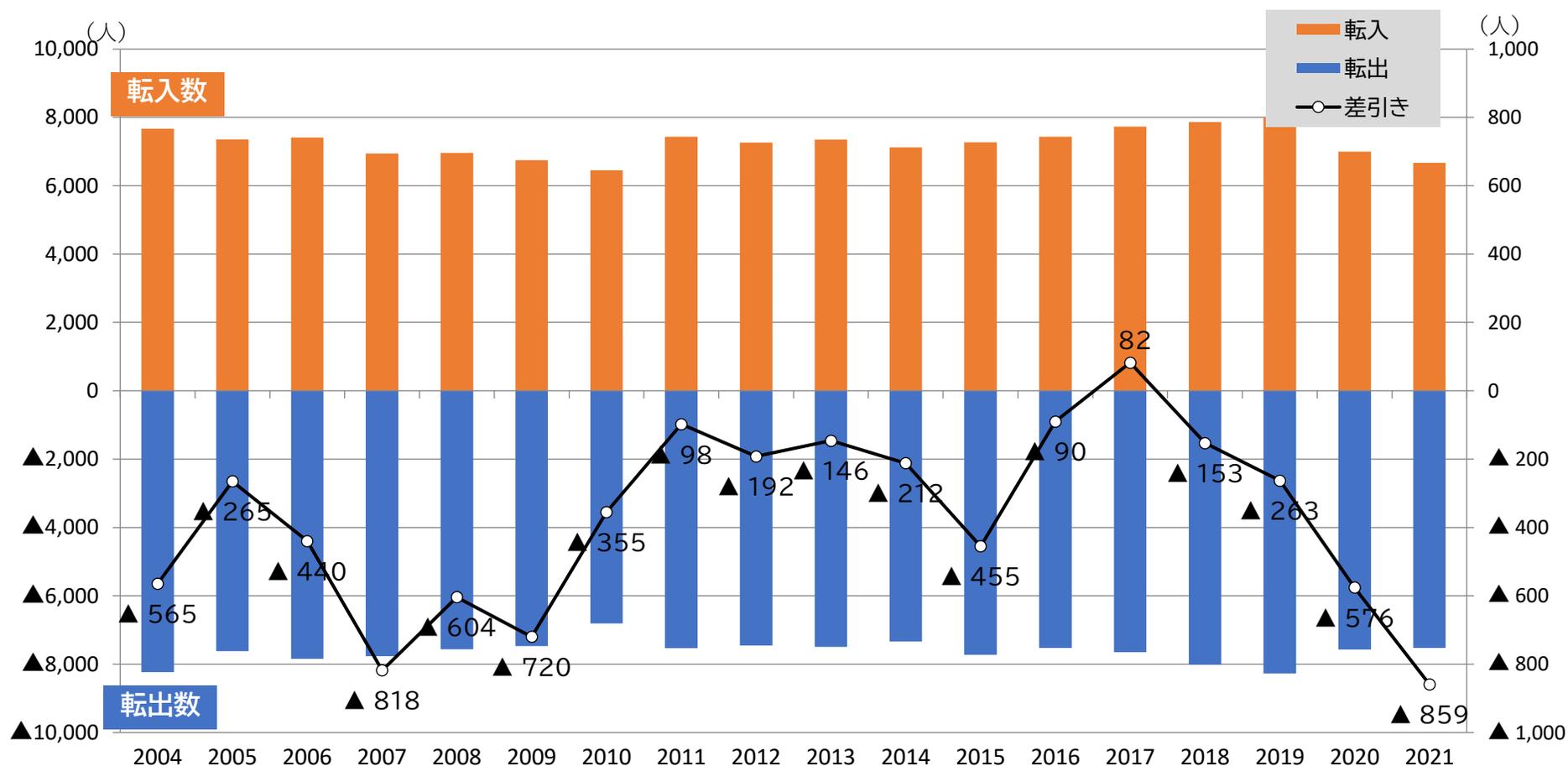


出典：実績値…福井市統計書
 推計値…国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」

(4) 転入・転出の現状(社会動態)

○2017年(平成29)を除き、全ての年において転出者が転入者を上回る転出超過の状態が続いている。

●本市における転入・転出の現状

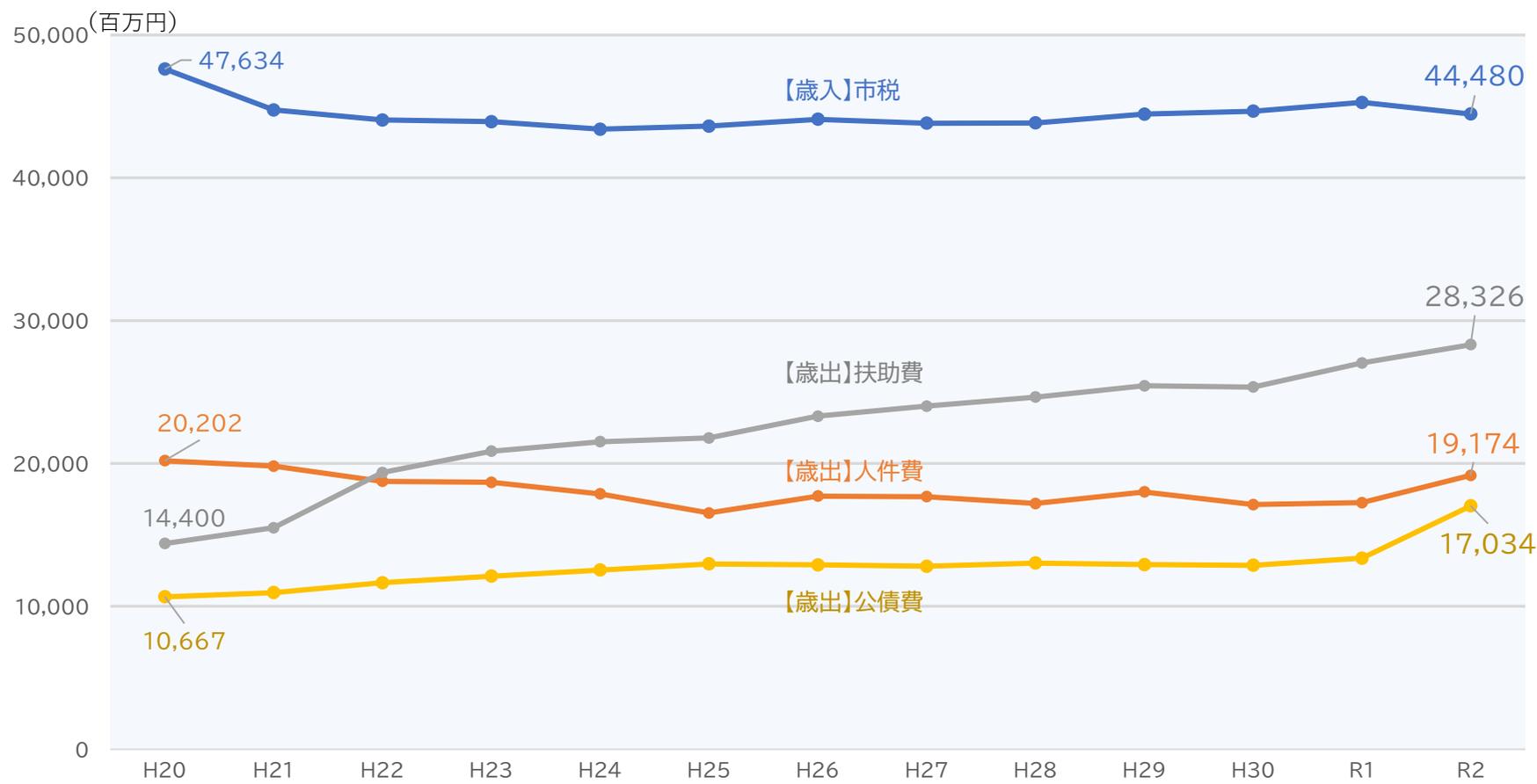


出典：福井市統計書

(5) 財政状況の推移

- 歳入の根幹となる市税については、ほぼ横ばいとなっている。
- 歳出については、扶助費や公債費などの義務的経費が増大している。

●本市の主要な歳入・歳出決算額(普通会計)の推移



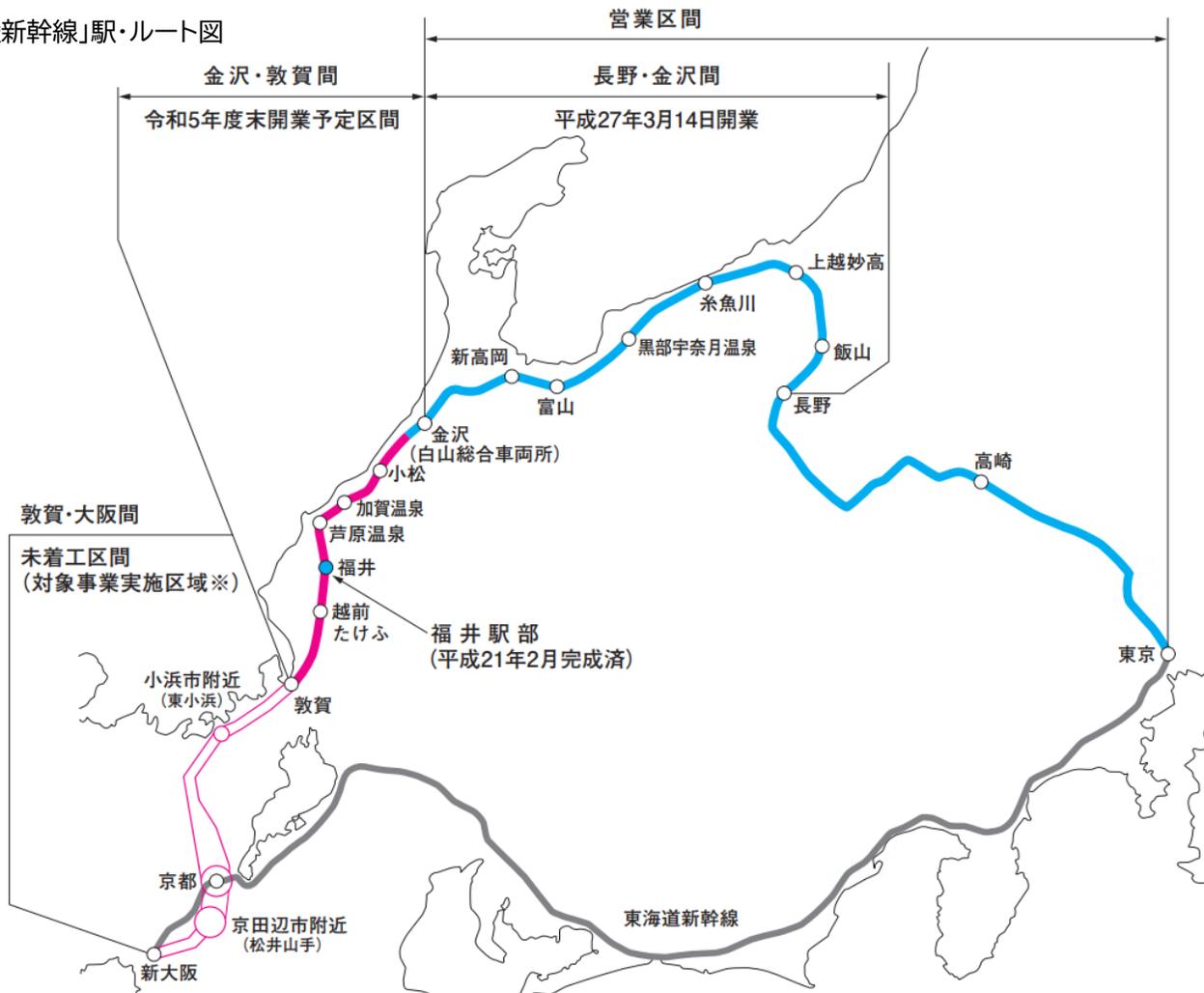
※百万円以下切り捨て 出典：市町村決算カード

公共交通

(1) 新幹線の延伸

- 新幹線福井開業により、首都圏をはじめとする沿線地域との移動時間が大幅に短縮され、上京、帰省等が容易になる。
- 福井が日帰り圏内となることにより、首都圏からの旅行者の増加が見込まれ、観光やビジネスの可能性が拡大する。

●「北陸新幹線」駅・ルート図



●福井駅から各都市への所要時間(全線開業後)

都市	所要時間	短縮時間
東京	2:53	32分短縮 (旧3:25)
長野	1:31	25分短縮 (旧1:56)
京都	0:40	39分短縮 (旧1:19)
新大阪	0:55	47分短縮 (旧1:42)
名古屋	1:29	8分短縮 (旧1:37)

※現行の所要時間は、R2.3.14改正ダイヤの最速値を使用
 ※開業後の所要時間は、国土交通省調査(H29.3)に基づく最速値及び福井県試算値(乗り換え時間10分)
 ※所要時間は想定値であり、開業後の運行ダイヤはJRが決定

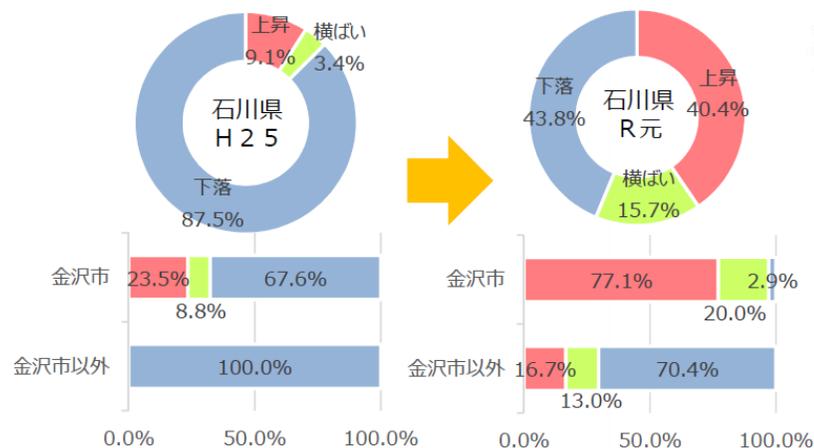
公共交通

(2)新幹線開業効果

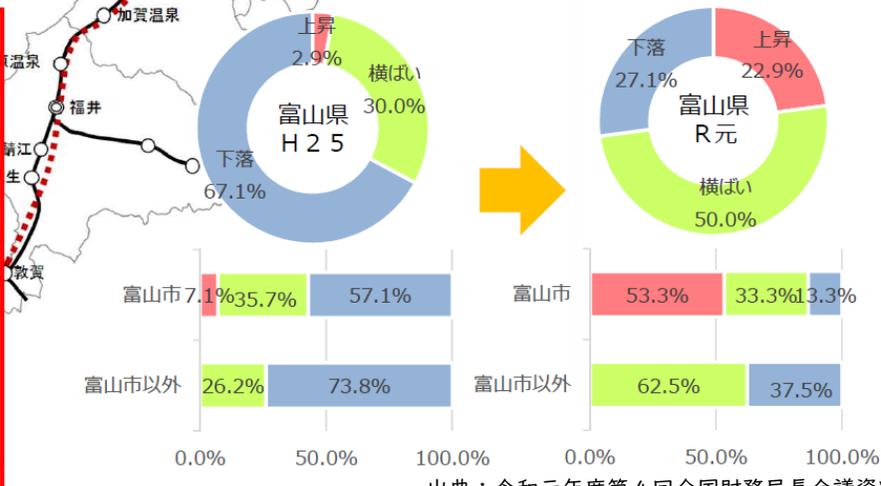
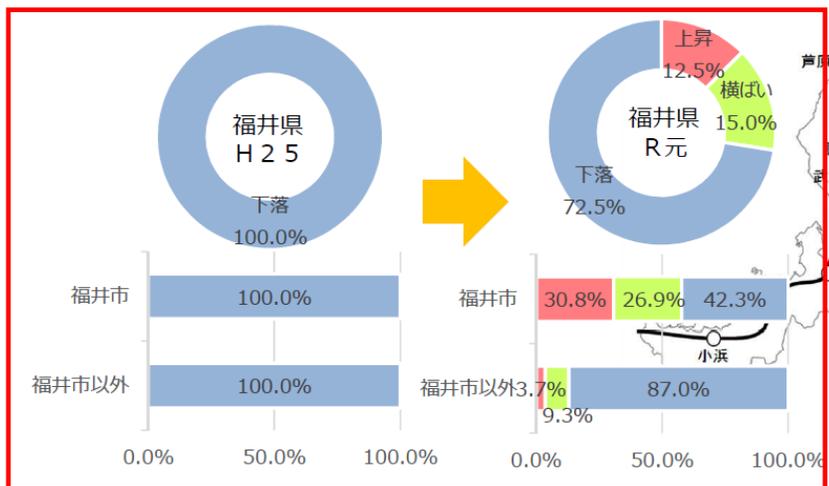
○北陸新幹線金沢開業効果により、石川県、富山県の基準地価が「上昇」・「横ばい」となった地点は、県庁所在地を中心に増加している。

○北陸新幹線の延伸を控える福井県でも、「上昇」・「横ばい」地点が増えている。

●北陸3県における基準地価(商業地)の変動状況



※北陸3県における商業地の基準地のうち、前年比で「上昇」、「横ばい」、「下落」の地点の数を割合にしたもの
 令和元年：石川県89地点、富山県70地点、福井県80地点
 平成25年：石川県88地点、富山県70地点、福井県75地点
 出典：福井県土木部土木管理課調べ



(3)北陸新幹線の建設状況

○北陸新幹線福井開業に向けて、着実に建設工事が進んでいる。

●北陸新幹線建設工事 福井市の進捗状況



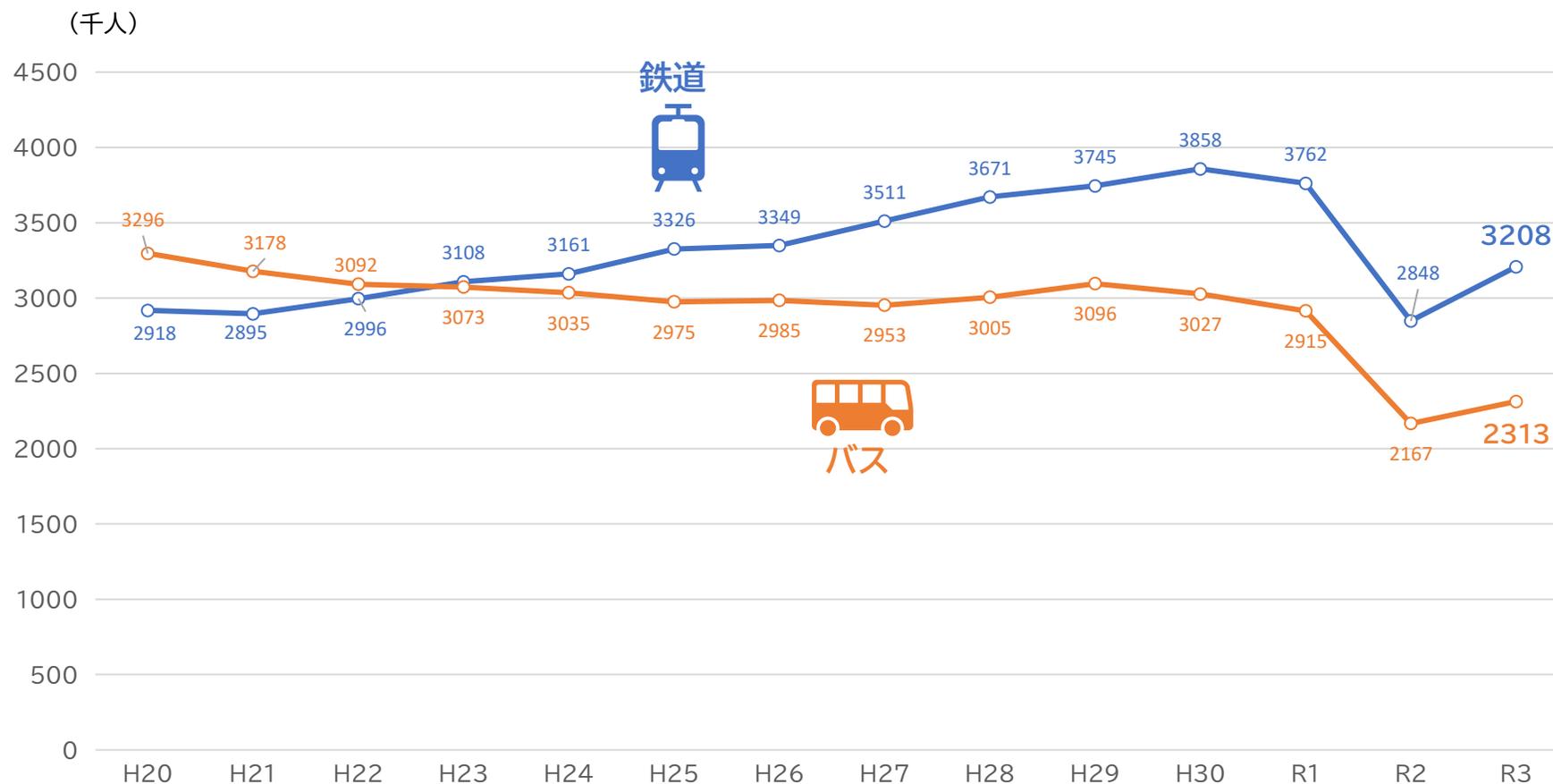
出典：福井市北陸新幹線建設促進協議会資料 (R4.5)

公共交通

(5)公共交通輸送

○鉄道の輸送人員数は増加傾向にあったが、コロナ禍による影響を受けた令和元年度以降は、大きく落ち込んでいる。

●福井市内の鉄道・バス輸送人員の推移

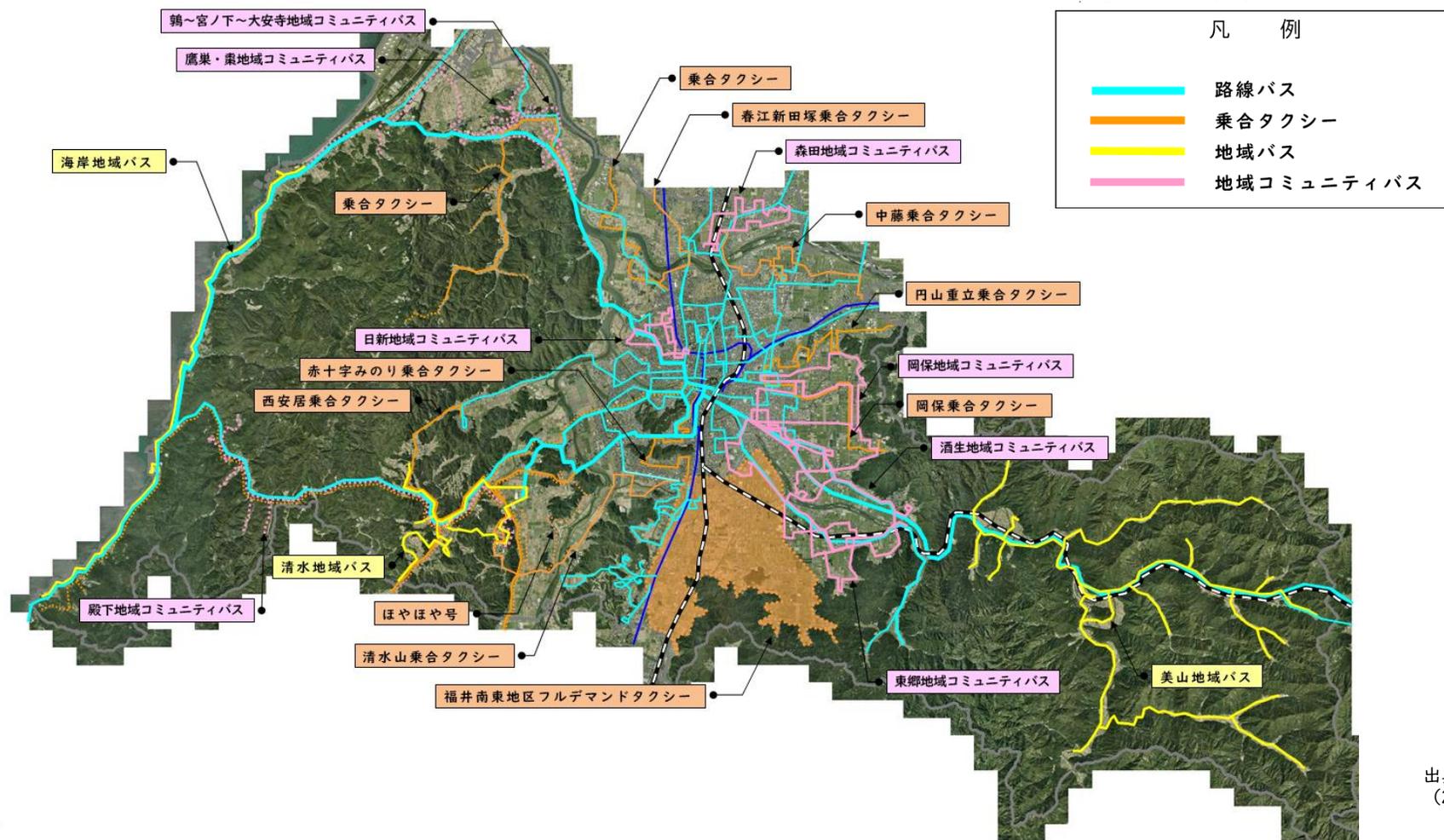


公共交通

(6)バス等の路線

○各地域の実情に応じた様々な運行形態のバスやタクシーが運行している。

●福井市内のバス及び乗合タクシーの路線図



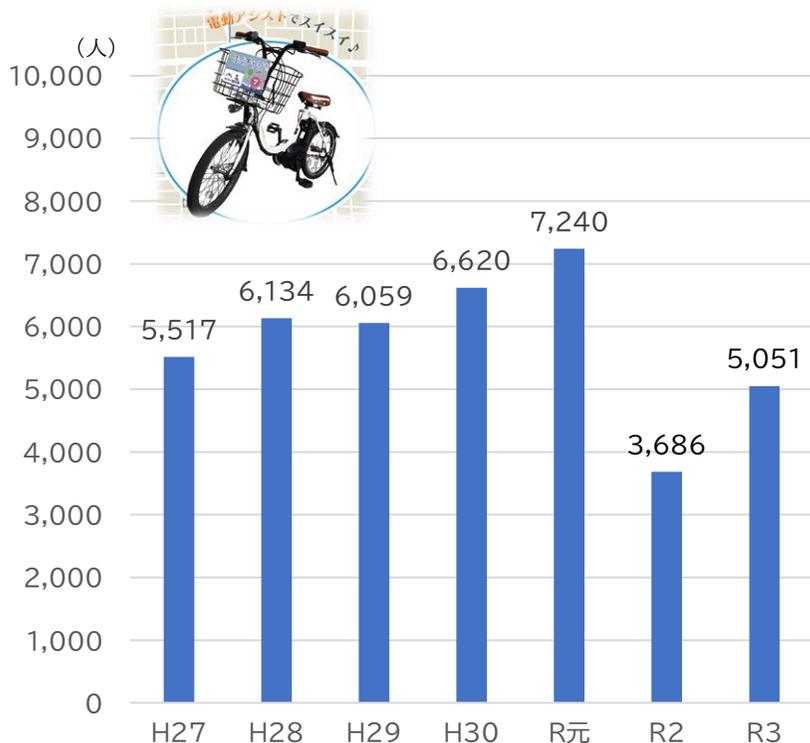
出典：福井市調べ
(2022.04)

公共交通

(7) レンタサイクル

○まちなかレンタサイクル「ふくチャリ」の利用者数について、令和3年度では5,000人以上の方が利用している。

●まちなかレンタサイクル「ふくチャリ」の利用者数推移



4時間以内	200円
1日 (~21:00まで)	500円
※ 1日ごとに、500円の追加料金となります。	

●貸出ポート配置図(R4. 4. 1時点)



公共交通

(8) 地域拠点・乗継拠点

○生活の場面に応じた移動手段を確保し、持続可能な地域を形成するため、身近な生活空間の中心となる機能が集積する「地域拠点」13箇所と、各種交通モードを乗り継げる「乗継拠点」14箇所を設定し、乗継利便性の向上等を図る。

●地域拠点・乗継拠点位置図



中心市街地

(1) 福井駅周辺の再開発

○アオッサ(2006年度[平成18])やハピリン(2015年度[平成27])などの大型再開発事業が順次完成。
○さらに、北陸新幹線福井・敦賀開業を控え、駅前電車通り北地区などの再開発が進行中。

●再開発事業位置図



① 御屋形地区
事業名 御屋形地区
第一種市街地再開発事業
名称 AREC CITY おやかた
規模 地下3階、地上17階
完成 平成3年度



② 浜町桜橋地区
事業名 浜町桜橋地区
優良建築物等整備事業
名称 ロアール濱町桜橋
規模 地下2階 地上11階
完成 平成18年度



⑩ 中央1丁目18番地区
事業名 中央1丁目18番地区
優良建築物等整備事業
名称 ドーミーイン福井
規模 地上9階
完成 平成30年度



⑨ 大手2丁目地区
事業名 大手2丁目地区
優良建築物等整備事業
名称 プレミスト大手さくら通り
規模 地上14階
完成 平成22年度



③ 中央3丁目地区
事業名 中央3丁目地区
優良建築物等整備事業
名称 幸橋グランデCHA
規模 地下2階 地上12階
完成 平成21年度



⑧ 三の丸地区
事業名 福井市三の丸地区
第一種市街地再開発事業
名称 三の丸ビル
規模 地下1階 地上15階
完成 平成14年度



④ 中央1丁目地区
事業名 中央1丁目地区
優良建築物等整備事業
名称 サカエパーキング「P+」
規模 地上5階
完成 平成18年度



⑤ 中央1丁目(駅前南通り)地区
事業名 中央1丁目(駅前南通り)地区
優良建築物等整備事業
名称 エリアス
規模 地上14階
完成 平成21年度



⑥ 福井駅西口中央地区
事業名 福井駅西口中央地区
第一種市街地再開発事業
名称 Happiring(ハピリン)
規模 地下2階 地上21階
完成 平成27年度



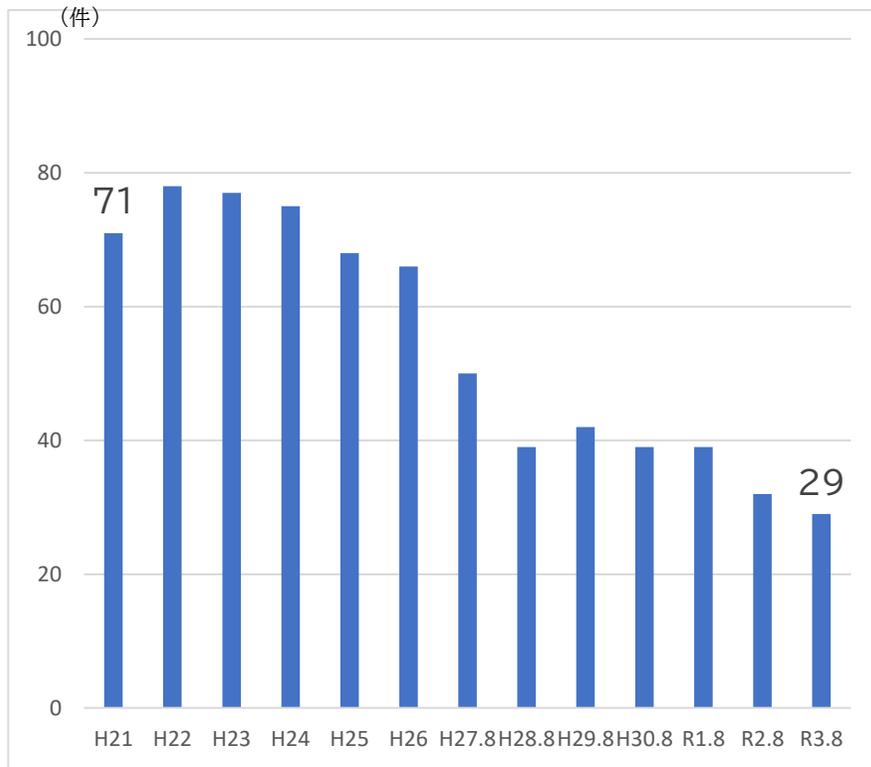
⑦ 手寄地区
事業名 手寄地区第一種
市街地再開発事業
名称 AOSSA
規模 地下2階 地上10階
完成 平成18年度

中心市街地

(2) 空き店舗

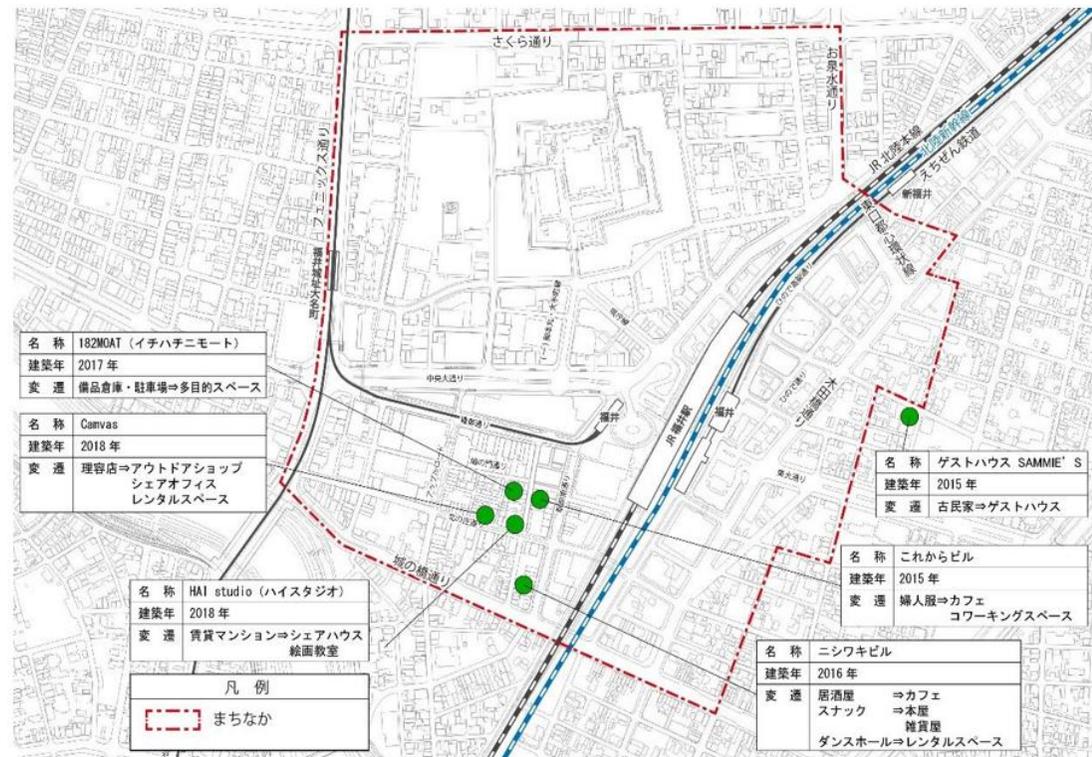
○中心市街地における空き店舗については、平成28年のハピリン開業を境に大きく減少している。
○平成28年以降の空き店舗数は、概ね横ばいで推移している。

●中央1丁目における空き店舗の推移



出典：福井駅周辺地区交通戦略（資料作成：まちづくり福井（株）福井市調べ）

●中央1丁目付近におけるリノベーションされた空き店舗等



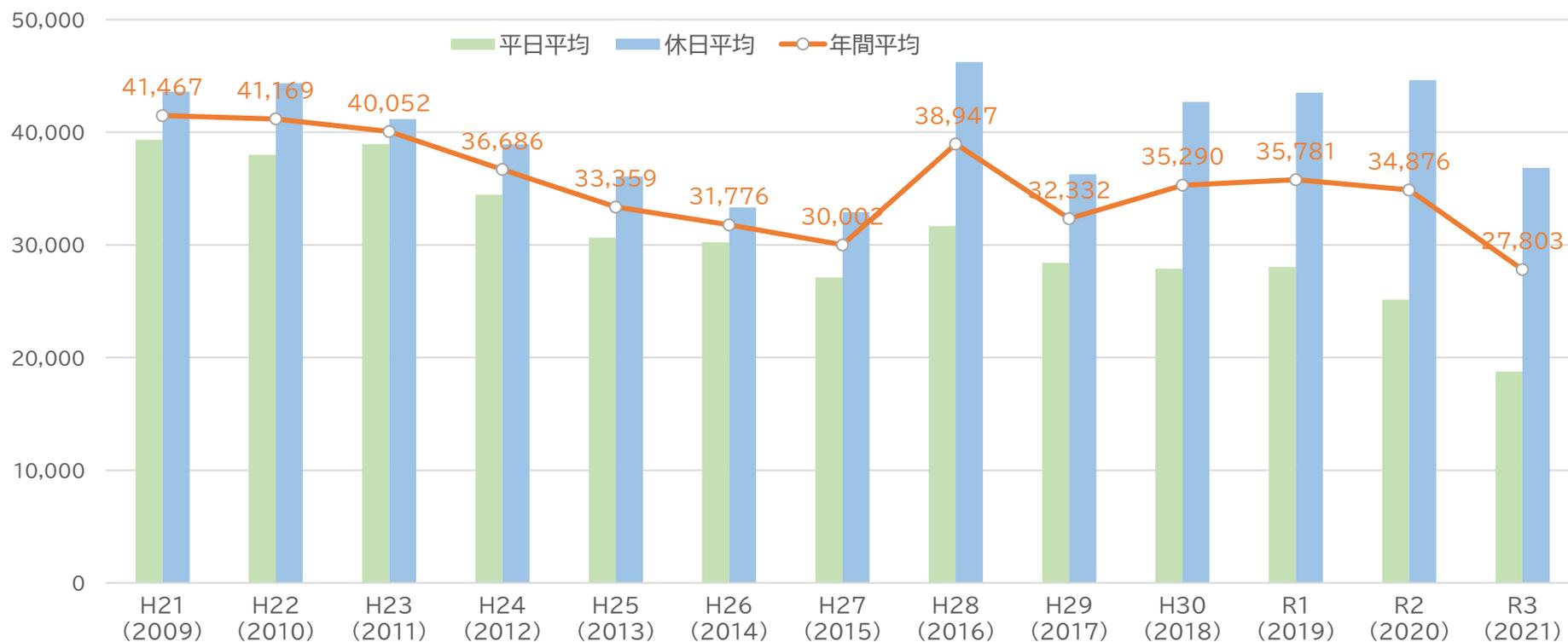
出典：福井駅周辺地区交通戦略（福井市調べ）

中心市街地

(3) まちなかのにぎわい

- 福井駅周辺における2021年(令和3)の歩行者・自転車数は、大きく減少している。
- 近年では、平日と休日の通行量の差が大きくなる傾向にある。

●福井駅周辺(中央1丁目)における歩行者・自転車通行量の推移

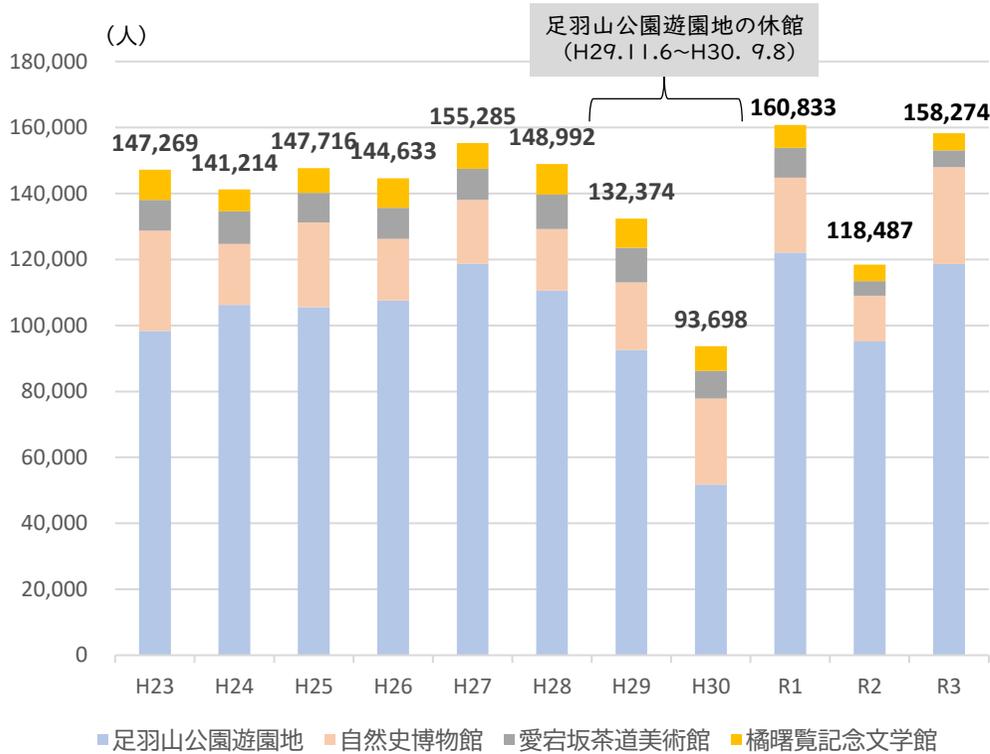


中心市街地

(4)足羽山のにぎわい

○ふれあい動物舎「ハピジャン」のオープンにより、足羽山公園遊園地の利用者数が大きく増加している。

●足羽山主要施設の利用者数の推移



【参考】

・ふれあい動物舎「ハピジャン」がオープン(H30.9.9~)



- ・自然史博物館内に「足羽山ビジターセンター」を整備
- ・白山連峰が一望できる「白山テラス」に、休憩スペースを設置(H30.9.15~)



生活インフラ

(1) 公共施設の状況(①)

○本市には様々なインフラが整備されており、これらを適正に維持管理していくためには、多額の費用が必要となる。

●インフラ施設の状況(平成27年3月末現在)

類型区分	大分類	中分類	主な施設	施設数	
インフラ施設	都市基盤施設	道路	都市計画道路、一級市道、二級市道、その他の市道、自転車歩行車道	7,207路線	延長 2,055,883m
			橋梁	1,782橋	橋長 13,163m
			トンネル	1カ所	延長 270m
		河川	河川(準用河川・普通河川等)	267本	延長 173,437m
			河川公園、桜づつみ等	12カ所	
			樋門、樋管	114カ所	
			排水機場	8カ所	
			街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園、歴史公園・緑地など	484園	面積 247ha
		公園	観光関連公園・遊歩道	28カ所	
			運動公園、スポーツ施設(サッカー場、グラウンドなど)	18カ所	
	広場	駅前広場等	4カ所		
	農林水産関連施設	農道	広域農道・農免農道	8路線	延長 27,100m
			農道橋	21橋	橋長 743m
			トンネル	1カ所	延長 162m
		林道	林道(軽車道・自動車道)	263路線	延長 394,300m
			橋梁	67橋	橋長 519m
		公園	トンネル	1カ所	延長 360m
			農村公園	21カ所	
		森林公園	4カ所		
		漁港	第1種漁港、第2種漁港	7港	
		集落排水	集落排水処理施設、集落排水管路	28カ所	
	その他施設	用水路	用悪水路	77カ所	延長 379,744m
			排水機場	19カ所	
		樋門・樋管	9カ所		
		トイレ	観光施設トイレ、公衆トイレ、マンホールトイレ等	253カ所	
		駐車場	平面駐車場	10カ所	面積 8,908㎡
	駐輪場		26カ所	駐輪台数 3,721台	
その他	携帯電話関連施設、防災行政無線関連施設	243カ所			
公営企業施設	上水道	上水道	上水管路		配水管総延長 2,000,393m
			配水池	23カ所	
		浄水場	9カ所		
		簡易水道	簡易水道施設	21カ所	
	飲料水供給施設		13カ所		
	下水道	下水道	簡易水道管		簡易水道管総延長 87,221m
			下水管路		下水管総延長 1,444,365m
			雨水貯留槽・雨水貯留管等	14カ所	
			ポンプ場	24カ所	
			マンホールポンプ	160カ所	
下水処理場等			7カ所		
ガス	ガス	ガス管路		ガス管総延長 541,930m	
		ガス工場	1カ所		

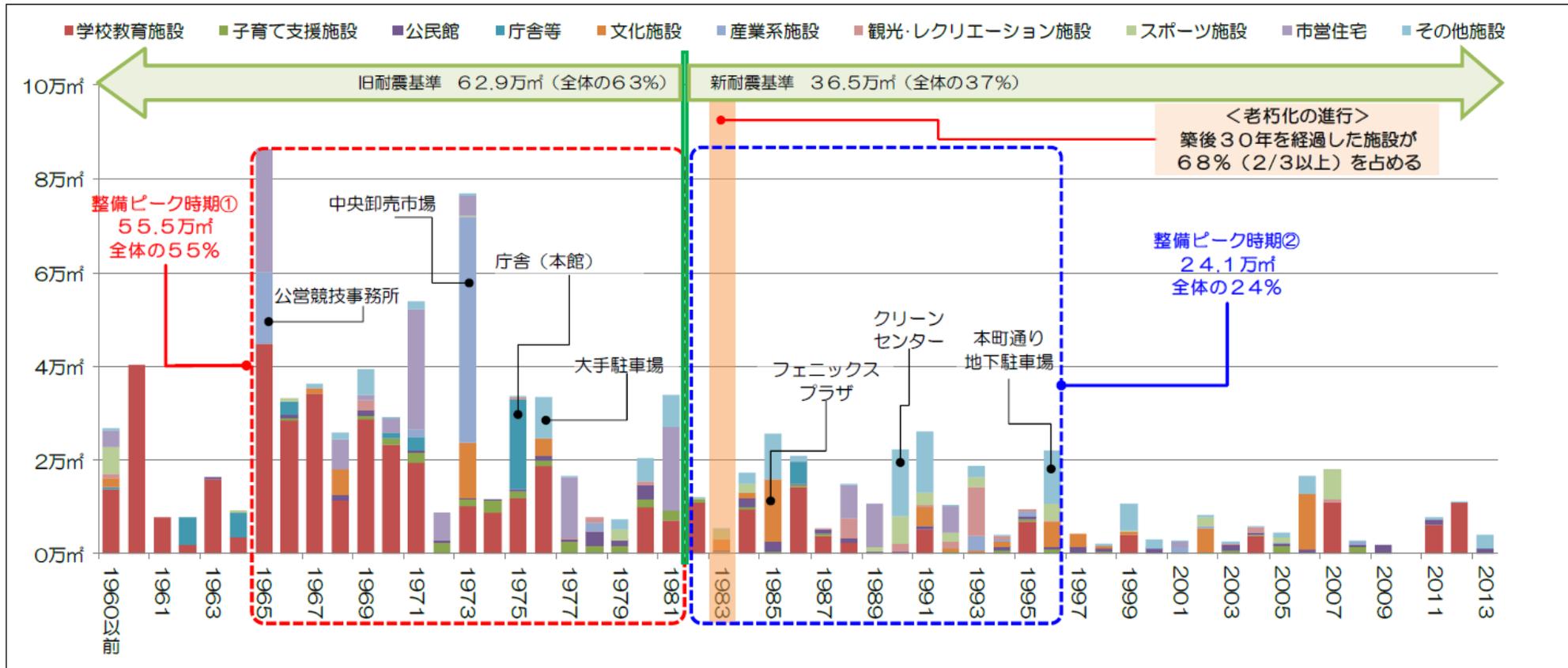
出典：福井市公共施設等総合管理計画

生活インフラ

(2) 公共施設の状況(②)

○1965～1981年度(昭和40～56)の高度経済成長期に公共施設を集中的に整備していることから、今後、一斉に更新時期を迎えることとなる。

●建築年度別の施設整備状況(建物施設)

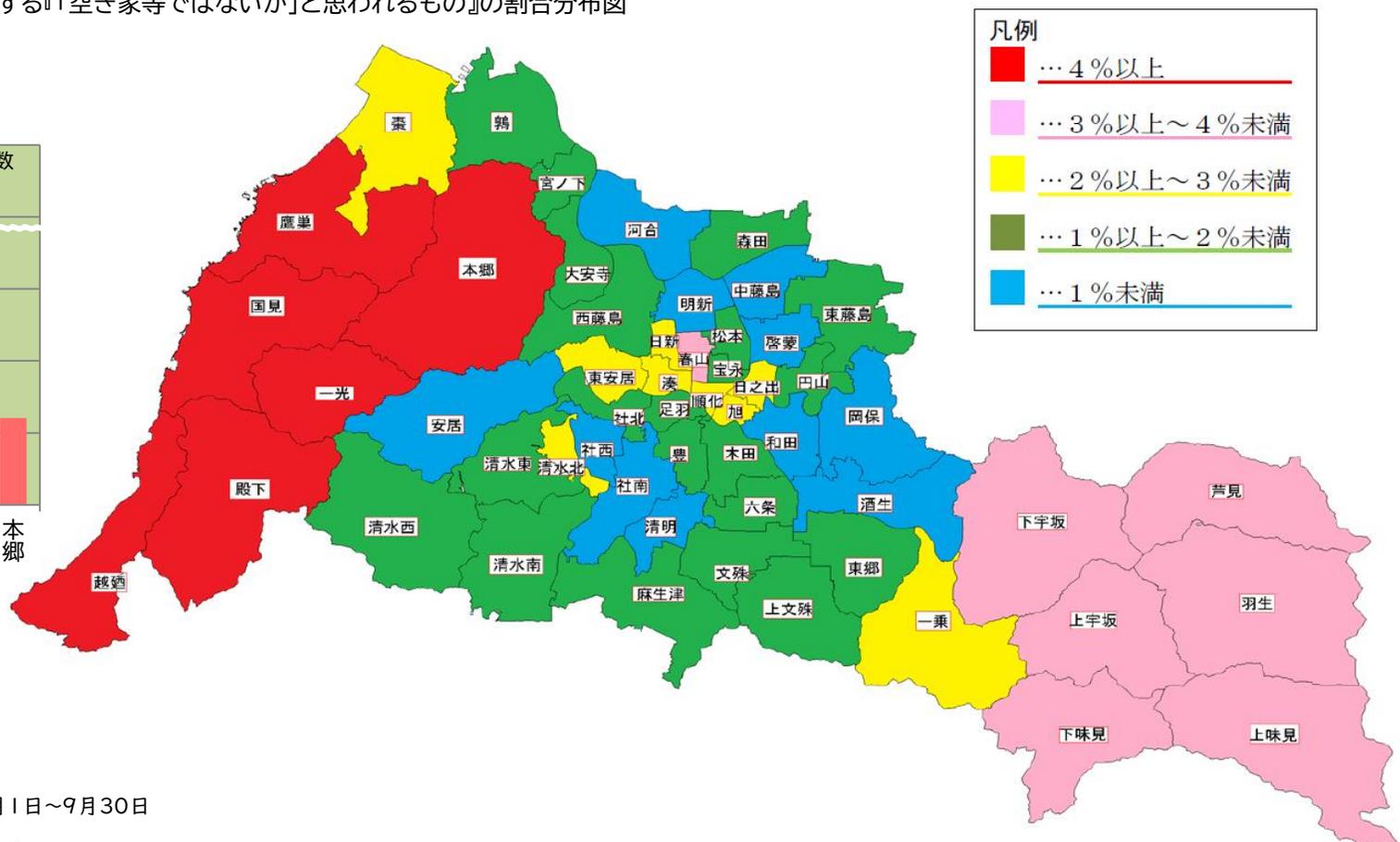
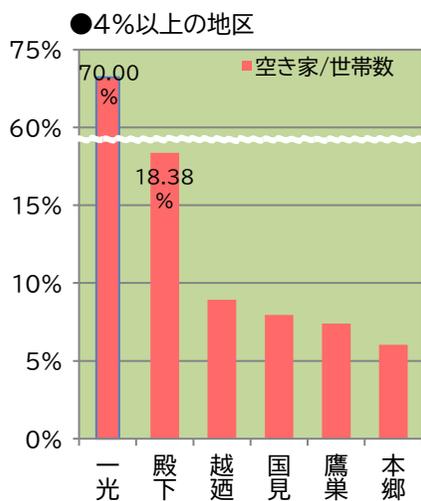


生活インフラ

(3) 空き家

○過疎化の進行が考えられる山間部や、海岸部の区域において、空き家の割合が高い。
 ○市街地やそこに隣接する区域は、空き家等の割合が比較的低くなっているが、市中心部では周辺隣接区域と比べてやや高い傾向が見られる。

●公民館区域毎の世帯数に対する『空き家等ではないか』と思われるもの』の割合分布図



調査期間:平成29年6月1日～9月30日

調査件数:7386件

調査方法:外観目視による建物や敷地の使用状況、洗濯物の有無等の日常生活感、電気メーターの稼働状況から総合的に判断

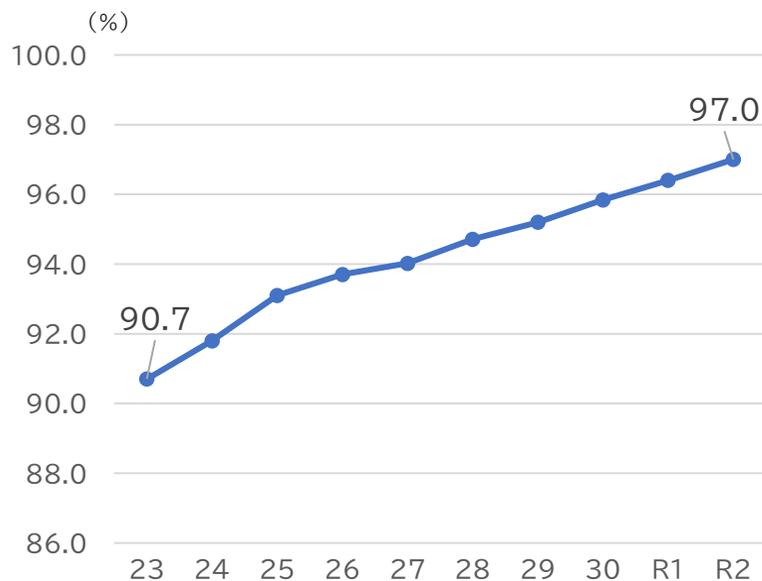
出典:福井市空き家等対策計画

生活インフラ

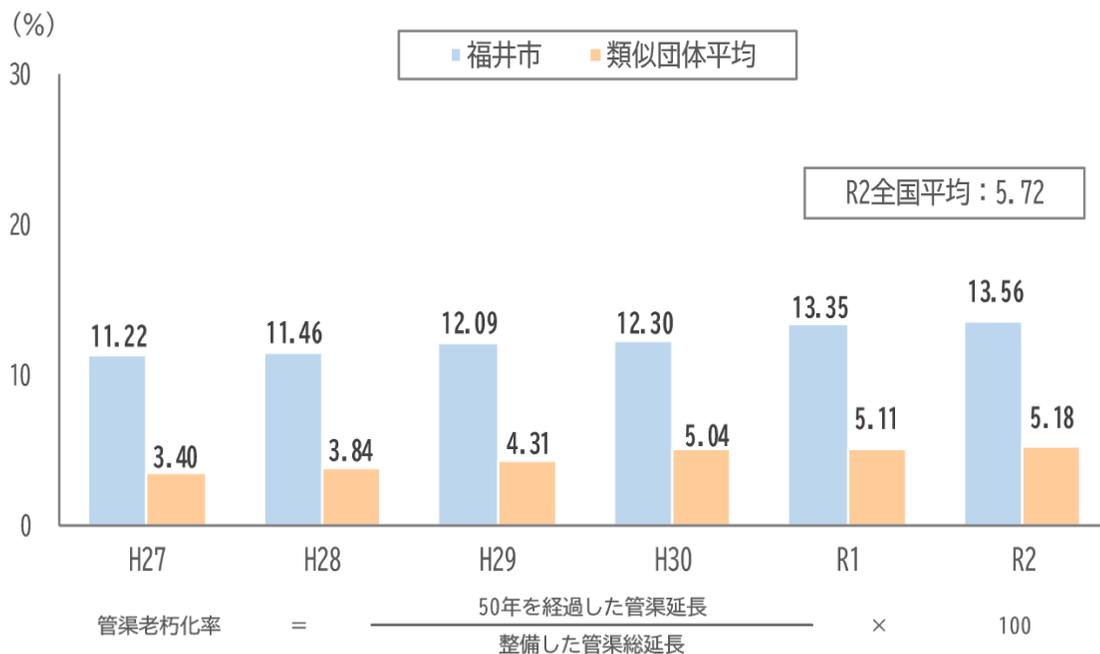
(4) 下水道

○未普及地域への下水管の延長により、下水道の人口普及率は2020年度(令和2)末時点で97.0%となっている。
○本市の管渠老朽化率は、類似団体や全国平均に比べ、約2倍となっており、老朽化が著しく進行している。

●本市の下水道の人口普及率*の推移(年度)



●管渠老朽化率の推移(特定環境保全公共下水道を除く)



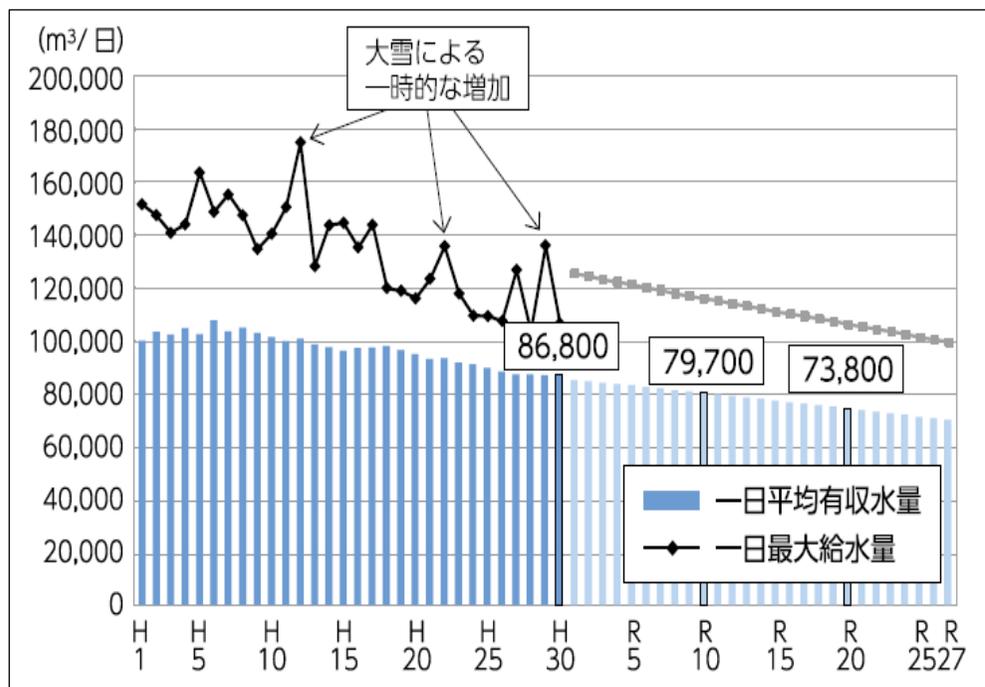
*整備計画区域内の人口に対する供用人口(公共下水道に接続できる人口)の割合

生活インフラ

(5)水道

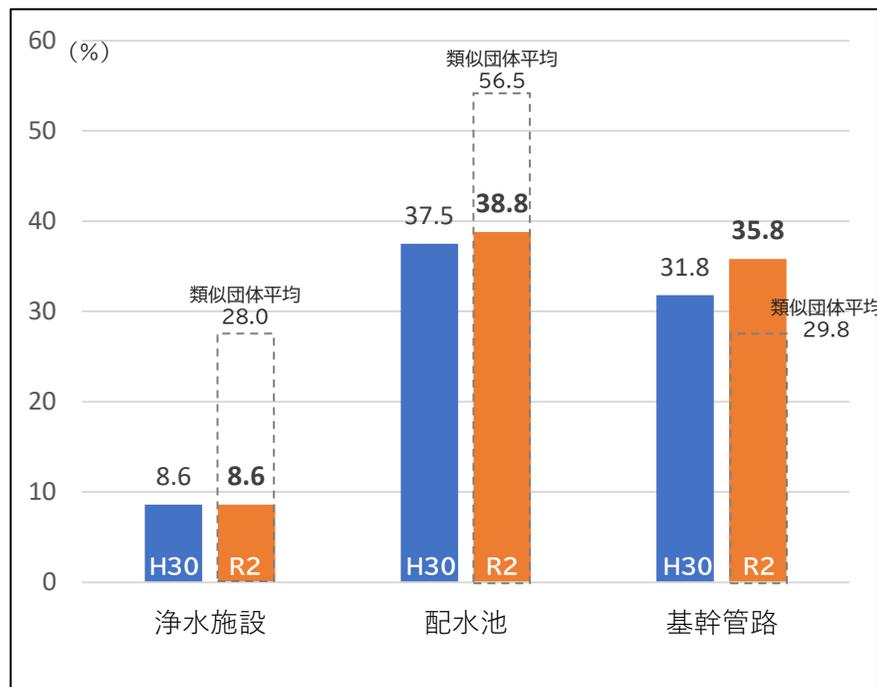
- 人口減少や節水機器の普及などにより、使用水量は年々減少しており、今後も減少する見込み。
- 福井市の水道施設の耐震化率は、類似団体平均と比べ、低い状況となっている。(基幹管路を除く)

●本市の給水量の見通し



※有収水量…料金徴収の対象となった水量
※平成30年以降は見込値

●本市の水道施設の耐震化率の推移



地域活性化

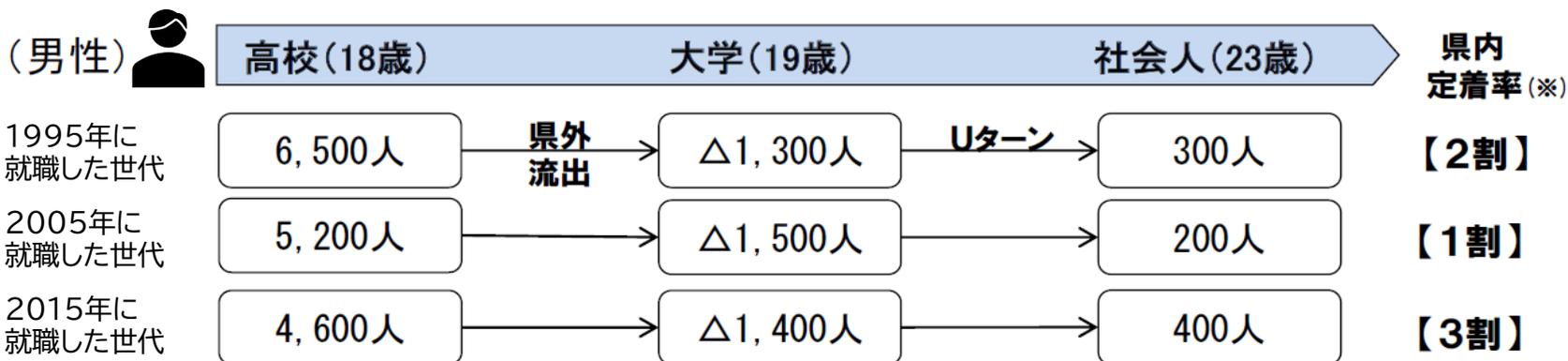
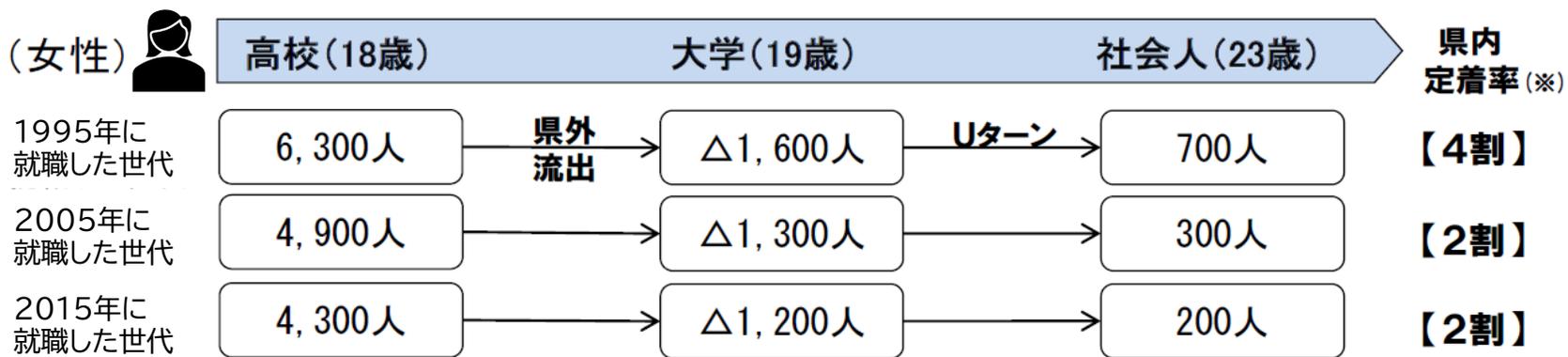
(1)若者の県内定着状況

○1995年(平成7年)は、高校卒業時に県外転出した女性のうち約4割がUターンしていたが、2005年(平成17年)からは2割に低下。

○男性では、2005年にUターン率が1割まで低下していたが、2015年では、3割程度に回復。

●若者の県内定着率の比較(1995年、2005年、2015年)

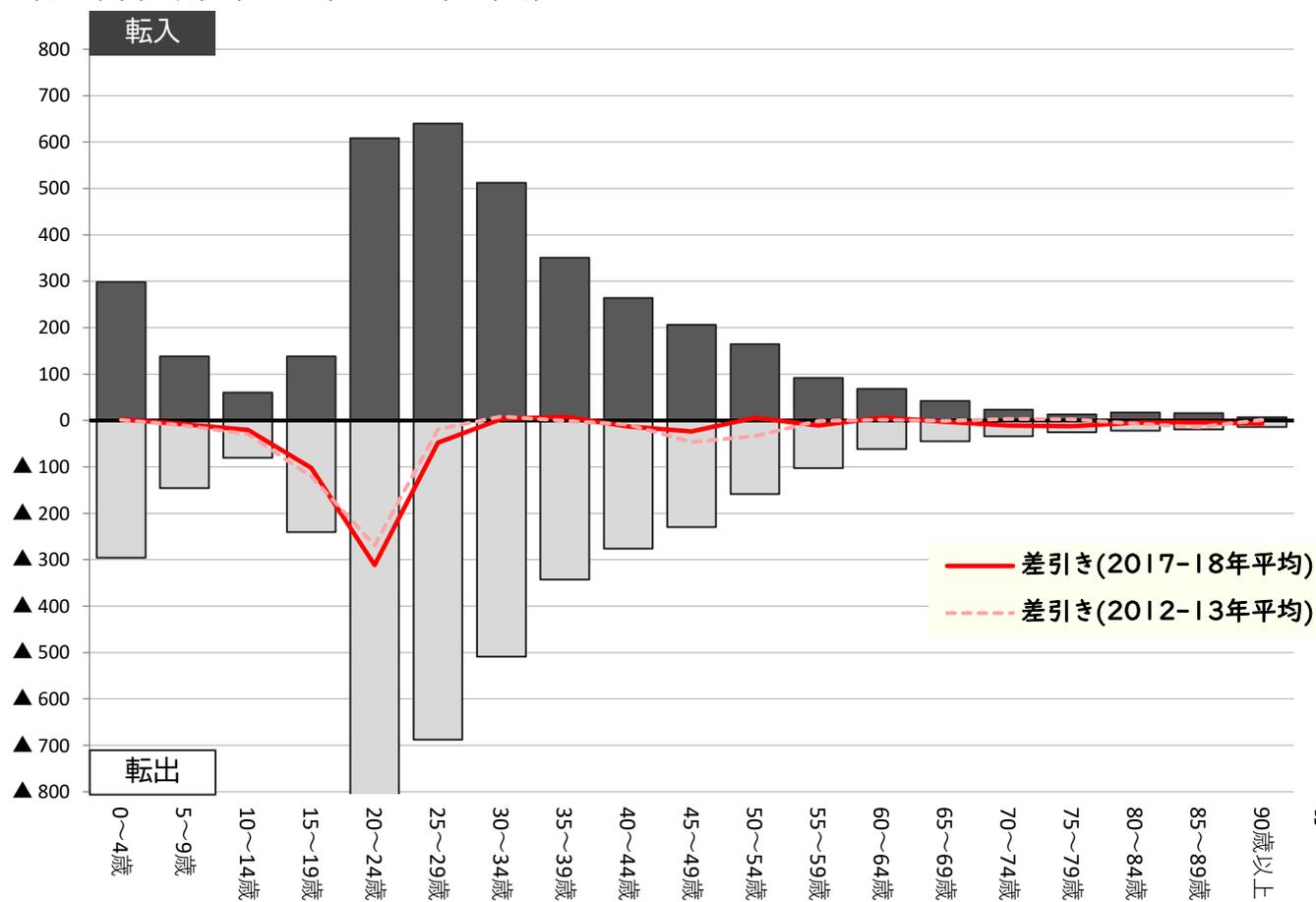
※県内定着率 … 県外流出者÷Uターン者



(2) 転出超過(年齢別)

○大学への進学や、卒業・就職がきっかけと考えられる、15～19歳、20～24歳の県外転出が引き続き顕著である。
 ○2012-13年(平成24-25)の平均と比較すると、20代の転出超過は改善されていないが、35歳～54歳のファミリー層は、わずかながら改善傾向にある。

●年齢別 県外との転入・転出の現状 (2017年、2018年の平均)



出典：住民基本台帳人口移動報告（総務省）

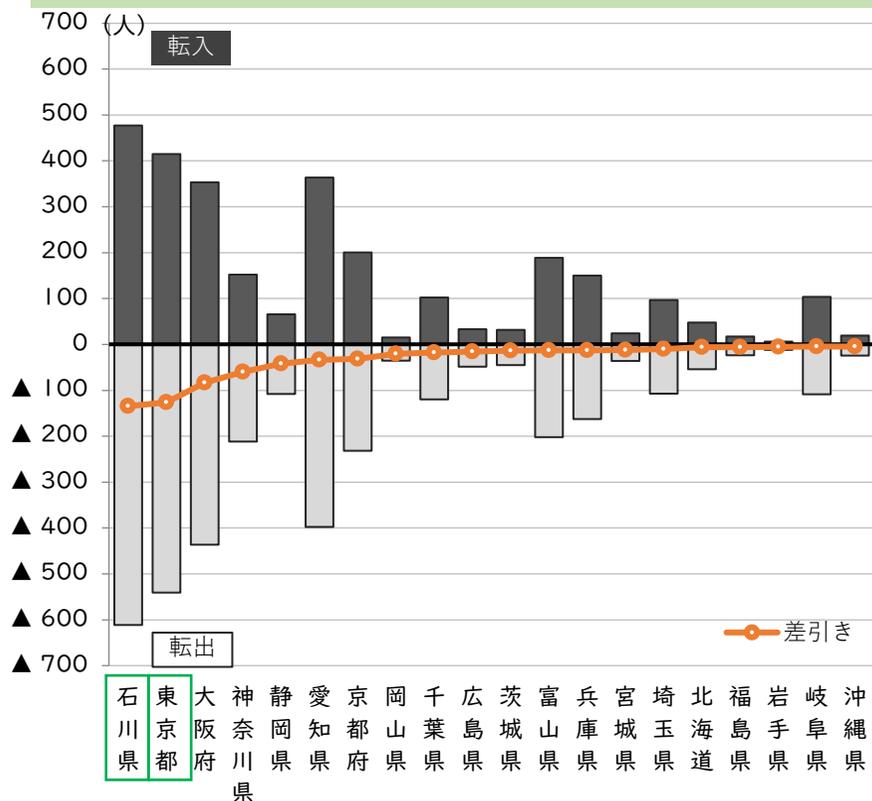
地域活性化

(3) 転出超過(相手先都道府県)

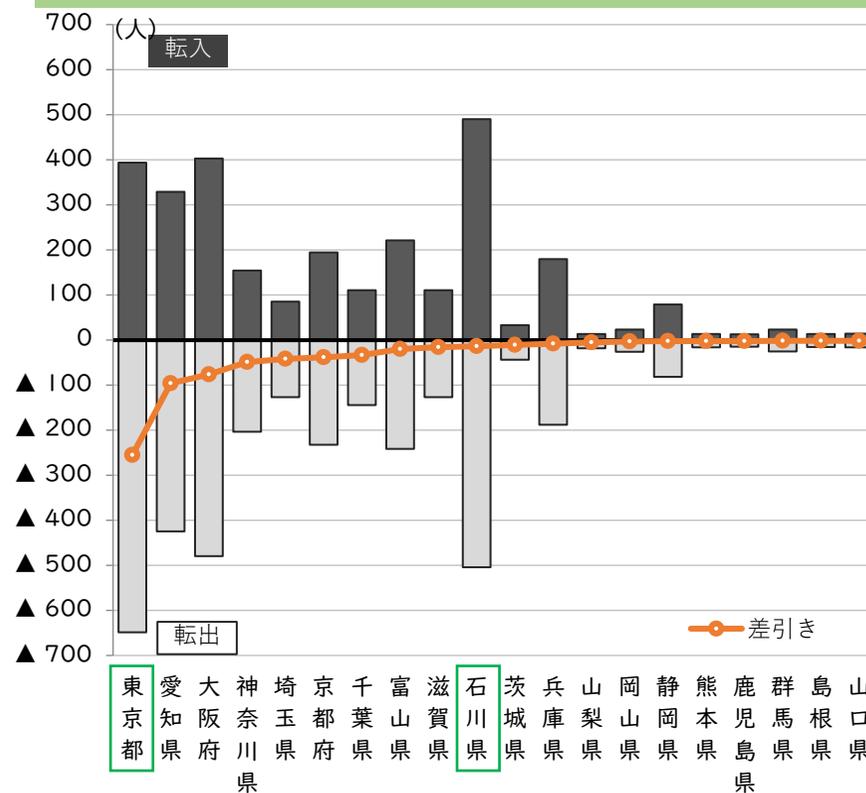
- 近年は、東京都への転出超過が増加している。
- 男女ともに、東京圏をはじめ、中京圏、関西圏など三大都市圏への転出超過が続いている。

●転出超過が大きい相手先都道府県(転出超過上位20都道府県)

[2012-13年の平均]



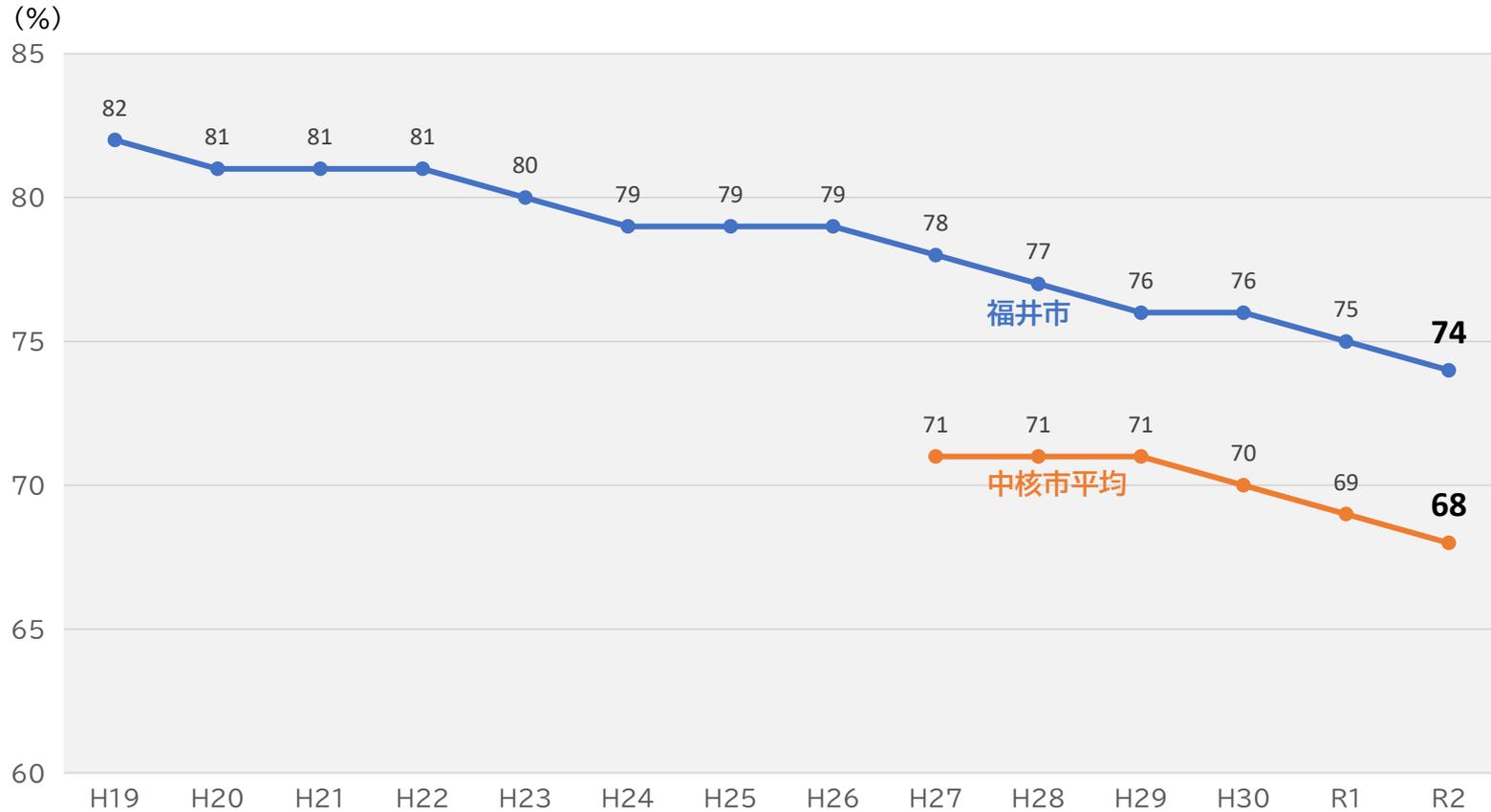
[2017-2018年の平均]



出典：住民基本台帳人口移動報告（総務省）

○本市の自治会加入率は、中核市平均よりも高くなっているが、2007年（平成19）以降、減少傾向にある。

●自治会加入率の推移



※中核市のデータは平成27年度から収集開始。
 ※一部の中核市は未回答のため、平均に算入していない。

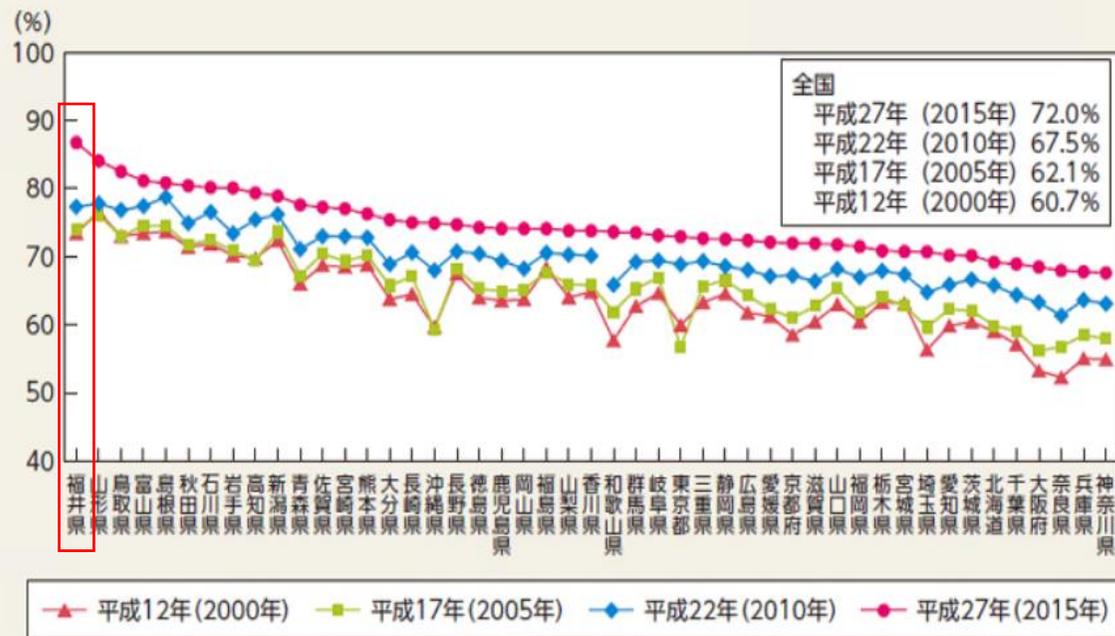
出典：中核市市長会「令和3年度都市要覧」

共生、協働

(1)女性の就業

- 福井県の女性の就業率は、全国トップとなっている。
- 管理職の割合では、福井県は全国46位となっており、全国平均を大きく下回る状況にある。

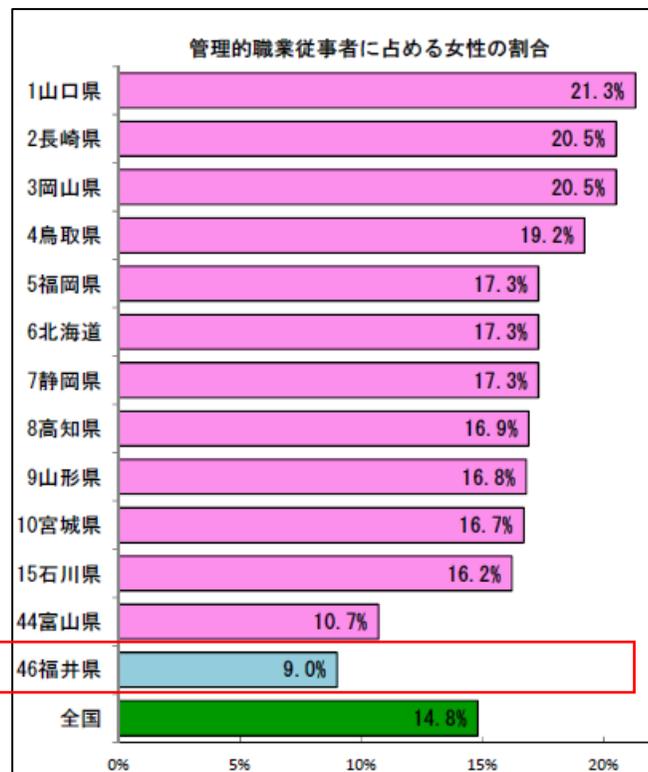
●女性の就業率(25～44歳)の推移(都道府県別)



(備考) 1. 総務省「国勢調査」より作成。平成27年は抽出速報集計の数値。
 2. 平成12, 17年は就業状態不詳を含む総数から、22, 27年は不詳を除いた総数から就業率を算出。

出典：内閣府男女共同参画局 ホームページ

●管理的職業従事者に占める女性の割合(都道府県別)

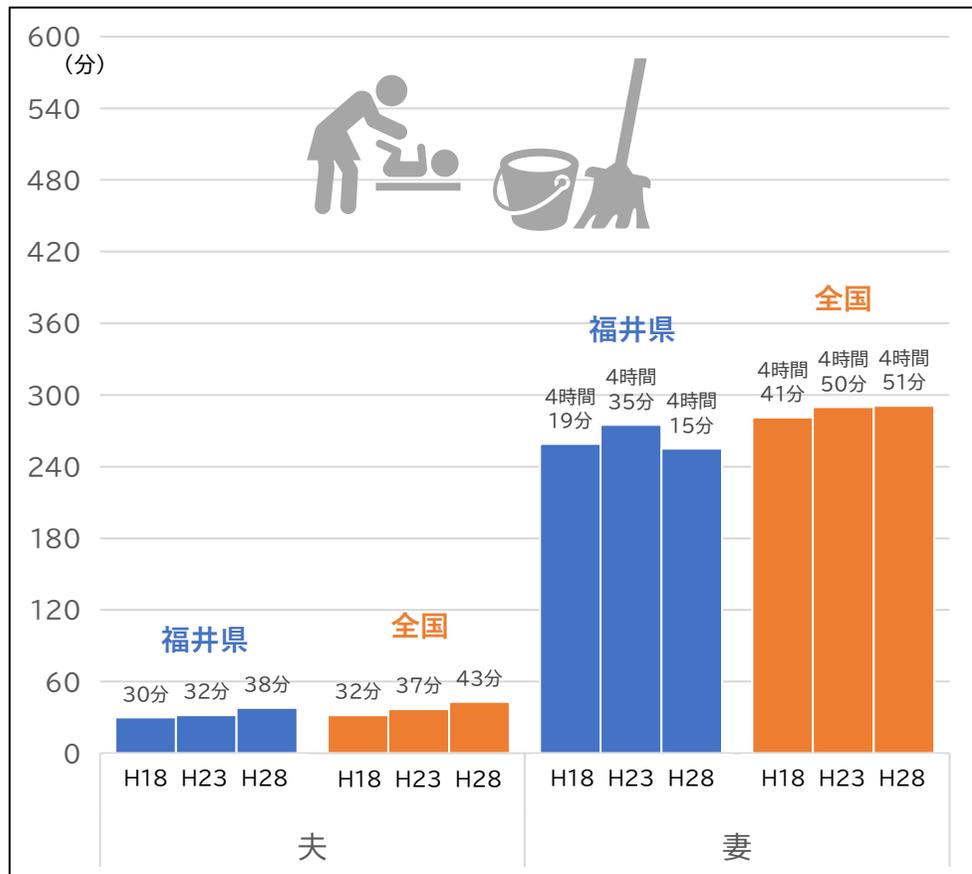


出典：H30福井労働局「グラフで見る福井県の女性労働」

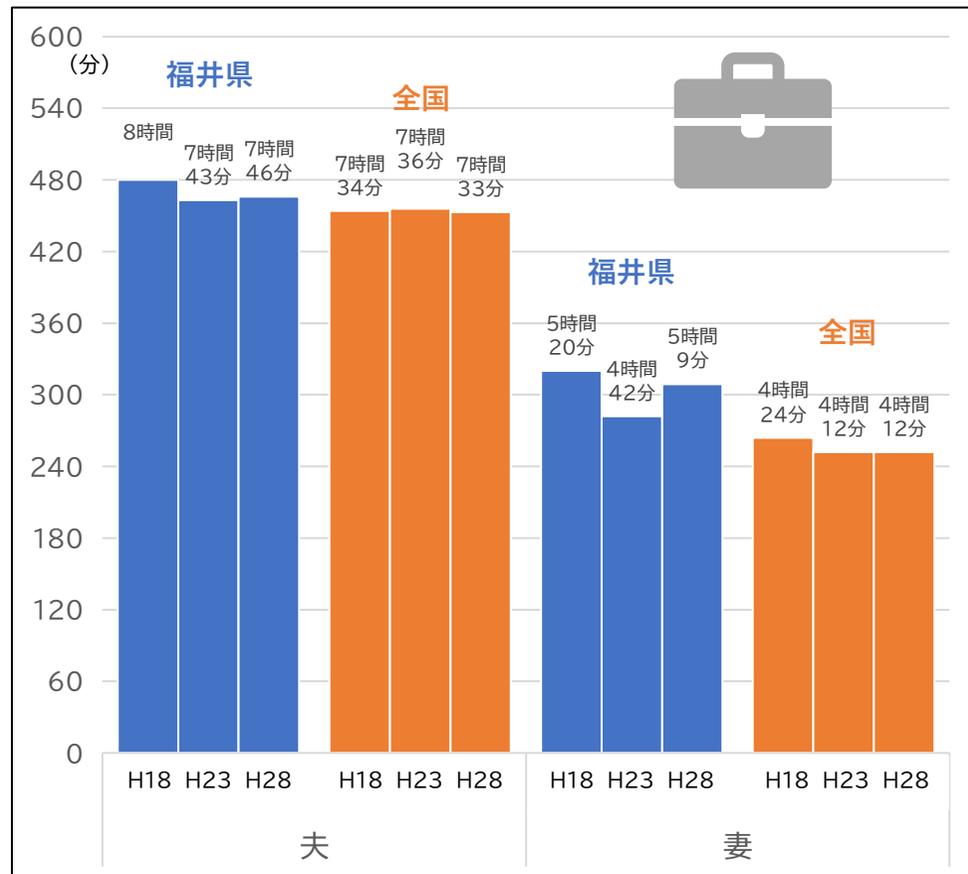
○福井県の夫の家事・育児時間は、全国同様、妻に比べて非常に短い。
 ○近年、夫の仕事時間が減少するに伴い、夫の家事・育児参加が進む傾向がみられる。

●子供のいる共働き世帯の夫婦の家事・育児、労働時間(1日あたり)

①家事・育児時間

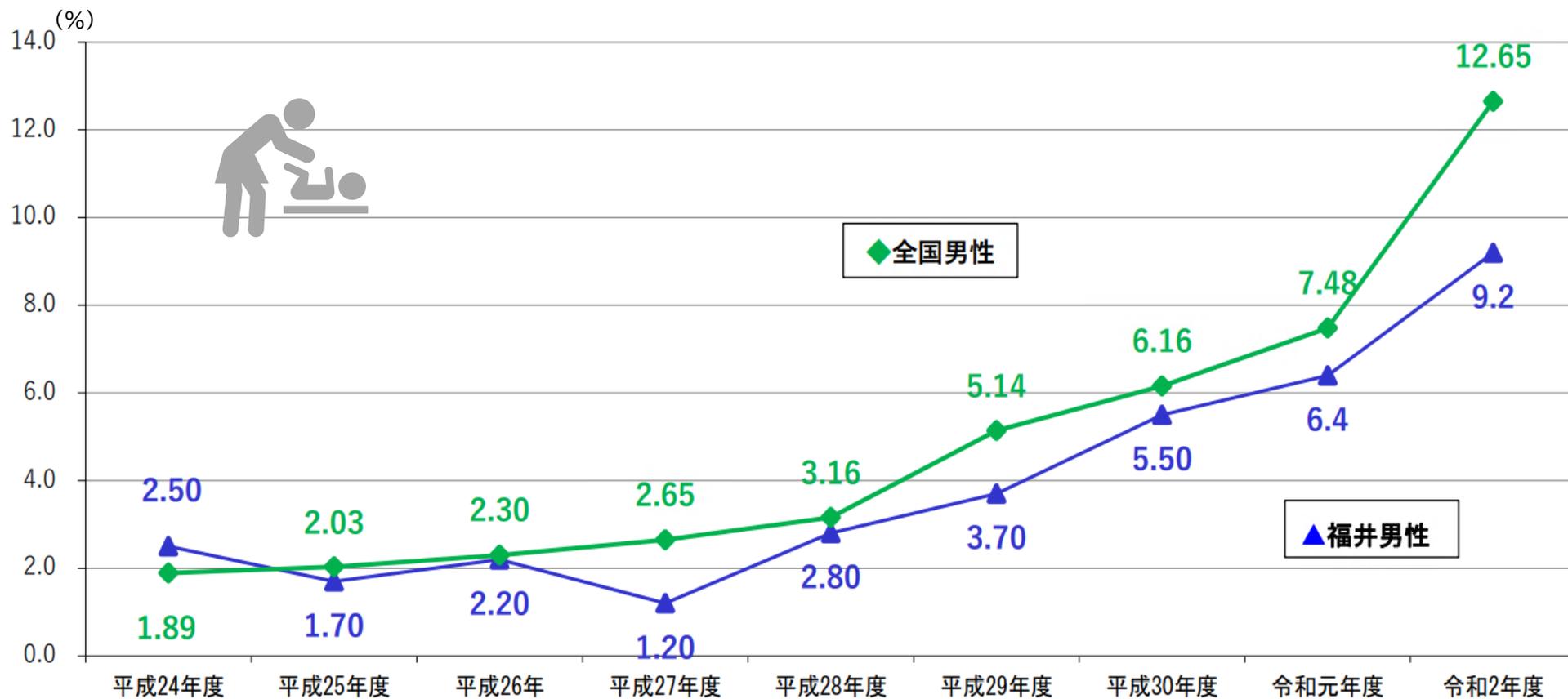


②仕事時間



○福井県の男性の育児休業取得者数の割合は、全国平均を下回るものの、年々増加傾向にある。

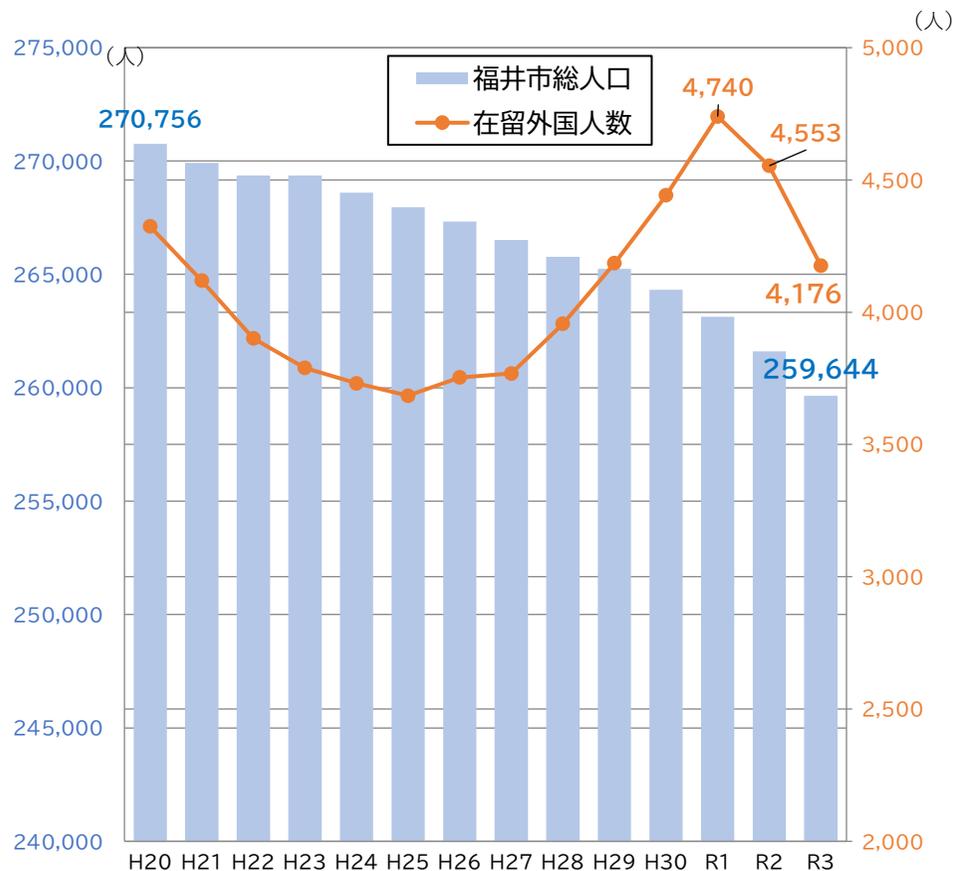
●男性の育児休業取得率の推移



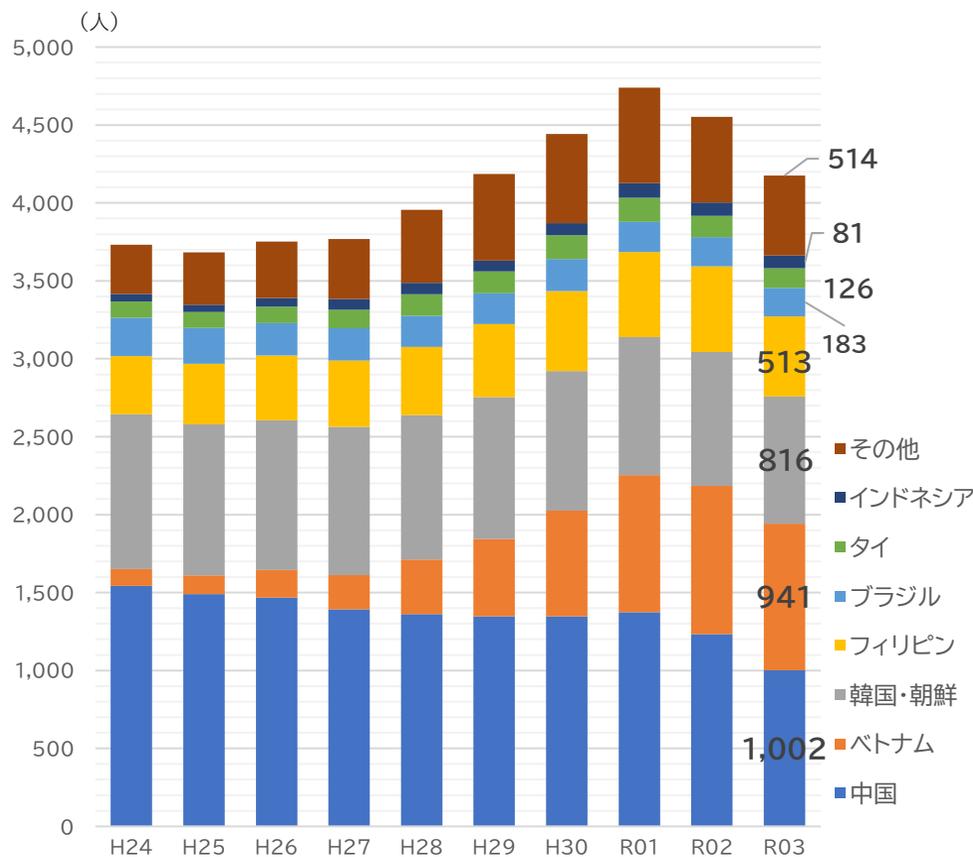
(4) 市内在留外国人数の推移

○令和3年末現在における本市の在留外国人数は、4,176人となり、前年末に比べ377人(8.3%)減少した。
 ○国籍別では、中国が最も多く1,002人(24.0%)、次いでベトナムが941人(22.5%)となっている。

●福井市総人口の推移と在留外国人数の推移(各年12月末時点)



●国籍別在留外国人数の推移(各年12月末時点)



共生、協働

(5) ボランティア

○福井市総合ボランティアセンターでは、様々なボランティア講座の開催やボランティア活動の情報提供を行っており、多くの市民がボランティアに参加。

●ボランティア講座(ボランティアアカデミー)及び市民ボランティア活動促進事業の実施状況(令和3年度)

ボランティアアカデミー

講座名	延べ受講者数	内容等
はじめてのボランティア	91	ボランティア活動の考え方や心構えを学ぶミニ講座
分野別	動物愛護コース	動物愛護ボランティアの知識を学ぶ講座と体験活動
	キッズサポートコース	子育て支援ボランティアの知識を学ぶ講座と体験活動
	植栽剪定ボランティアコース	植栽剪定ボランティアの知識を学ぶ講座と体験活動
	環境・フードロス削減コース	環境ボランティアの知識を学ぶ講座と体験活動
	子ども食堂体験コース	子ども食堂ボランティアの知識を学ぶ講座と体験活動
フォローアップ	ものづくりひろば	ものづくりボランティアの継続的な活動につなげる場所づくり
	ものづくり(サシェ)ボランティア	上記参加者を中心に技術向上等のためにサシェ(香袋)づくりを学ぶ講座
	ボランティアのための心と体のリフレッシュセミナー	アカデミー受講者等の横のつながりと活動の意欲を高める交流会
ステップアップ	高校生ボランティア交流会	高校生ボランティアの横のつながりと活動の意欲を高める交流会
	心をつなぐコミュニケーションスキル	アイスブレイクの技法を学び、コミュニケーション力を高める講座
	クリニクラウンから学ぶコミュニケーション	クリニクラウンの活動からボランティアに必要なコミュニケーションの技術を学ぶ講座
計	378	

市民ボランティア活動促進事業

講座名	延べ受講者数	内容等
高校生のSDGs カードゲームで体感しよう!	20	SDGsの基本を学び、カードゲームを通してできることを考える講座
高校生のやさしい日本語	23	地域の見守り活動に役立てるためのコミュニケーション講座と体験活動
ユニバーサルスポーツを体験しよう!	18	誰もが一緒に楽しめるユニバーサルスポーツの体験活動
クリーンアップ作戦	-	市民と市民団体、市職員等の協働による街中の清掃活動【コロナのため中止】
計	61	

ボランティアアカデミー(講義)の様子



ボランティアアカデミー(体験)の様子

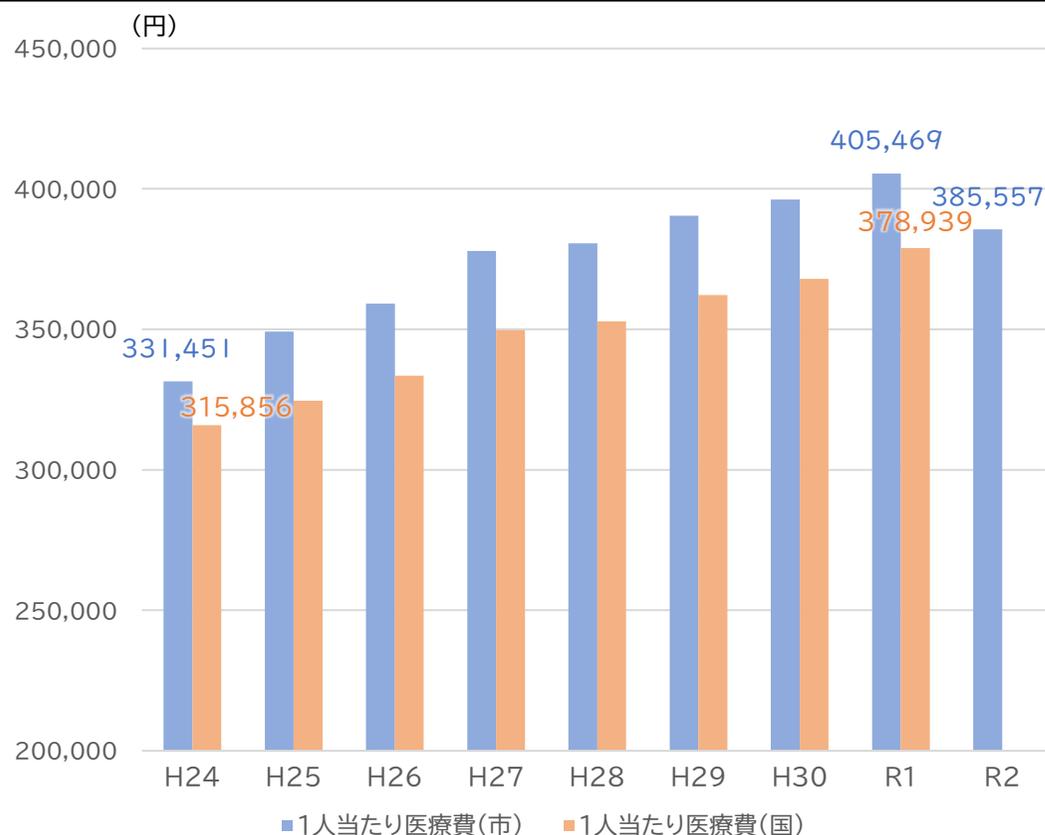


福祉

(1)医療

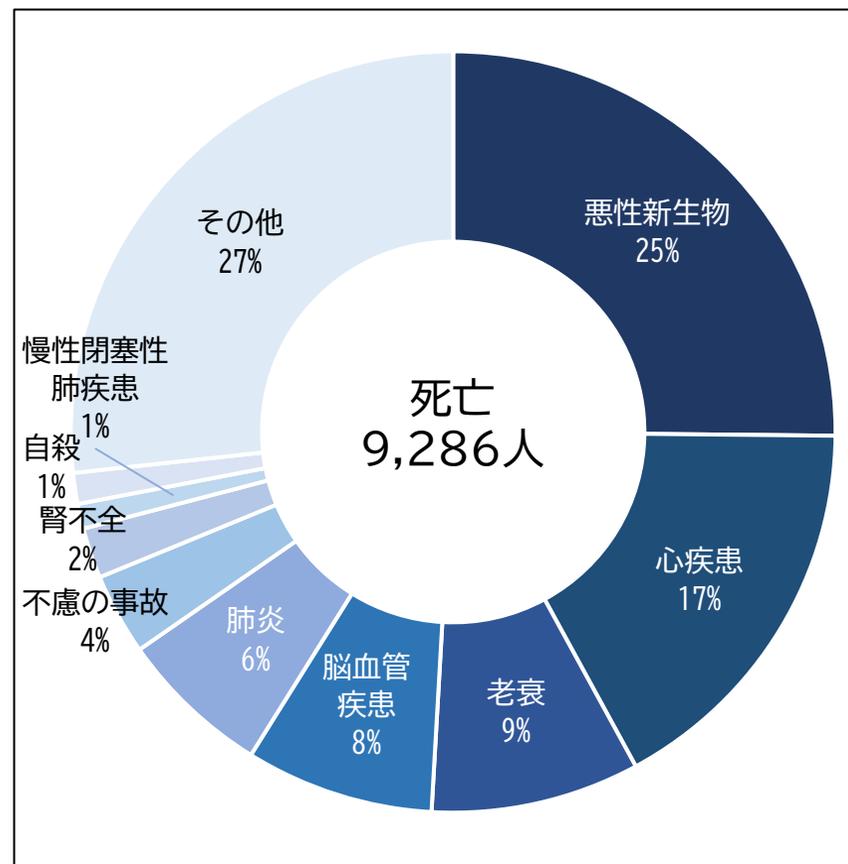
- 市民一人当たりの年間医療費は、国民一人当たりの額よりも高くなっている。
- 生活習慣病の主な疾患である、悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患などが死因の上位を占めている。

●国民健康保険の医療費の推移(1人当たり年額)



出典：厚生労働省「国民健康保険事業年報（令和元年度）」
福井市調べ

●福井県における死因別死亡状況(令和2年)

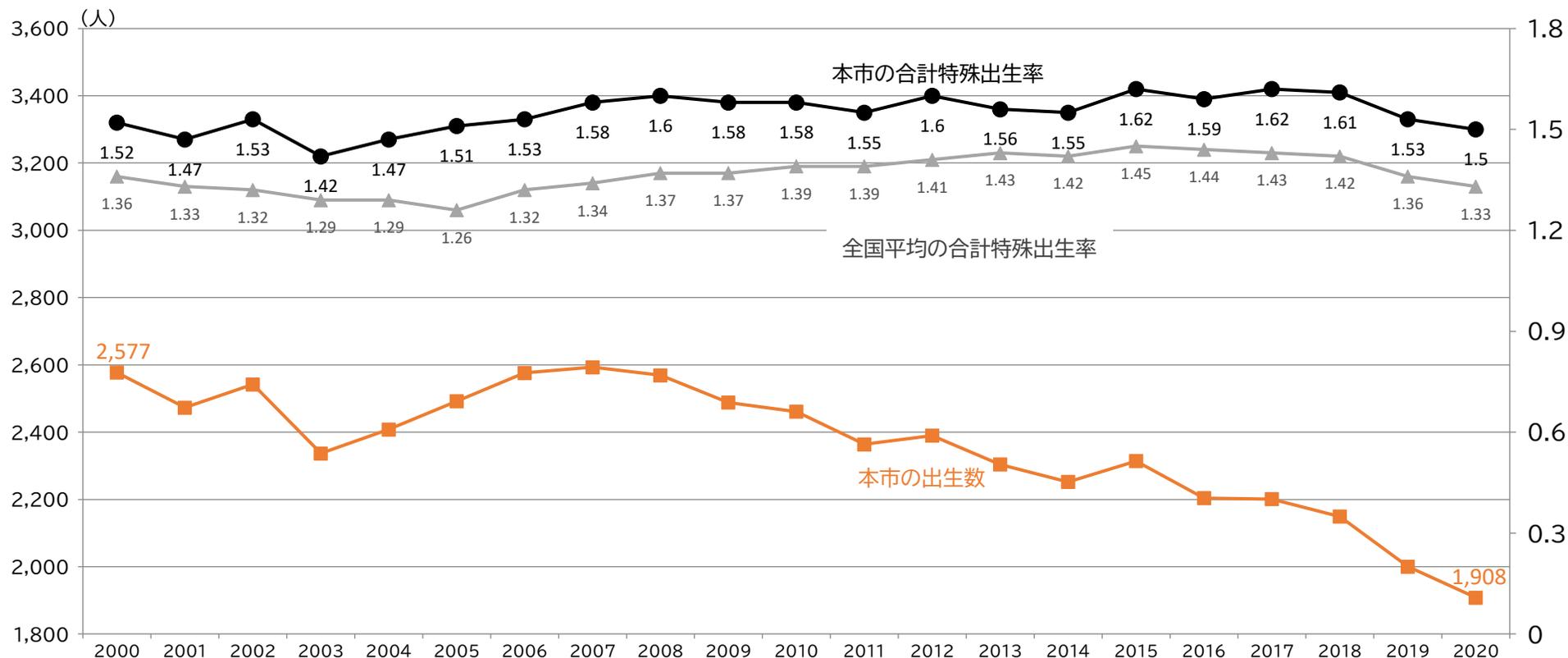


出典：令和2年 衛生統計年報人口動態統計
第21表（死亡数）

(2)出生の状況

○全国平均と比較すると、本市の合計特殊出生率は高水準にあるが、全国と同様に減少傾向にある。
 ○本市の出生数は、減少傾向にあり、2020年(令和2)には、2,000人を下回った。

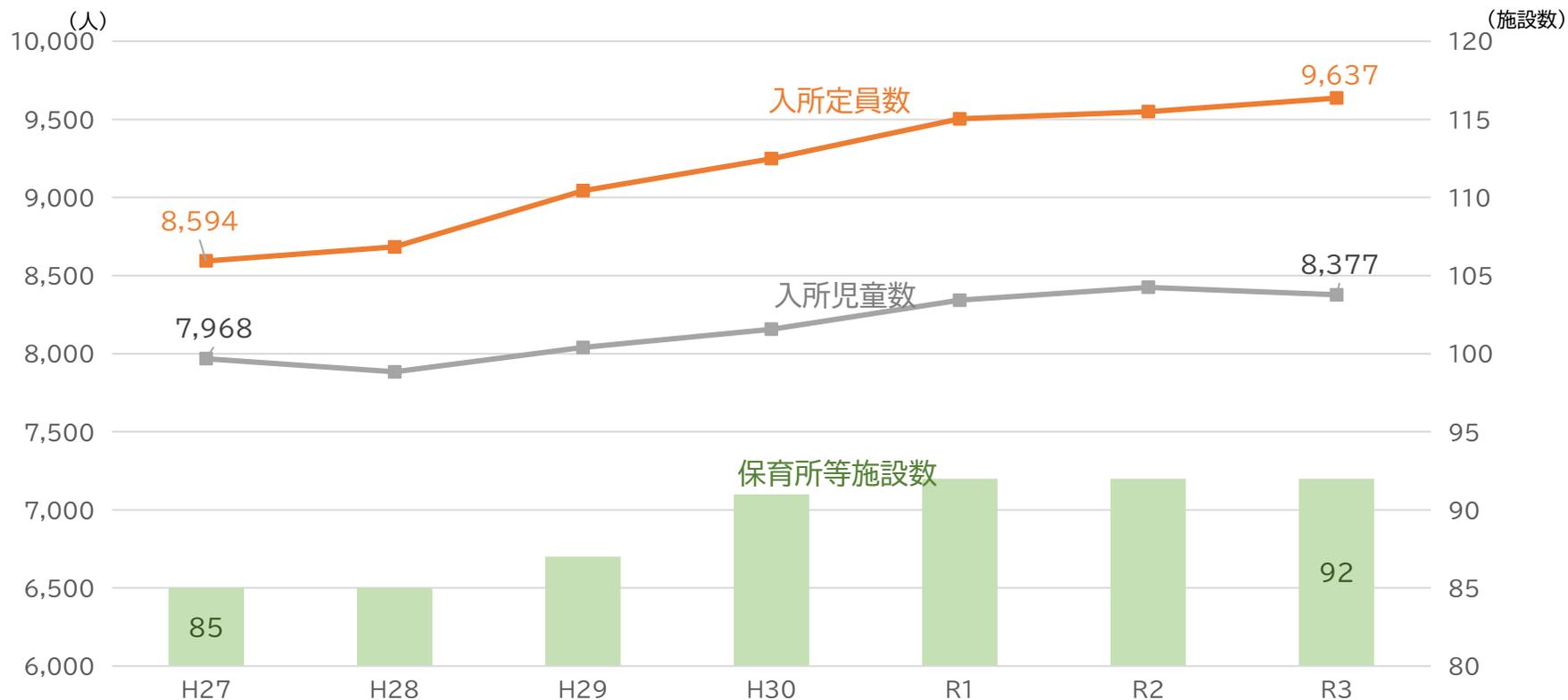
●本市の出生数及び合計特殊出生率の推移



※人口置換水準・・・人口が増加も減少しない均衡した状態となる合計特殊出生率の水準のこと

○保育ニーズの高まりを受け、保育所数及び入所定員数は増加傾向にある。

●本市の保育所数及び入所定員数・入所児童数の推移

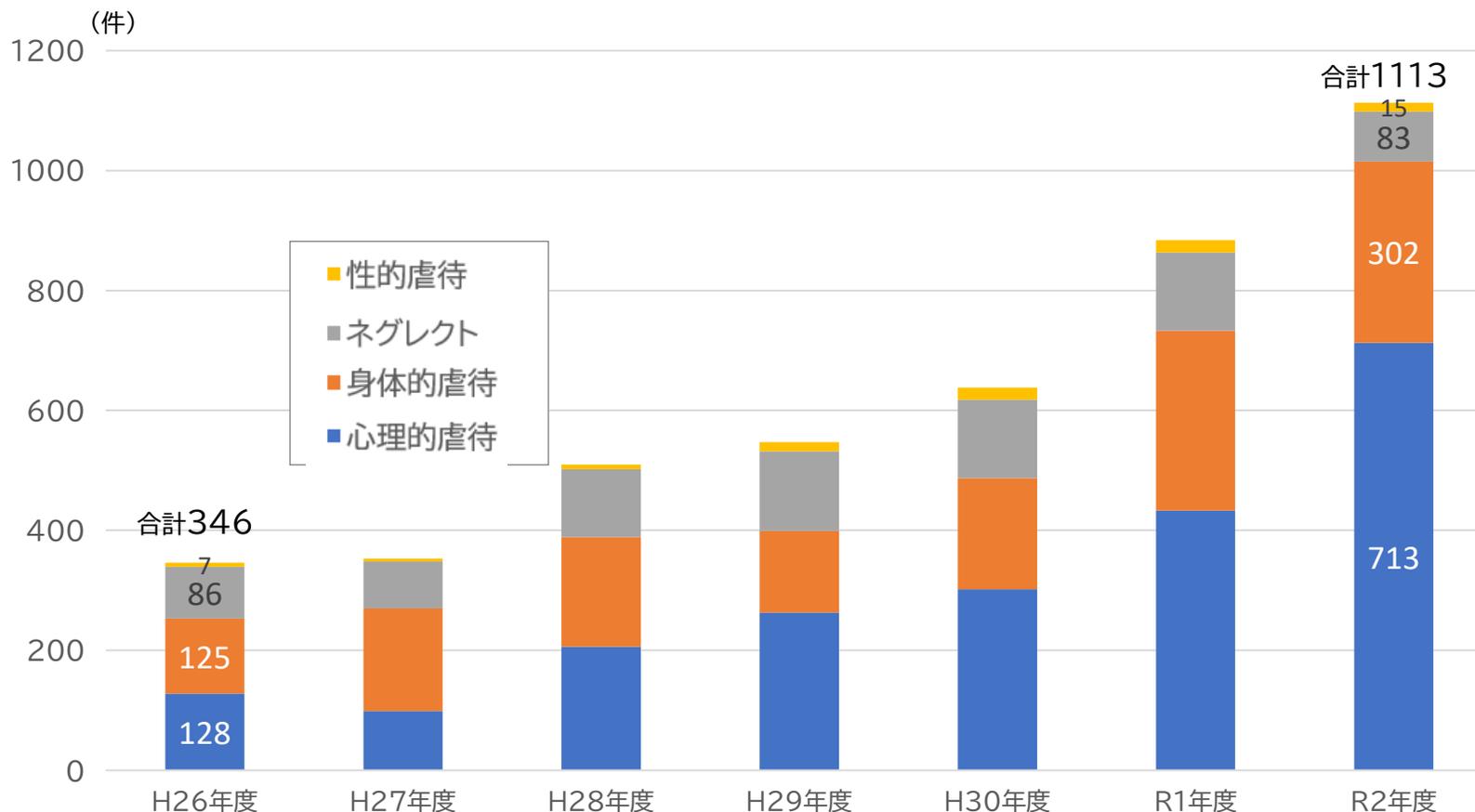


※施設数は、2号・3号認定の定員を持つ保育所や認定こども園の分園及び休園を含む施設数。
 ※入所定員数は、認可定員ではなく2号・3号認定の利用定員とする(1号認定の利用定員及び休園の定員は算入しない)。
 ※入所児童数は、2号・3号認定子どもの入園児童数とする(1号認定子どもの入園児童数は算入しない)。
 ※広域委託児童数を除き、広域受託児童数を含む。

(4) 児童虐待

○児童虐待相談件数は増加傾向にあり、2020年度（令和2）では、2014年度（平成26）に比べ約3.2倍に増加している。
 ○種別でみると、最も多いのが「心理的虐待」であり、次が「身体的虐待」となっている。

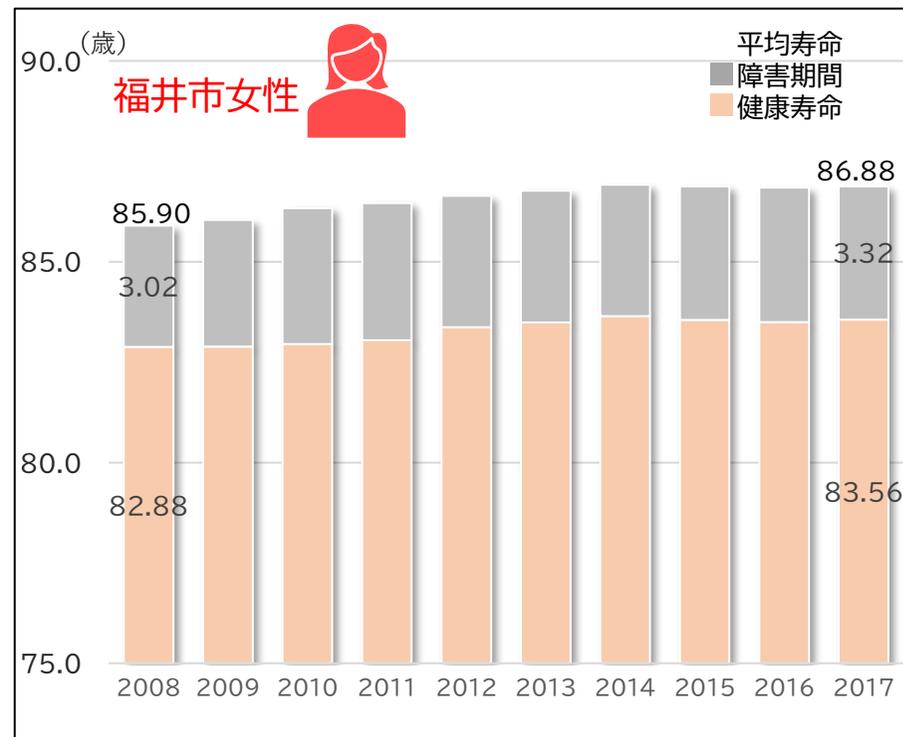
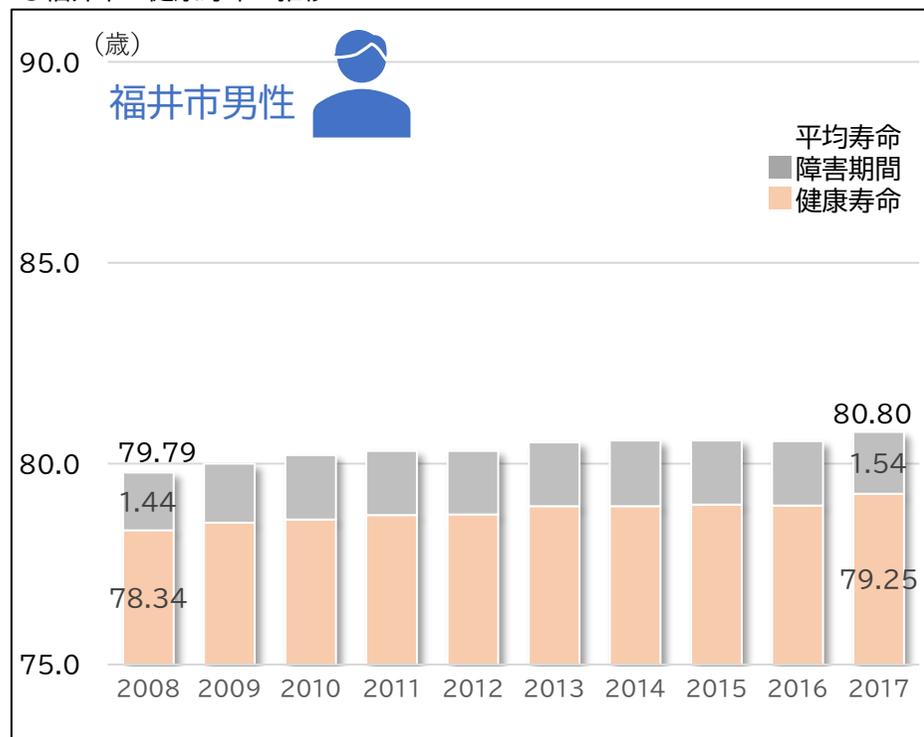
●福井県の児童相談所における児童虐待相談の対応件数の推移（福井県総合福祉相談所・敦賀児童相談所の合計）



(5) 平均寿命と健康寿命

○2017年(平成29)の福井市の健康寿命は、男性が79.25歳、女性が83.56歳となっている。
 ○平均寿命と健康寿命の差は、男性が概ね1.5歳、女性が3.3歳となっており、この10年間大きな変化はみられない。

●福井市の健康寿命の推移



(7)高齡化(予測)

○高齡化率が40%以上の地区は、2019年では5地区だが、2037年の推計では22地区に増加する見込み。

●地区別高齡化率の将来予測

2019年		高齡化率	2037年	
地区名	数		数	地区名
殿下	1	50%以上	4	国見、殿下、鷹巣、越廼
越廼	1	45%~49%	7	順化、大安寺、一乗、上文珠、美山、清水南、清水北
国見、一乗、美山	3	40%~44%	11	足羽、安居、河合、麻生津、岡保、東藤島、鶉、棗、酒生、文珠、六条
順化、宝永、足羽、大安寺、岡保、棗、鷹巣、上文珠、六条、清水南、清水北	11	35%~39%	10	宝永、湊、豊、春山、松本、東安居、西藤島、宮ノ下、東郷、清水東
湊、豊、春山、旭、社西、安居、河合、麻生津、東藤島、鶉、本郷、宮ノ下、酒生、文珠、東郷、清水東	16	30%~34%	5	日之出、旭、社西、本郷、清水西
松本、日之出、東安居、啓蒙、西藤島、日新、清水西	7	25%~29%	6	清明、和田、円山、啓蒙、明神、日新
木田、清明、和田、円山、社南、社北、中藤島、森田、明新	9	20%~24%	4	木田、社南、社北、中藤島
		19%以下	1	森田

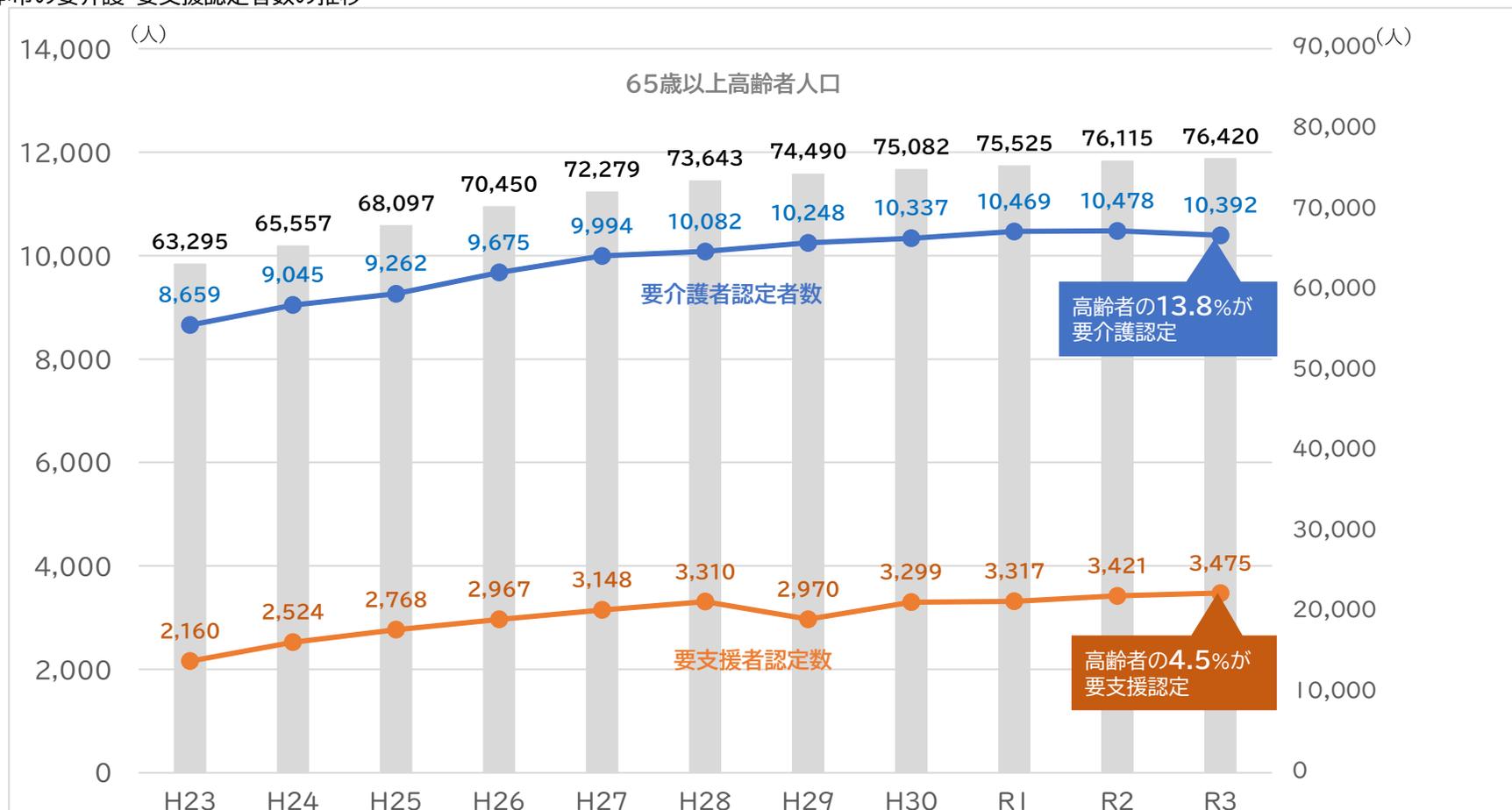
出典：住民基本台帳、福井市調べ（第2期「福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」）

福祉

(8)介護認定者数

○高齢者人口の増加に伴い、要支援及び要介護認定者数は、年々増加傾向にある。

●本市の要介護・要支援認定者数の推移



※要介護・要支援認定者数は各年度末数値（1号被保険者のみ）
※65歳以上高齢者人口は、各年10月1日の福井市統計書より

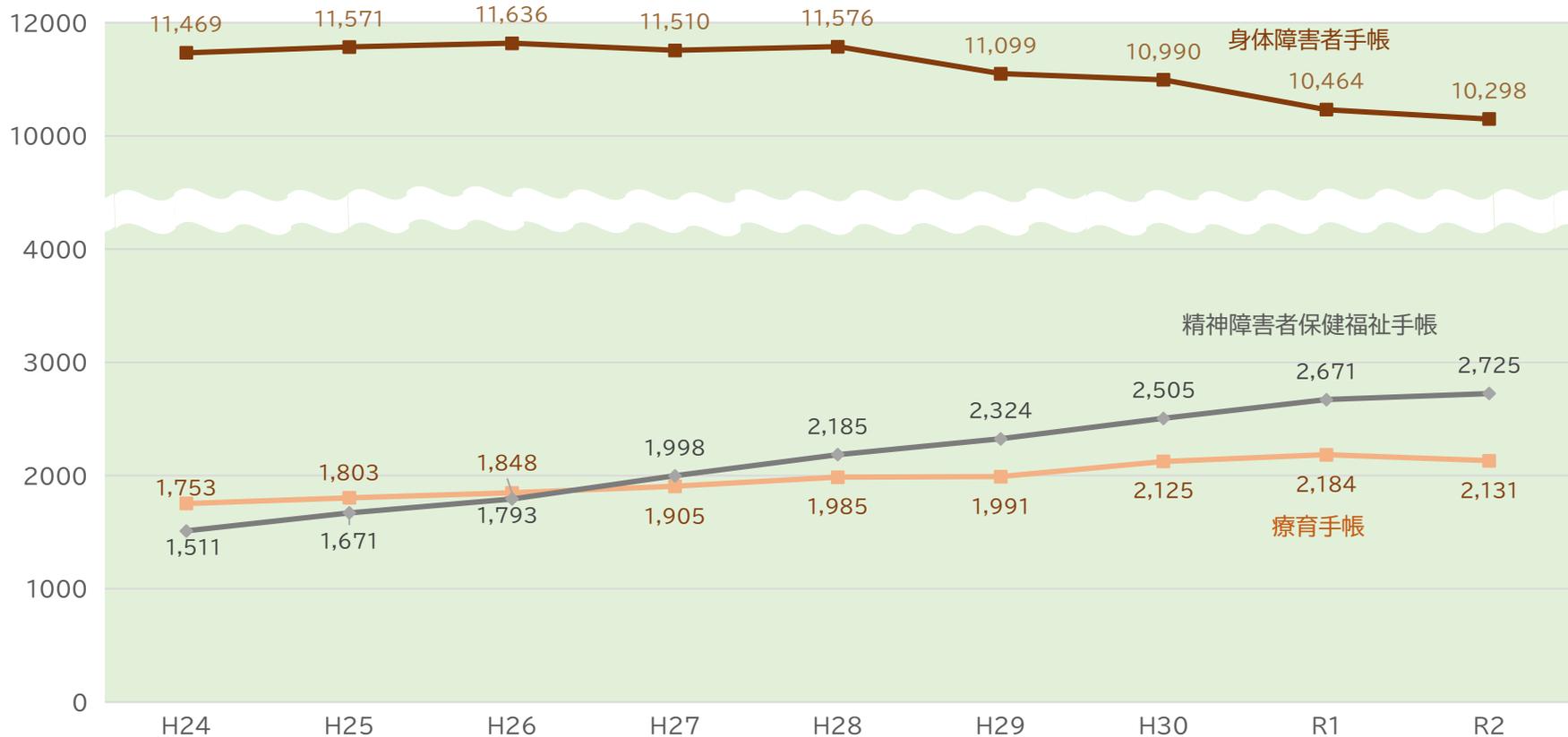
出典：厚生労働省 介護保険事業状況報告 第2-1表
介護保険事業状況報告（令和4年3月分）

福祉

(9)障がい者

- 身体障害者手帳の交付状況は近年減少傾向にある。
- 療育手帳や精神障害者保健福祉手帳の交付件数は増加傾向にある。

●本市の障がい者手帳の交付件数の推移
(人)



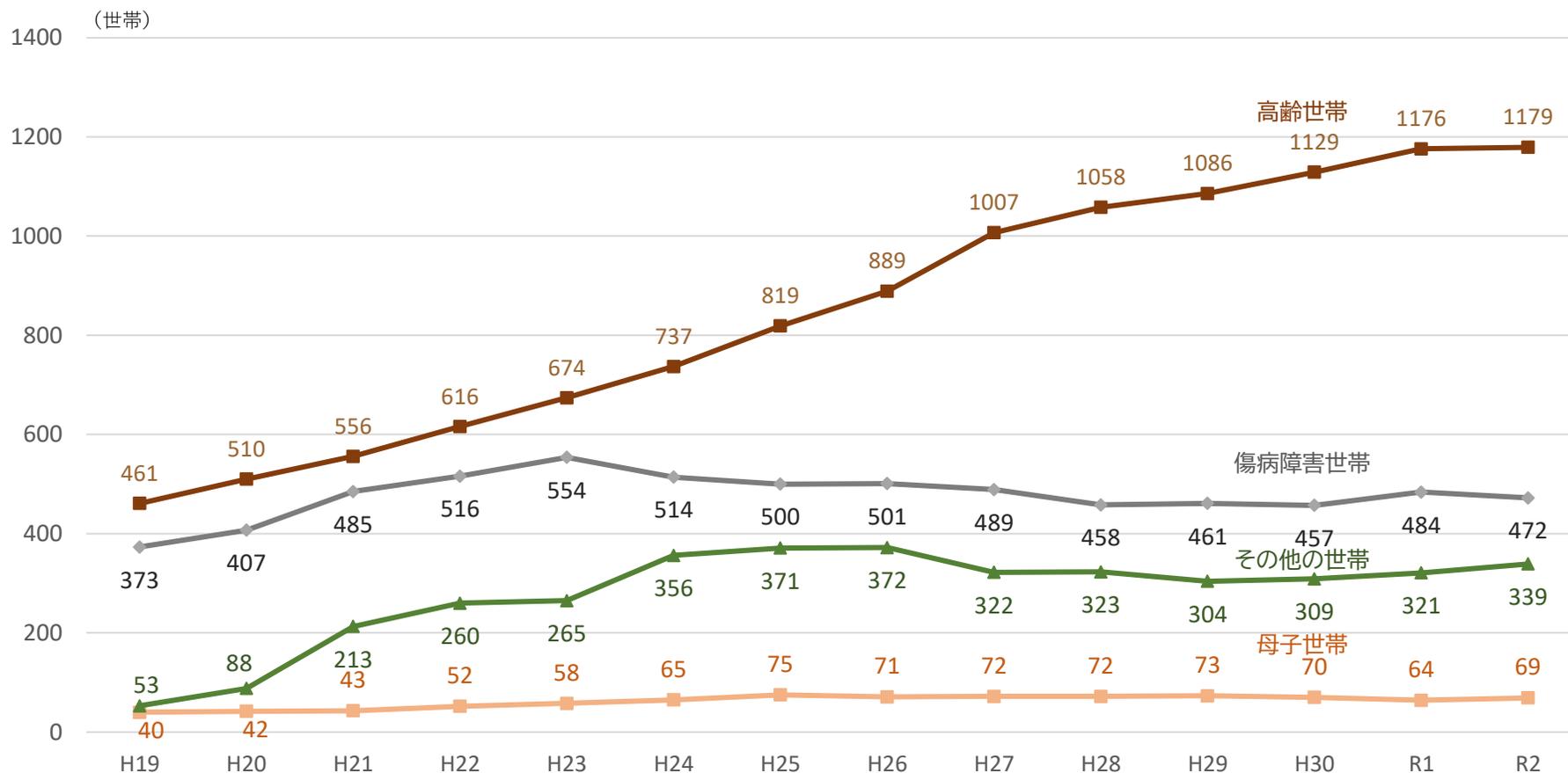
出典：第4次福井市障がい者福祉基本計画
福井市調べ

福祉

(10)生活保護

○生活保護の世帯類型では、高齢世帯の増加が著しく、10年前(H22)との比較では、約2倍近く増加している。
 ○2008年度(平成20)のリーマンショック以降、稼働年齢層と考えられる「その他の世帯」も急激に増加している。

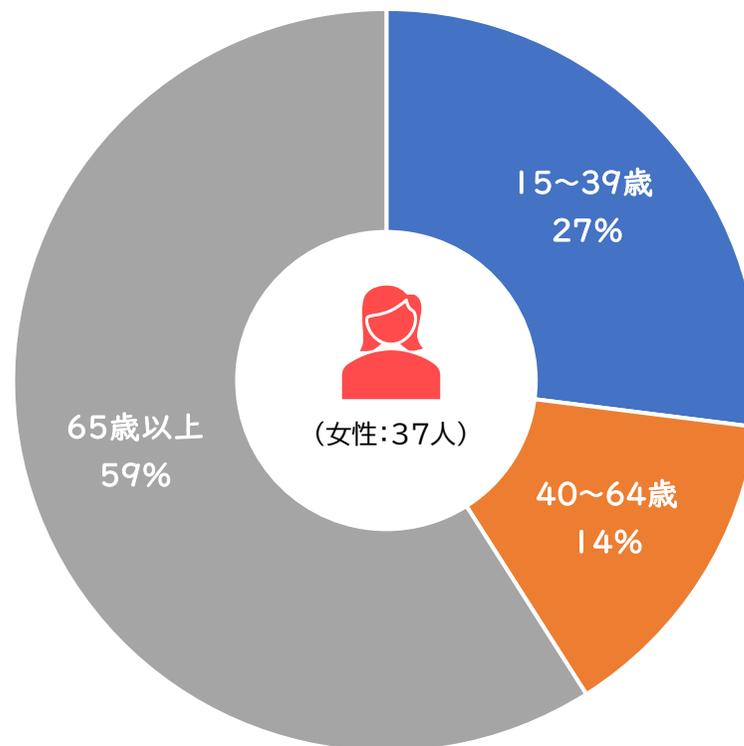
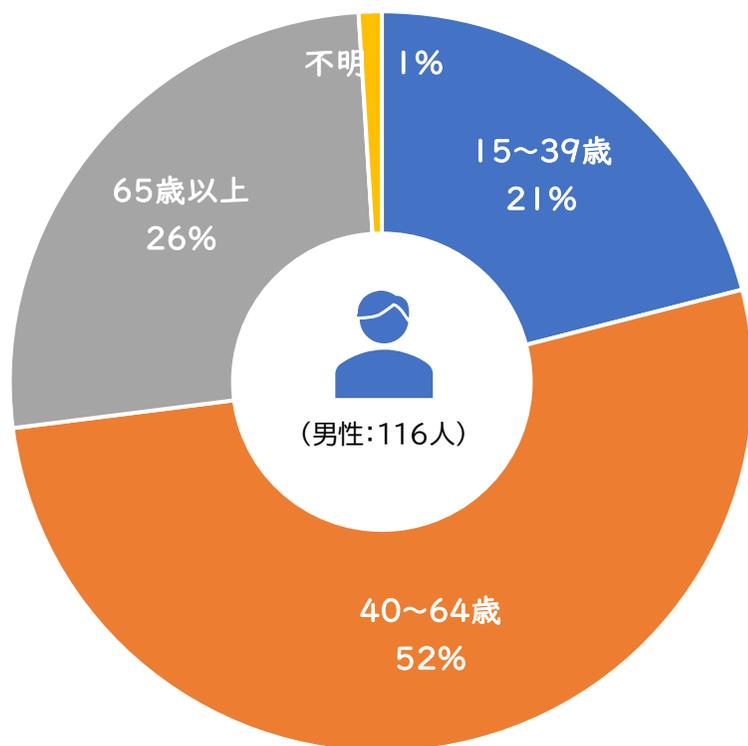
●本市の世帯類型別 被保護世帯数



出典：福井市調べ

○ひきこもりと思われる男性116人のうち、約半数が40歳～64歳となっている。
 ○ひきこもりと思われる女性37人のうち、半数以上が65歳以上となっている。

●本市におけるひきこもりと思われる人数(年代別)



※ひきこもり：同居している家族等以外との交流がほとんどない状態が概ね6か月以上続いている、市内在住の15歳以上の方
 ※調査方法：民生児童委員に対し、普段の活動の中で把握しているひきこもりと思われる人数を聞き取り（令和元年10月～11月）

○令和3年以降では、6件の食中毒が発生している。

●令和3年以降の福井市の食中毒発生状況

(令和4年6月8日現在)

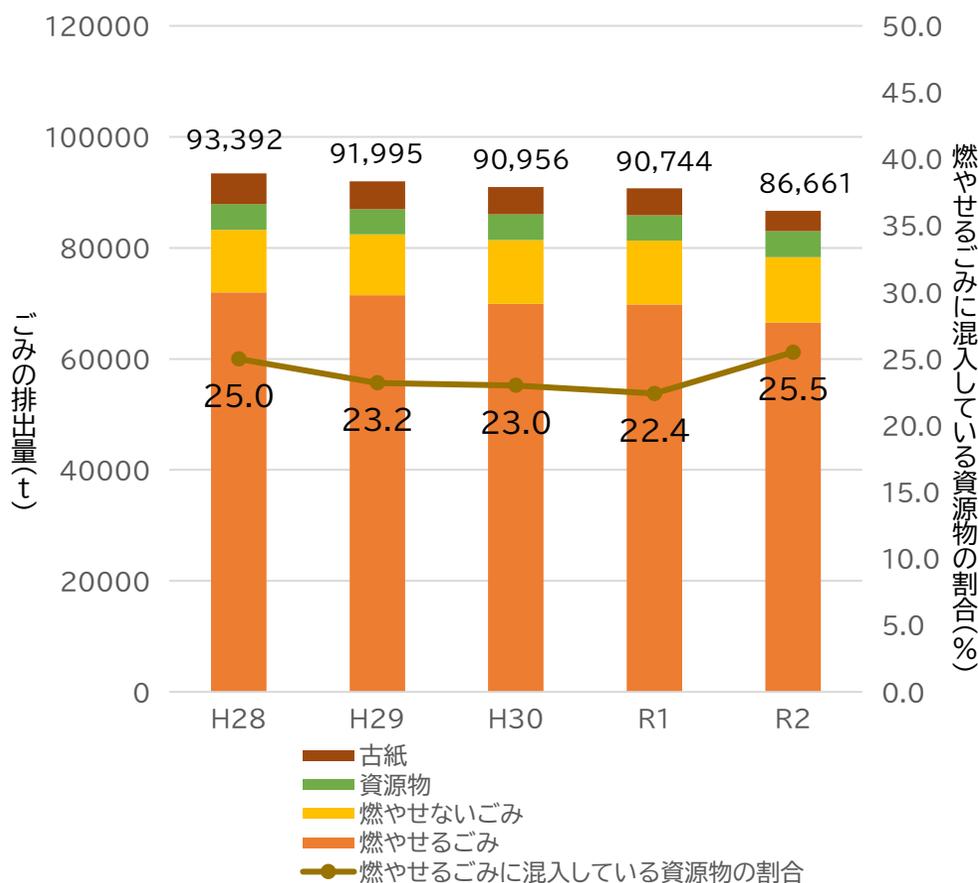
発生年月日	主な発生場所	喫食者数	患者数	原因食品	病因物質	行政処分
R3.2.7	福井市	40名	2名	R3.2.7に飲食店が調理提供したヒラメの刺身	クドア・セプテン ンプンクタータ	—
R3.7.6	福井市	113名	93名	R3.7.5に飲食店が調理・提供した食事	ウエルシュ菌	R3.7.9～ R3.7.10 営業停止処分
R3.11.14	福井市	5名	5名	R3.11.14に家庭で調理した食事	植物性自然毒 (ツキヨタケ)	—
R3.12.2	福井市	79名	1名	R3.12.1に飲食店が調理・提供した食事	アニサキス	R3.12.3 営業停止処分
R4.2.28	福井市	1名	1名	R4.2.26に魚介類販売店が販売した「いわし(刺身用の冊)」	アニサキス	R4.3.1 営業停止処分
R4.4.18	福井市	2名	1名	R4.4.17に飲食店が調理提供した食事(特上にぎり)	アニサキス	R4.4.19 営業停止処分
	合計	240名	103名			

環境

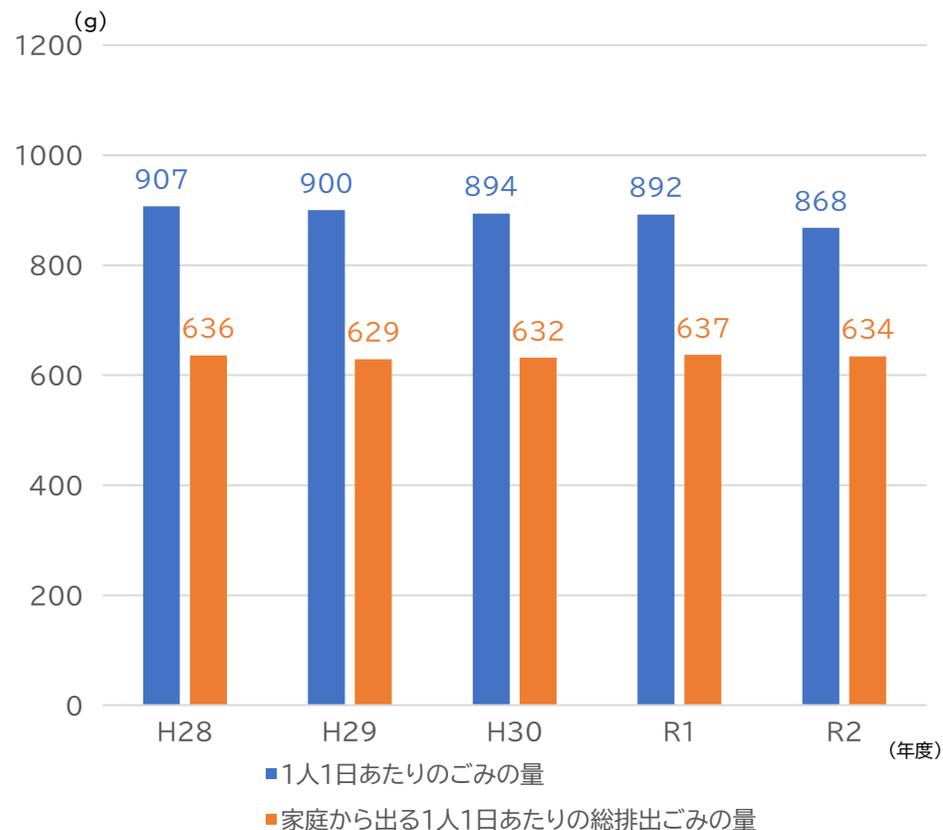
(1)ごみ

○市全体におけるごみの排出量は、毎年減少傾向にある。
○燃やせるごみに混入している資源物の割合は、25.5%と、前年度より3.1ポイント増加した。

●本市のごみの総排出量・燃やせるごみに混入している資源物の割合



●市民1人1日あたりのごみの量

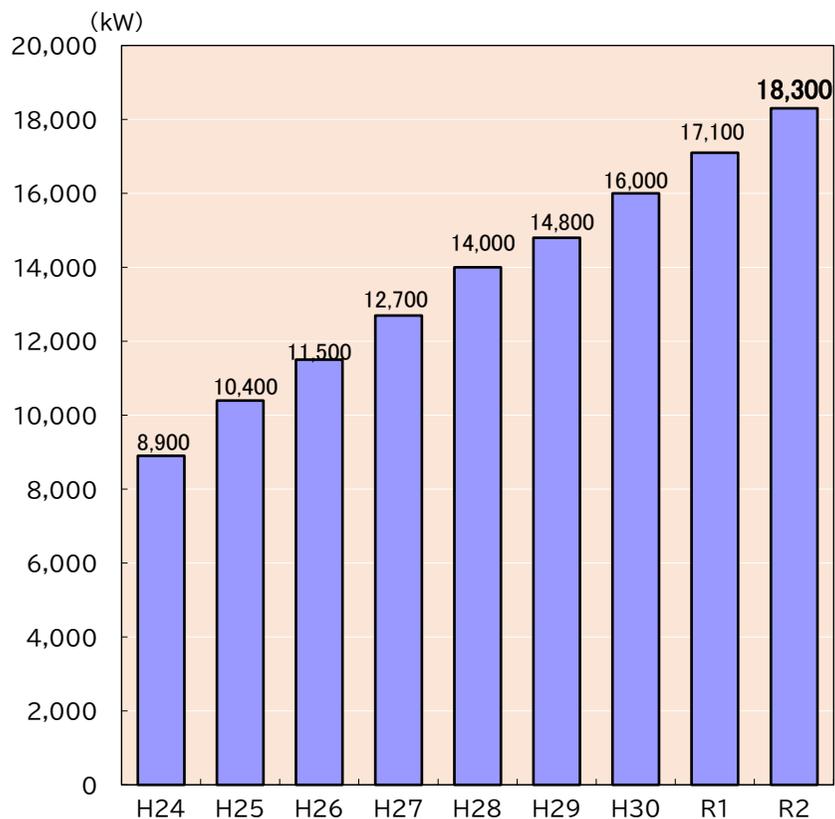


環境

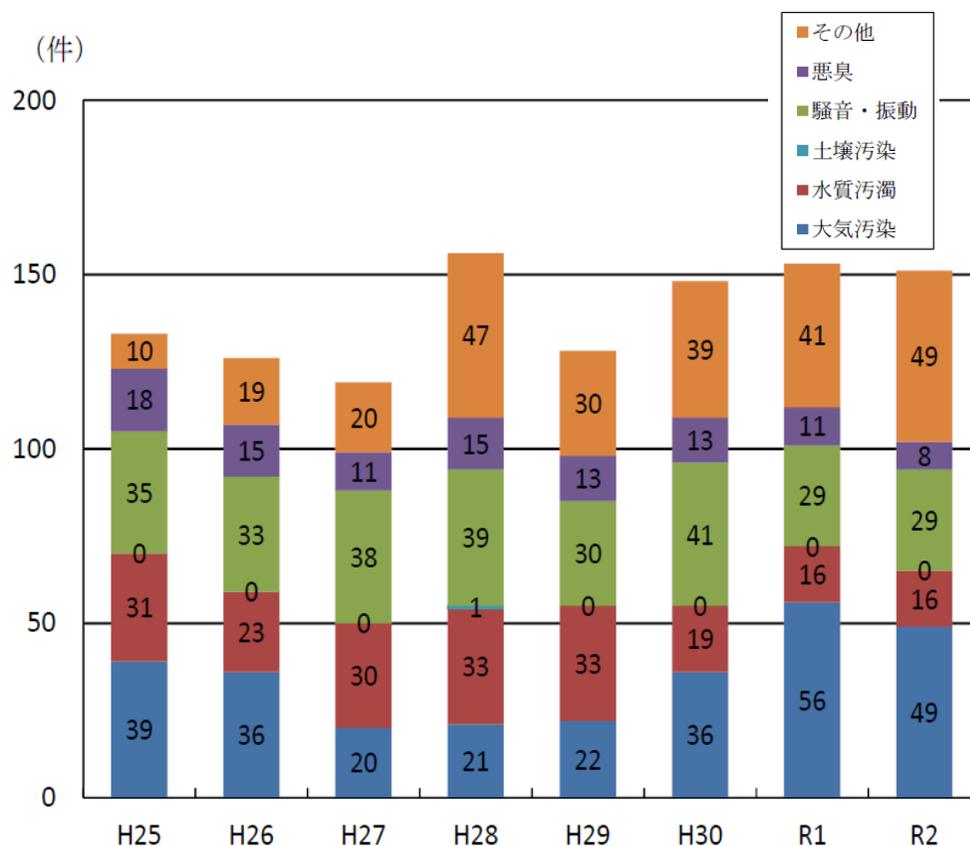
(2)自然エネルギー、公害

○太陽光発電設備の導入については、国のエネルギー買い取り制度等による後押しもあり、増加傾向にある。
○公害の発生種別について、近年では「大気汚染」が最も多く発生している。

●福井市の太陽光発電導入量



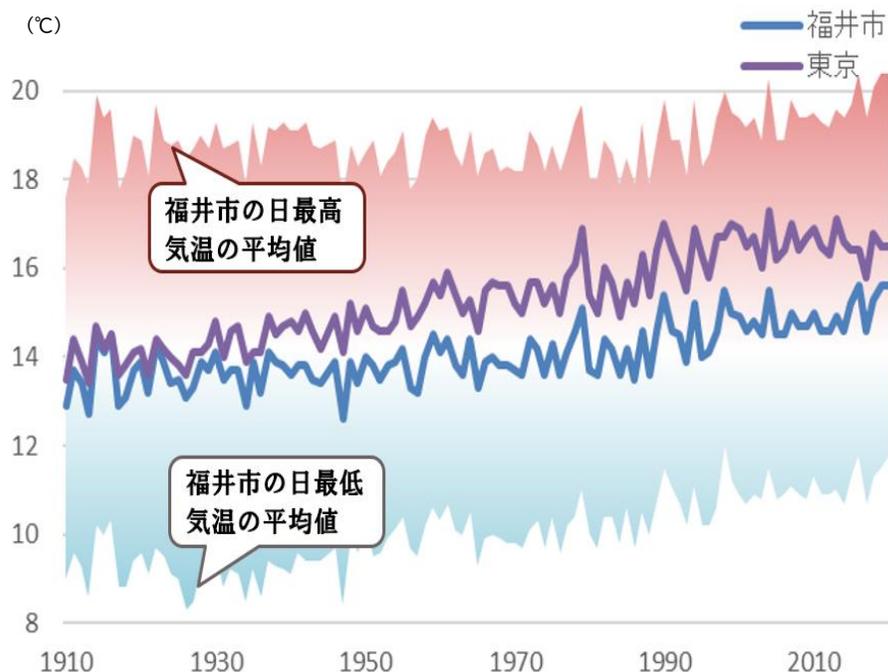
●福井市における公害の種類別発生件数の推移



(3) 気温変動、温室効果ガス

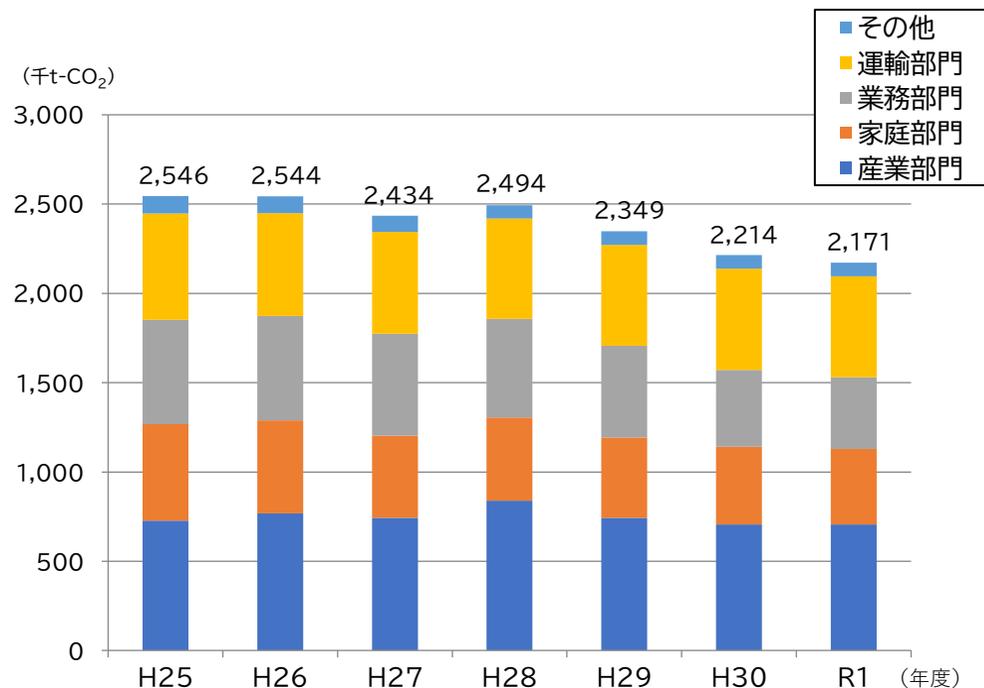
- 世界的に温暖化が進んでおり、本市においても平均気温が上昇傾向にある。
- 本市における温室効果ガス排出量は減少傾向にあり、2019年度(令和元)は、2013年度(平成25)より15%程度減少。

●100年間の気温変動(年平均値)



出典:福井市作成「ふくいの環境 令和3年度版」

●福井市における温室効果ガス排出量の推移

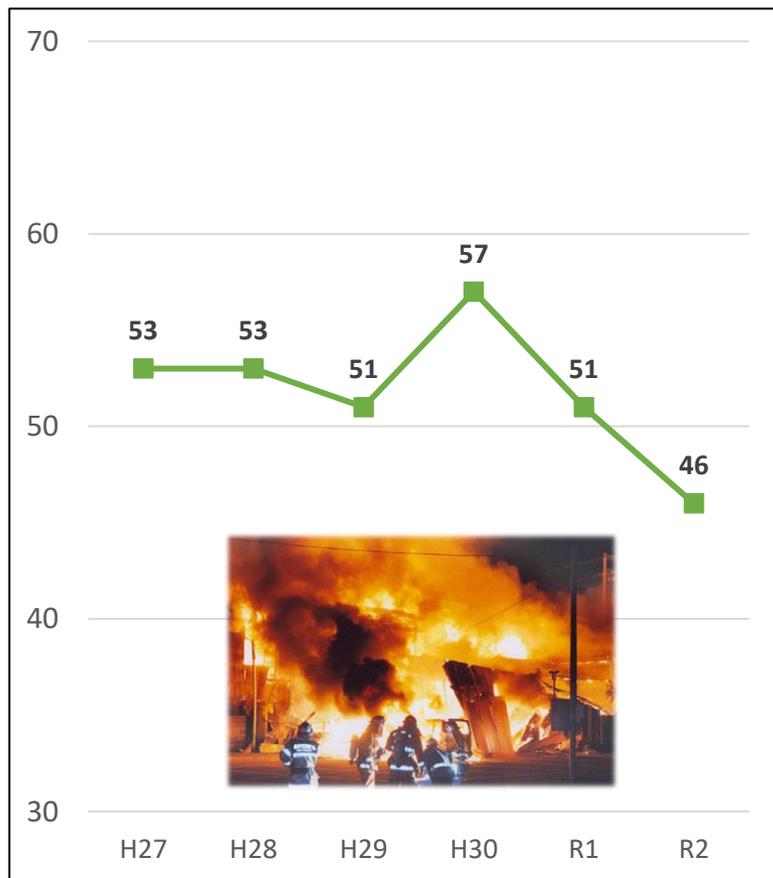


出典:福井市作成「第4次福井市環境基本計画」

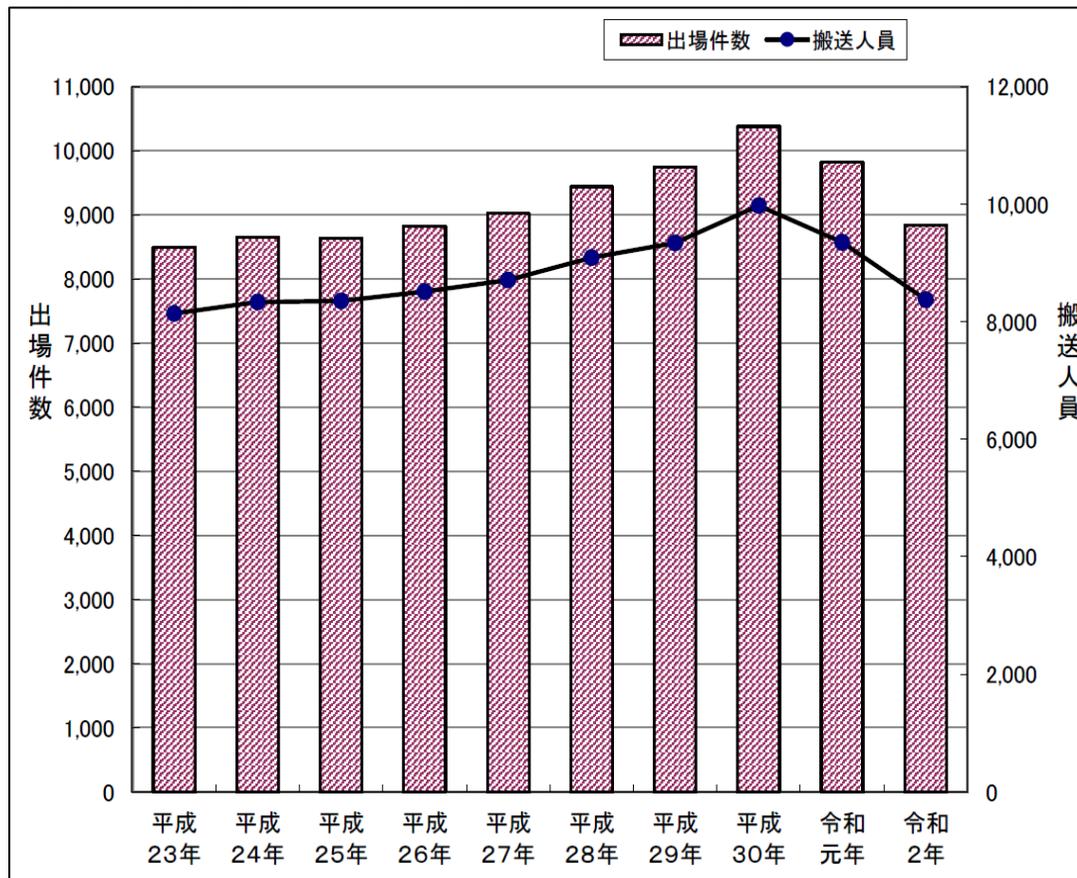
(1) 火災・救急

○本市では毎年約50件程度の火災が発生している。令和2年においては、直近6年間で最も少ない状況となっている。
 ○救急件数及び搬送人員数については、平成30年までは増加傾向にあったが、近年では一転して減少傾向にある。

●本市における火災発生件数



●本市における救急件数及び搬送人員の推移



出典：福井市作成「消防年表」

1948年(S23)6月28日
福井地震



嶺北北部を震源とするM7.1最大震度6(当時)の直下型地震が発生。家屋の全壊率は福井市で約80%に達し、火災も多数発生。市の総人口8万6千人に対して930人もの死者を出す大災害となった。

1948年(S23)7月25日
九頭竜川堤防決壊



7月24日から続いた雨で、九頭竜川堤防が決壊し、各河川の合流点付近一帯が浸水。市内の浸水家屋は約7千戸、被災人口は約2万8千人に及び、九頭竜川流域全体での死傷者は156人に及んだ。

1962~63年(S37~38)
12月30日~2月
三八豪雪



1月末の積雪が213cmに達した。美山町では雪崩が発生して下校中の教員と生徒を襲い、4人が犠牲に。県内全体では死者25人、全壊家屋623戸、床上浸水323戸。

1980~1981年(S55~56)
12月~2月
五六豪雪



1週間程度の豪雪が3回発生し、積雪は福井市で1月15日に196cmを記録。市内では死者6人、負傷者41人、家屋の損壊102件、雪崩7件。

2004年(H16)7月18日
福井豪雨



山間部では相次いで土石流や土砂崩れが発生し、都市部では足羽川左岸で堤防が決壊して大規模な浸水被害が発生。県内では死亡3人、行方不明1人。市内の被災世帯数は11,319世帯に上った。

2018年(H30)2月
平成30年大雪



2月7日に147cmに達する積雪を記録。車のスリップ多発により、国道8号において車の立ち往生が多数発生。市内では死者4人、半壊4戸、家屋等の一部破損15戸。

2020年(R2)9月4日
嶺北地方を震源とする地震



9時10分頃、嶺北地方を震源とするM5.0の地震が発生。福井市では震度4を計測し、市内では中等傷1人、軽傷11人、建物一部損壊等の被害があった。

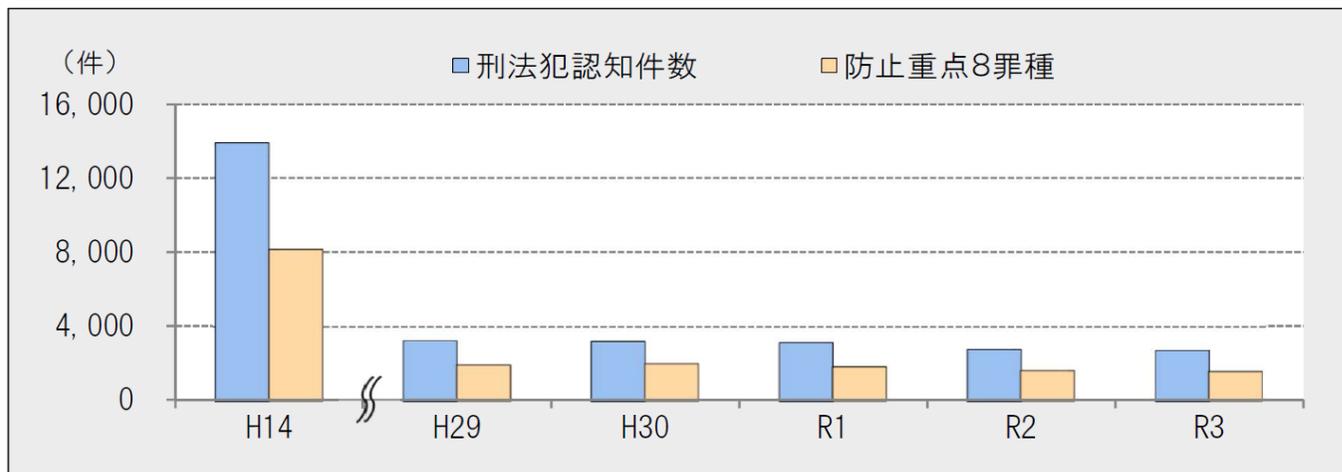
2021年(R3)1月
大雪



1月9日に107cmに達する積雪を記録。北陸自動車道武生IC-加賀IC間の通行止めに伴い、国道8号に交通が集中し、大規模な渋滞が発生。

○福井県の刑法犯認知件数は、減少傾向にある。
 ○令和3年においては、「万引き」「自転車盗」「忍込み」「器物損壊」の順で多く発生している。

●福井県における刑法犯認知件数と防止重点8罪種の推移



8罪種		H14	H29	H30	R1	R2	R3
県民の身近で多く発生する犯罪	車上ねらい	2,416	202	277	147	189	123
	自転車盗	2,341	484	487	477	307	293
	万引き	1,320	509	516	516	543	443
	置引き	348	201	205	217	143	114
	器物損壊	904	324	335	261	238	220
住宅等への侵入犯罪	空き巣	460	78	63	79	60	53
	忍込み	132	46	38	58	46	252
	住居侵入	188	49	45	62	72	51
合計		8,109	1,893	1,966	1,817	1,598	1,549

(単位：件)

(4)消費者トラブル

○2020年度(令和2年度)の相談件数は730件となっており、前年度と比べると約1割増加(前年度比111.3%)している。
 ○「通信販売」に関する相談が相談件数の約3分の2を占めている。

●特殊販売における契約当事者の年齢別相談件数(令和2年度)

販売購入 形態/年代	(件)									前年度比	
	20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70歳 以上	その他 ・不明	計		
訪問販売	0	4	4	5	6	12	16	10	57	↗	64.8%
通信販売	35	39	51	78	98	70	126	67	554	↗	124.8%
マルチ・マルチまがい取引(※1)	0	11	2	4	2	4	0	0	23	↗	104.5%
電話勧誘販売	1	3	2	8	8	10	24	13	69	↘	88.5%
ネガティブ・オプション(※1)	0	0	0	3	1	1	5	0	10	—	—
訪問購入	0	0	0	0	0	2	9	1	12	↘	85.7%
その他無店舗販売	0	1	0	0	1	0	2	1	5	↘	50.0%
合計	36	58	49	98	116	99	182	92	730	↗	111.3%

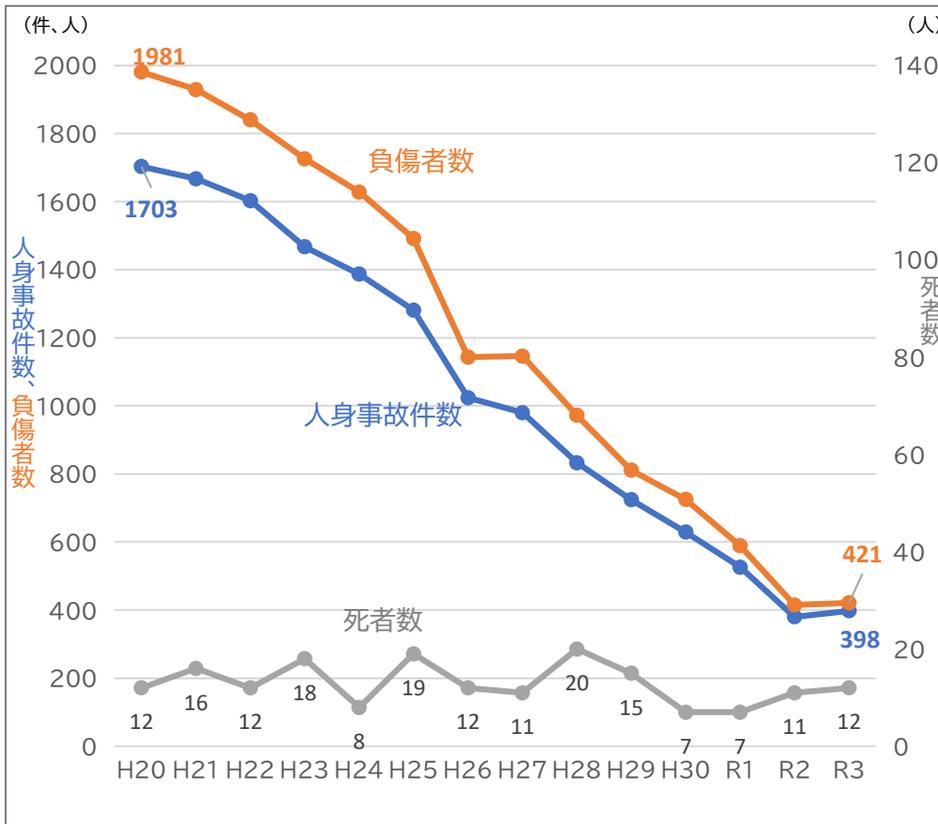
※1:マルチ商法とは、商品などの購入契約と販売組織への加入をさせ、その者に新たな会員を勧誘させることによって利益を得るといった販売方法

※2:ネガティブ・オプションとは、購入の申込みをしていない者に一方的に商品を送り付け、相手方から商品の返送、または購入しない旨の通知がない限り、購入の意思ありとみなし代金を請求する販売方法

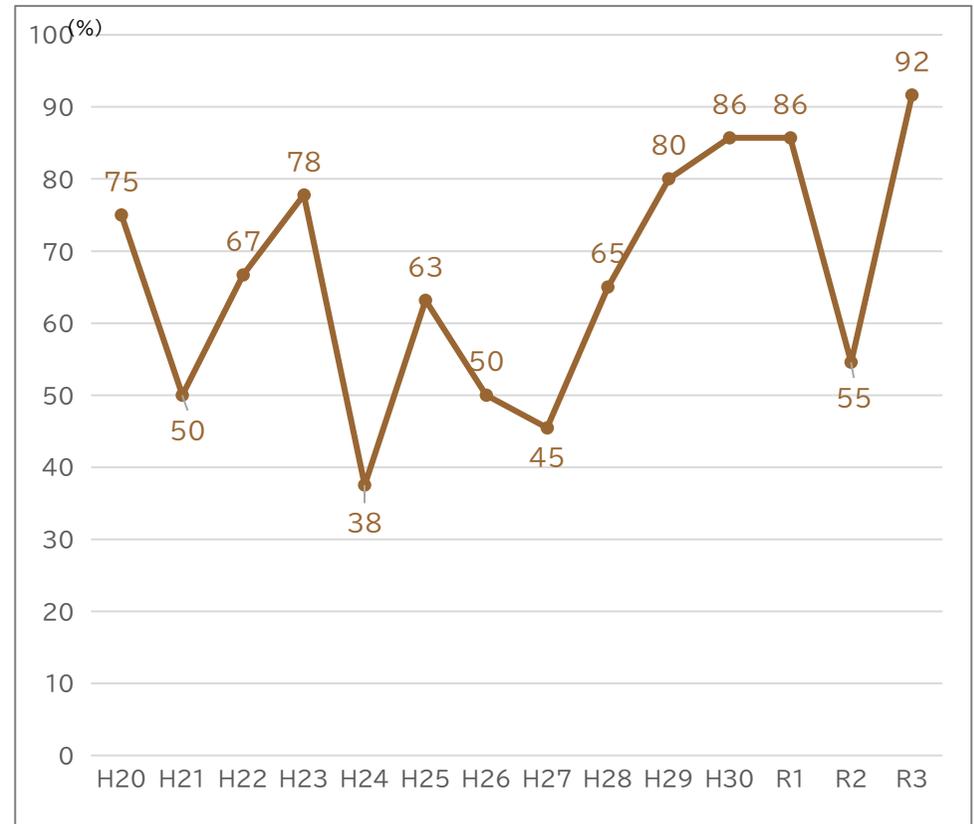
(5) 交通事故

- 人身事故件数、負傷者数は減少傾向にあり、死者数については、10人程度で推移している。
- 全死者数に占める65歳以上の高齢者の死者数の割合は高い傾向にある。

●福井市の交通事故による人身事故件数、負傷者数、死者数の推移



●福井市の交通事故による全死者数に占める高齢者死者数の割合の推移

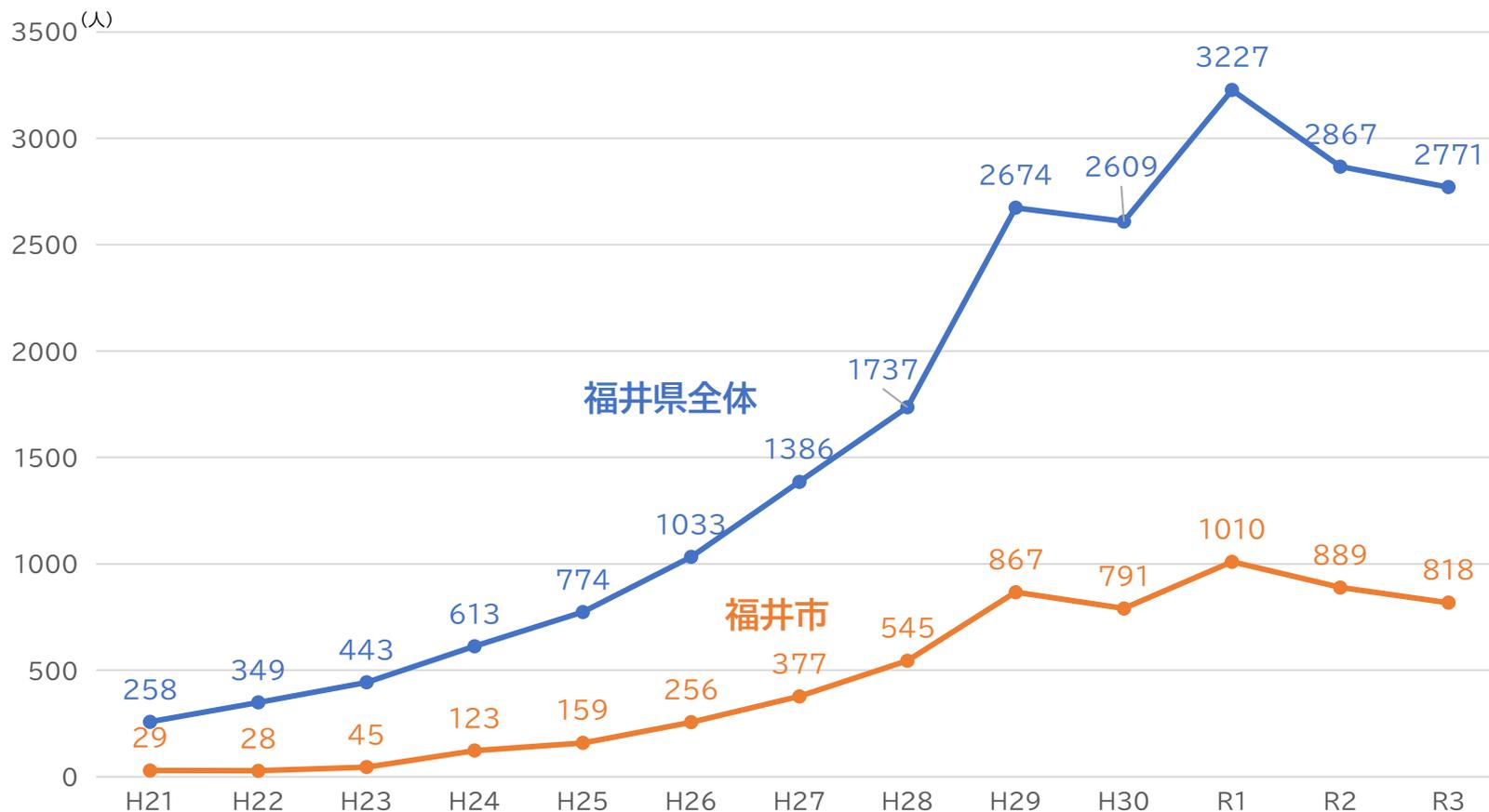


出典：福井県警察本部「福井の交通」(R3)

(6) 運転免許返納

○運転免許返納者数は、2019年(令和元)までは増加傾向にあったものの、近年では、減少傾向にある。

●免許返納者数の推移

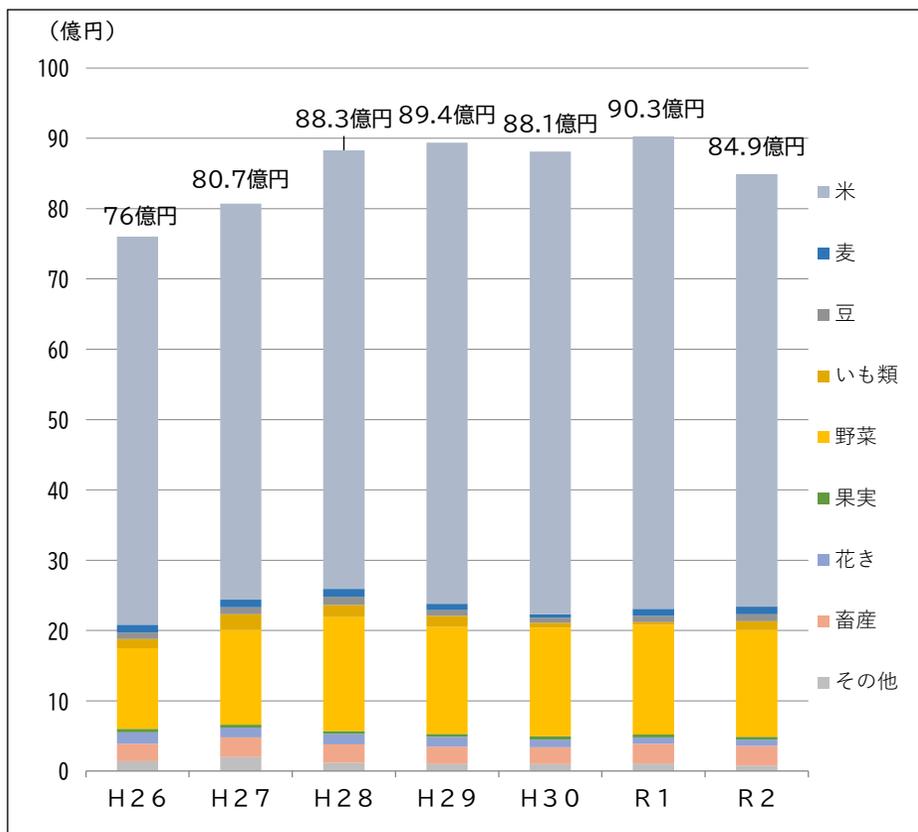


農林水産業

(1) 農業

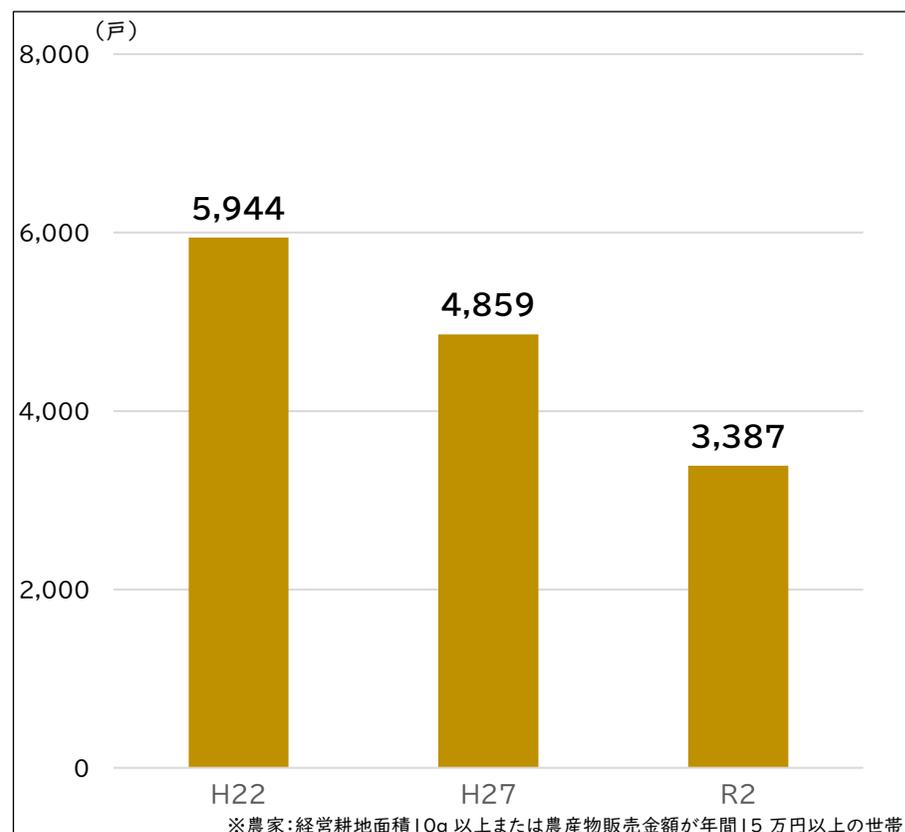
○農業産出額は、近年増加傾向にあり、また、米が全体の約7割を占めている。
○水田農業において担い手への農地集積が進んだことなどにより、2010年（平成22）と比較すると2020年（令和2）の農家数は43%減少している。

●本市の農業産出額の推移



出典：農林水産省 作物統計
(平成26～令和2年 市町村別農業産出額 (推計))

●本市の農家数



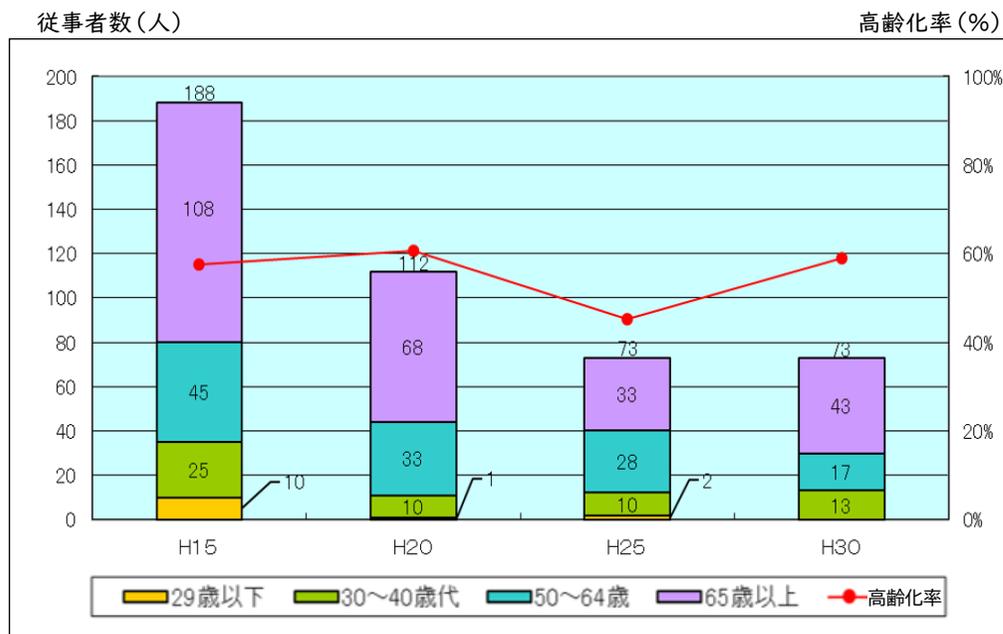
出典：2020年（R2）「農林業センサス」

農林水産業

(2) 漁業

○基幹的漁業従事者数については、年々減少傾向にあり、また2018年(平成30)の高齢化率は59%となっている。
 ○2008年(平成20)と2018年(平成30)の魚種別漁獲量を比べると、すべての魚種において、漁獲量が減少している。

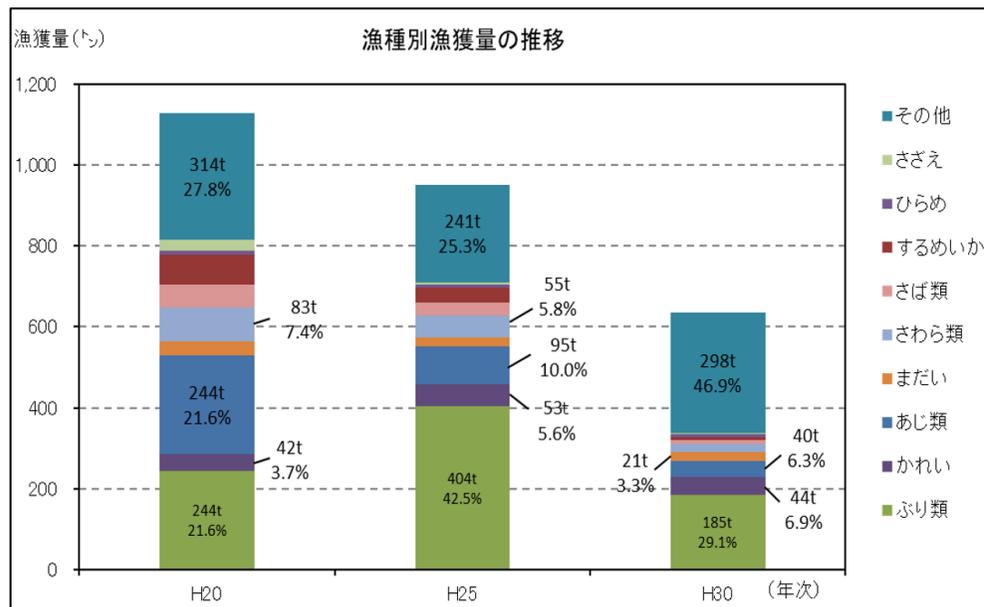
●基幹的漁業従事者の年齢階層の推移(福井市)



※基幹的漁業従事者…個人経営体の世帯員のうち、満15歳以上で自家漁業の海上作業従事日数が最も多い者

出典：2018年 漁業センサス

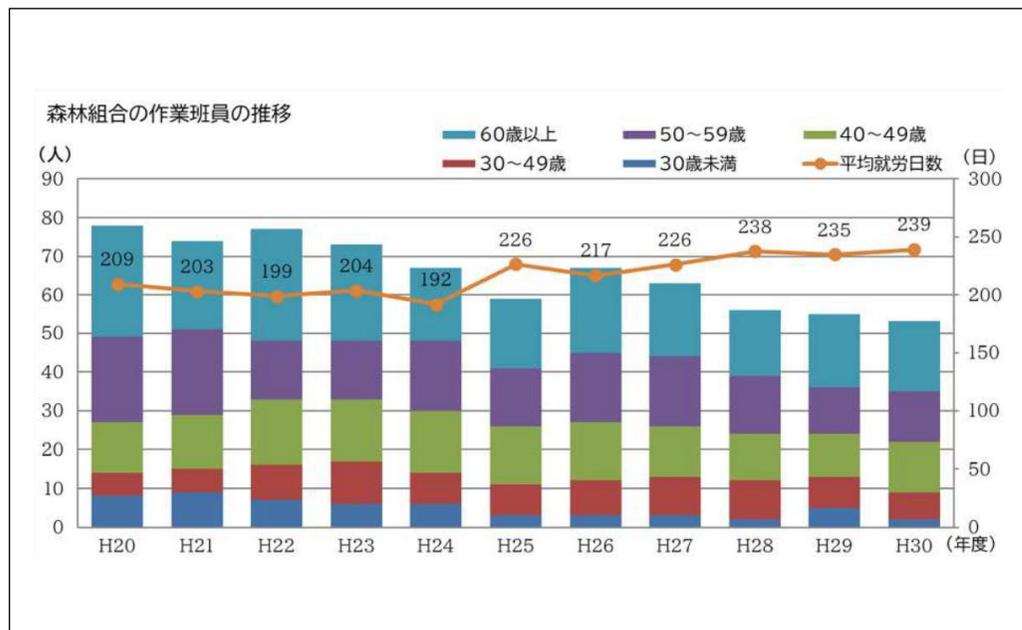
●魚種別漁獲量の推移(福井市)



出典：農林水産省平成30年「海面漁業生産統計調査」

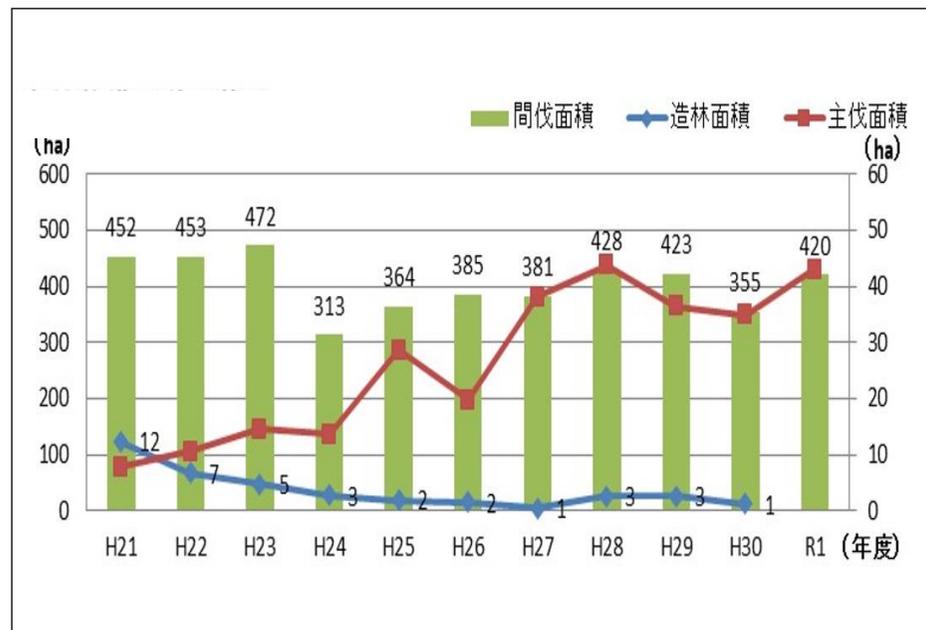
- 本市管内で活動している森林組合の作業班員数は減少傾向にある。
- 本市の間伐面積は年間平均400haで推移しているが、造林面積は減少傾向にあり、資源の循環利用が図られていない状況となっている。

●森林組合の作業班員の推移(福井市)



出典：福井県林業統計書

●森林整備面積の推移(福井市)



出典：福井県林業統計書

※主伐・・・利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり、伐採後、次の世代の樹木の育成を行う。

※間伐・・・育成段階にある森林において樹木の混み具合に応じて、育成する樹木の一部を伐採(間引き)し、残存木の成長を促進する作業。間伐を行うことにより森林の公益的機能の維持・増進を図ることができる。

- イノシシの捕獲頭数が減少している一方で、シカの捕獲頭数が増加傾向にある。
 ○有害鳥獣による被害金額について、令和元年は前年を上回ったものの、全体としては減少傾向にある。

●本市の有害鳥獣の被害等の推移

	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2
イノシシ捕獲頭数 (頭)	1,511	1,449	1,322	1,185	1,368	593	1,415	637
シカ捕獲頭数 (頭)	40	192	141	180	390	410	653	996
鳥獣類による 農業被害面積 (ha)	38.15	35.63	37.00	31.39	13.85	12.71	17.06	10.35
被害金額(千円)	21,562	18,619	16,287	11,247	13,195	13,758	19,749	10,979

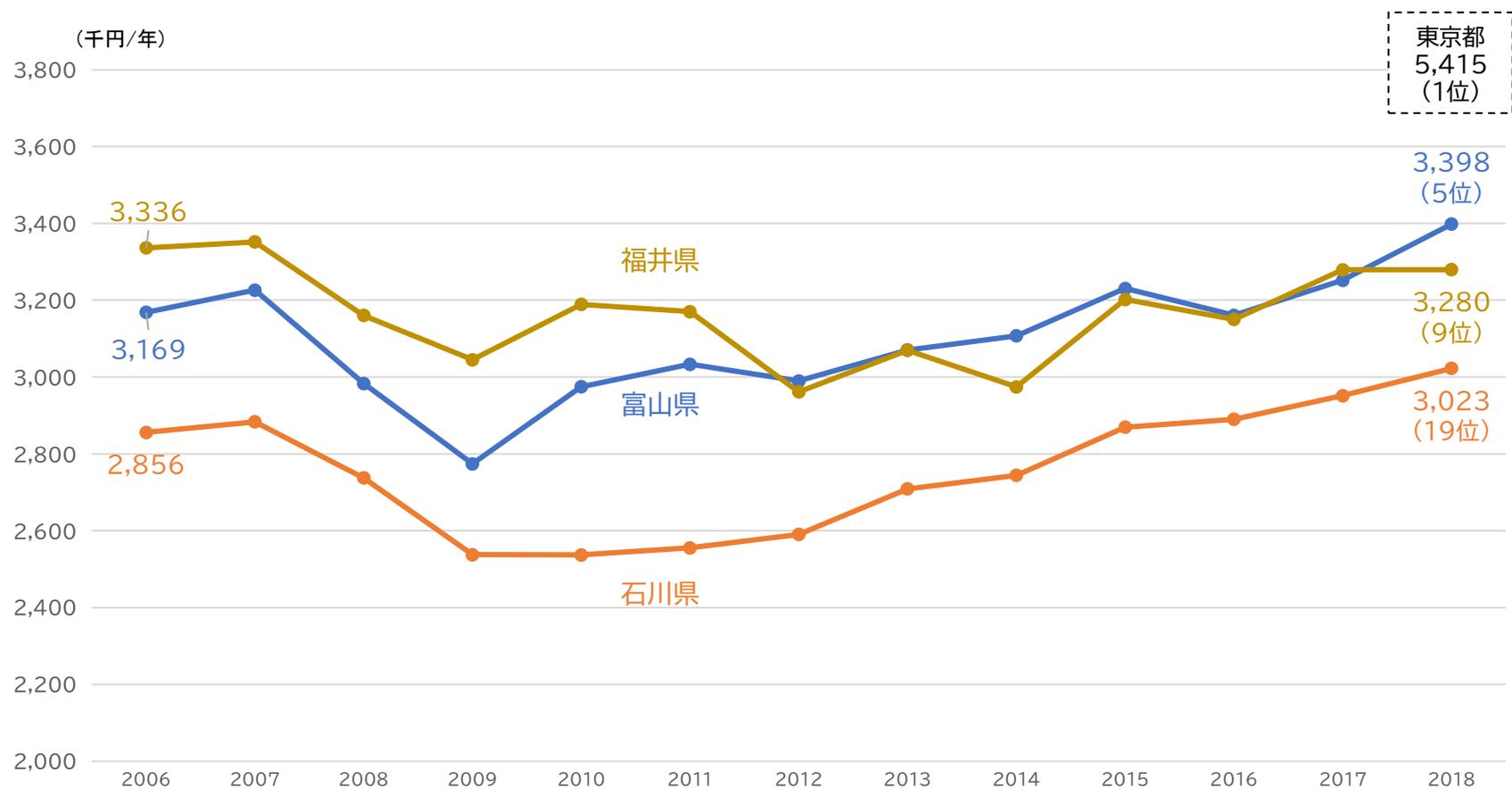
出典：第2次福井市農業活性化プラン
福井市調べ

商工業

(1)所得

- 本県の一人当たり県民所得は、全国上位に位置している。
- 一人当たりの県民所得は、全国1位の東京都が他の道府県を大きく上回っている。

●一人当たり県民所得の推移

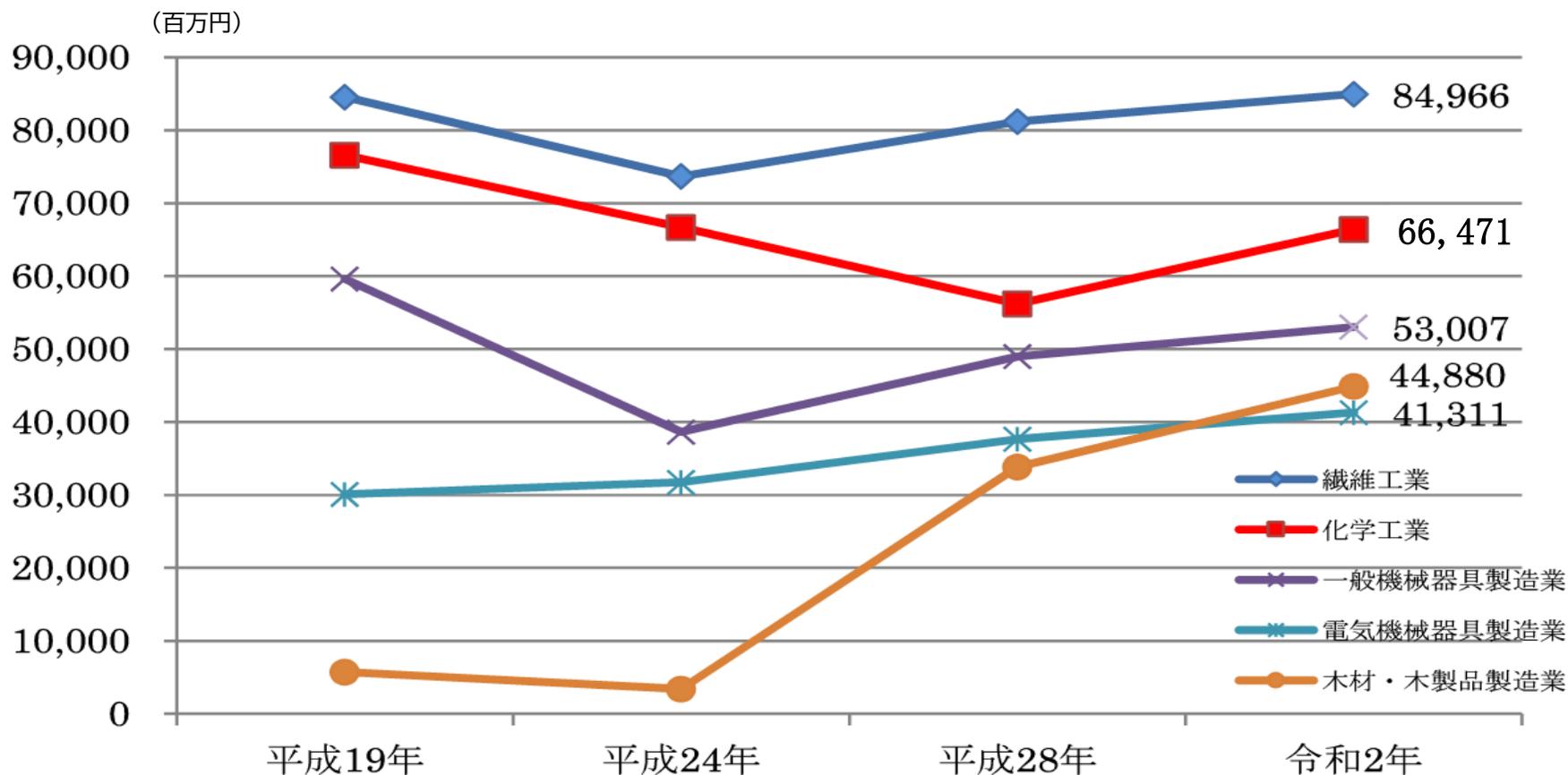


商工業

(2) 製造業(出荷額)

- 工業統計調査(従業員数4人以上)によると、製造品出荷額等は、繊維工業、化学工業の順に多い。
- 繊維工業の減少が顕著であったが、近年は回復傾向が見られる。

●本市の製造品出荷額等の推移(上位5業種)



商工業

(3) 製造業(従業者・事業所数)

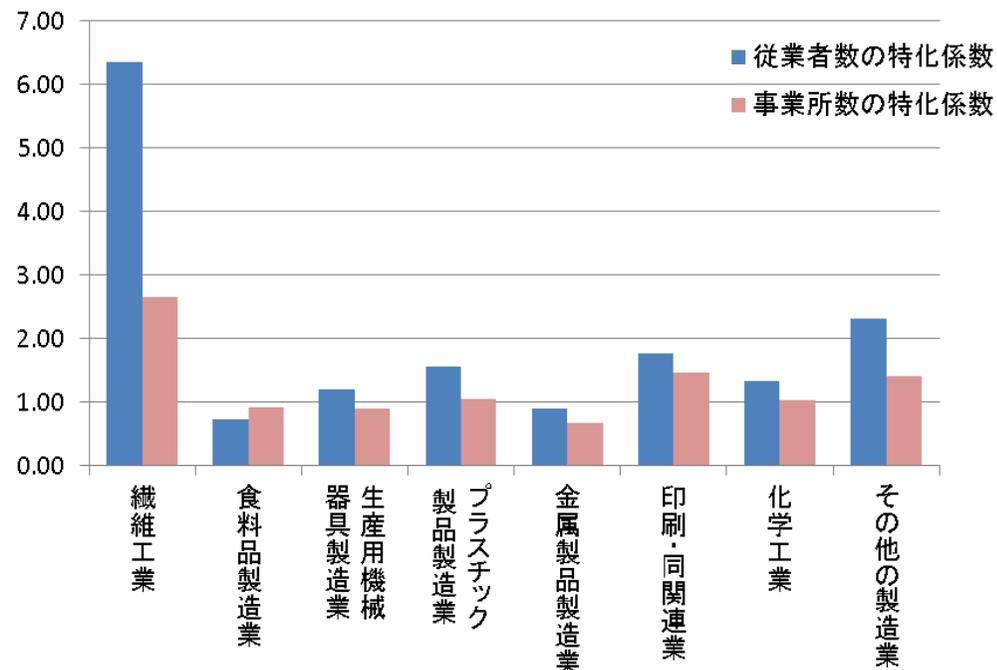
○本市の業種において、従業者、事業所数ともに最も多いのは繊維工業(5,460人、338事業所)となっている。
 ○特化係数をみると、従業者数、事業所数のいずれにおいても、繊維工業の特化傾向が顕著であり、本市製造業の大きな特徴となっている。

●本市の業種別の従業者数、事業所数(2016年)

産業中分類	従業者数	事業所数
繊維工業	5,460	338
食料品製造業	2,200	143
生産用機械器具製造業	1,837	116
プラスチック製品製造業	1,727	78
金属製品製造業	1,495	129
印刷・同関連業	1,478	137
化学工業	1,348	29
その他の製造業	1,288	134
製造業の計	20,796	1,441

※本市の製造業において、従業者数が多い業種(構成比5%以上)を抜粋

●本市の特化係数〔従業者数及び事業所数〕(2016年)



※ 特化係数
 「本市における構成比／全国における構成比」
 により算出される、地域のある産業が、どれだけ特化しているかを見る係数

商工業

(4)有効求人倍率

○有効求人倍率は、全国1、2位の水準で推移し、2021年度(令和3)の求職者の不足数は約10,000人。
○職種別では、「事務職」に比べ、「建設・土木業」や「介護・保健医療サービス業」の求人倍率が高く、職種・業種間で格差が生じている。

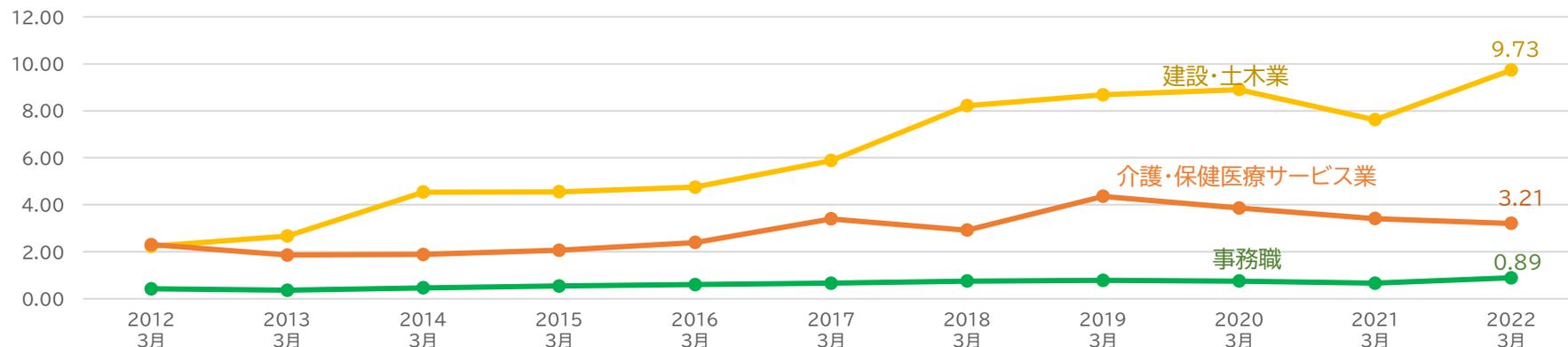
●福井県の求人・求職の動向(年間平均者数)



・人手不足が約10,000人
・有効求人倍率 1.92倍

●福井県の職種別有効求人倍率

出典:雇用失業情勢(令和4年4月分)(福井労働局)



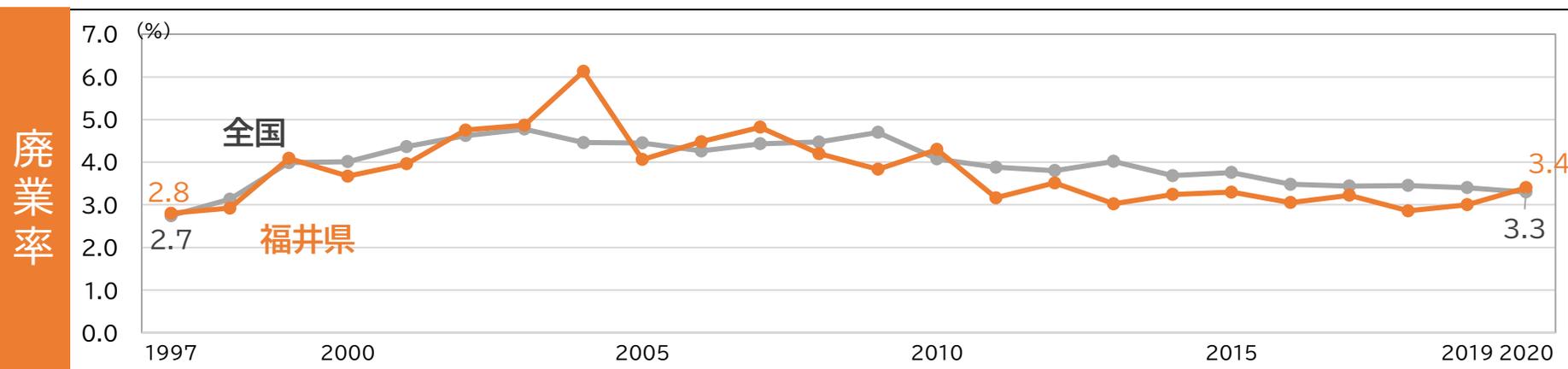
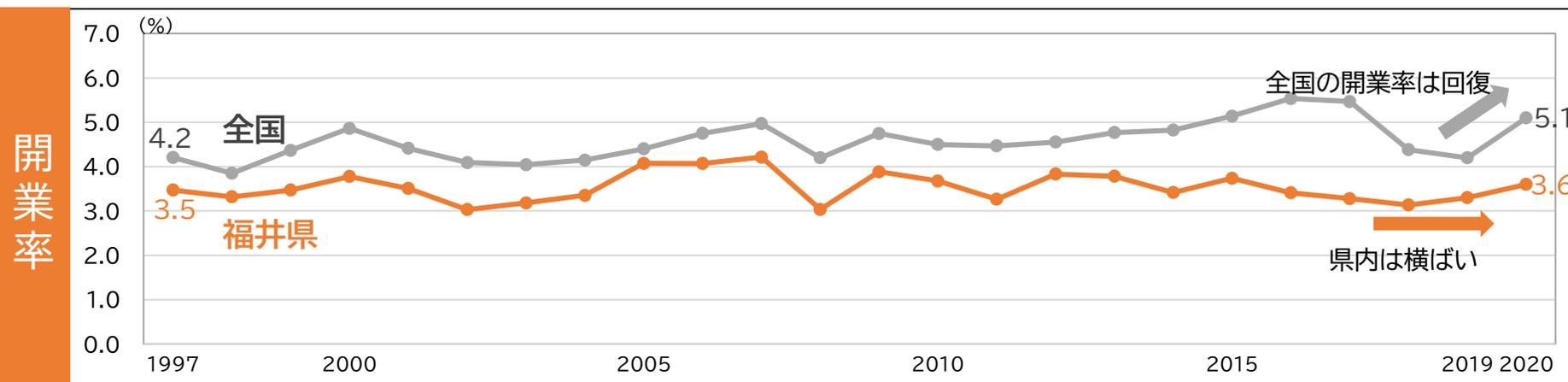
出典:有効求人・求職者状況(令和4年3月分)(福井労働局)

商工業

(5)開業率・廃業率

- 近年、全国の開業率は回復しているが、福井県では横ばいとなっている。
- 福井県の廃業率は、全国よりもやや低い値で推移しているが、2020年は全国の上を回った。

●国及び福井県における開業率・廃業率の推移



開業率…当該年度の雇用関係が新規に成立した事業所数／前年度末の雇用保険適用事業所数×100
 廃業率…当該年度に雇用関係が消滅した事業所数／前年度末の雇用保険適用事業所数×100

出典：中小企業白書（経済産業省）から算出

観光

(1)新幹線開業による経済波及効果

- 県内へのビジネス客や観光客が増加することにより、宿泊費や飲食費など、様々な分野で県内消費の増加が見込まれる。
- この観光客等が県内で消費すること(直接効果)により、食材や製品・原材料などの生産も誘発され、さらにはそれらを配送するための需要が発生するなど、幅広い産業に新たな需要が次々と生み出される。(間接一次効果)
- 間接一次効果の過程で雇用者の所得も増加するため、それがさらに地域内での新たな個人消費につながり、経済全体が活発化(間接二次効果)することにより、年間約309億円の経済波及効果が見込まれる。

●北陸新幹線金沢～敦賀間開業による経済波及効果イメージ

北陸新幹線 金沢～敦賀間開業

直接効果

県内産業の需要増加
(宿泊費や飲食費、お土産代など)

約191億円

内訳

エリア	目的	経済効果	入込客数
首都圏から (日本人)	ビジネス	83億円	35.9万人
	観光	90億円	35.5万人
関西圏から (日本人)	ビジネス	7億円	3.2万人
	観光	10億円	3.9万人
計		191億円	78.5万人

間接一次効果

他産業への新たな需要
(食材や製品・原材料などの生産誘発)

約71億円

間接二次効果

県内消費の増加
(雇用者所得増加⇒新たな個人消費)

約48億円

経済波及効果

約309億円(注)

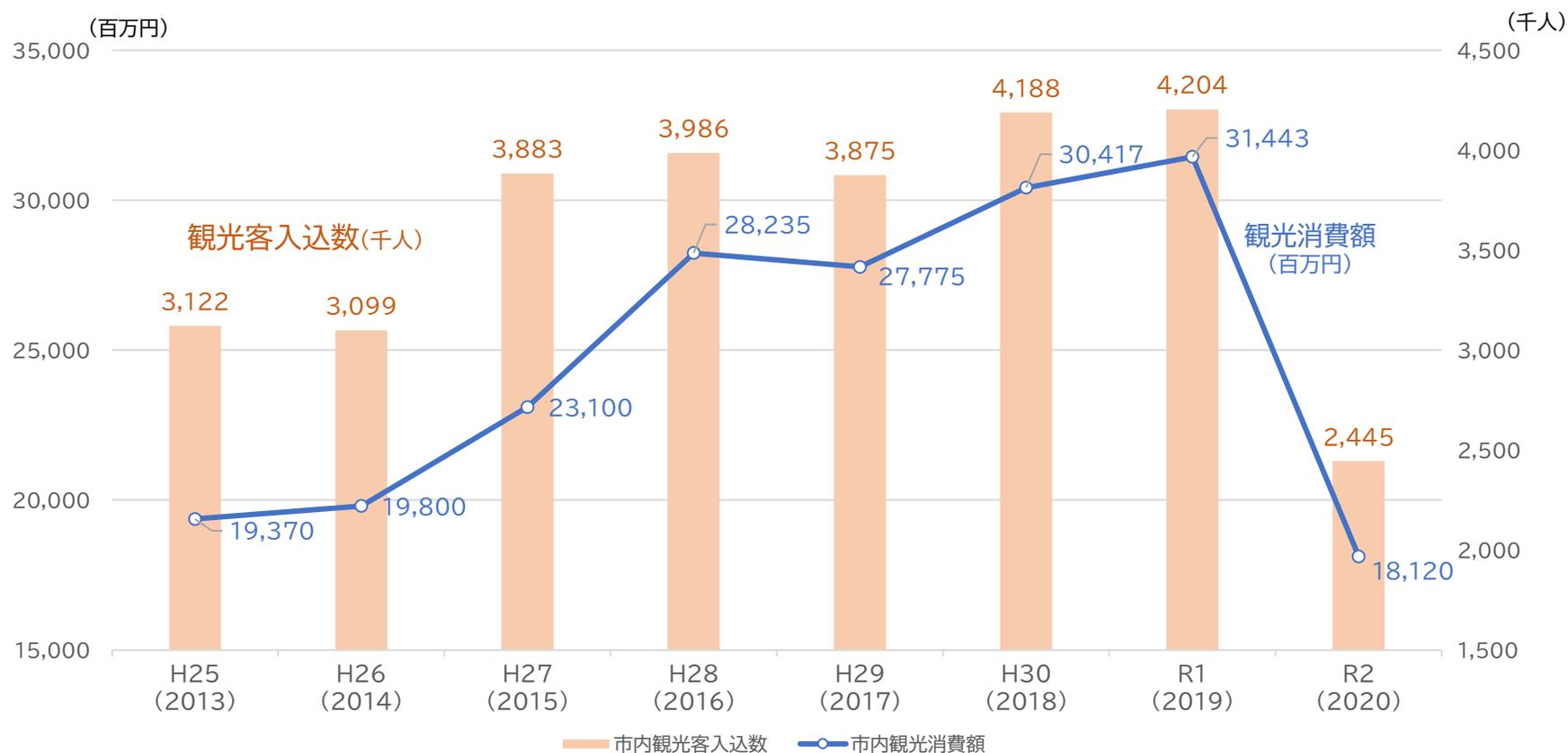
出典：R2.2 日本政策投資銀行北陸支店レポート
「北陸新幹線敦賀開業による福井県内へ経済波及効果」
※福井県内への首都圏及び関西圏からの増加入込客が福井県内にもたらす効果を算出(インバウンドを除く)

観光

(2)観光

○2015年(平成27)3月の北陸新幹線金沢開業以降、観光客入込数は増加傾向にあり、観光消費額も増加。
○2020年度(令和2)については、新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく落ち込んでいる。

●本市の観光客入込数と観光消費額の推移

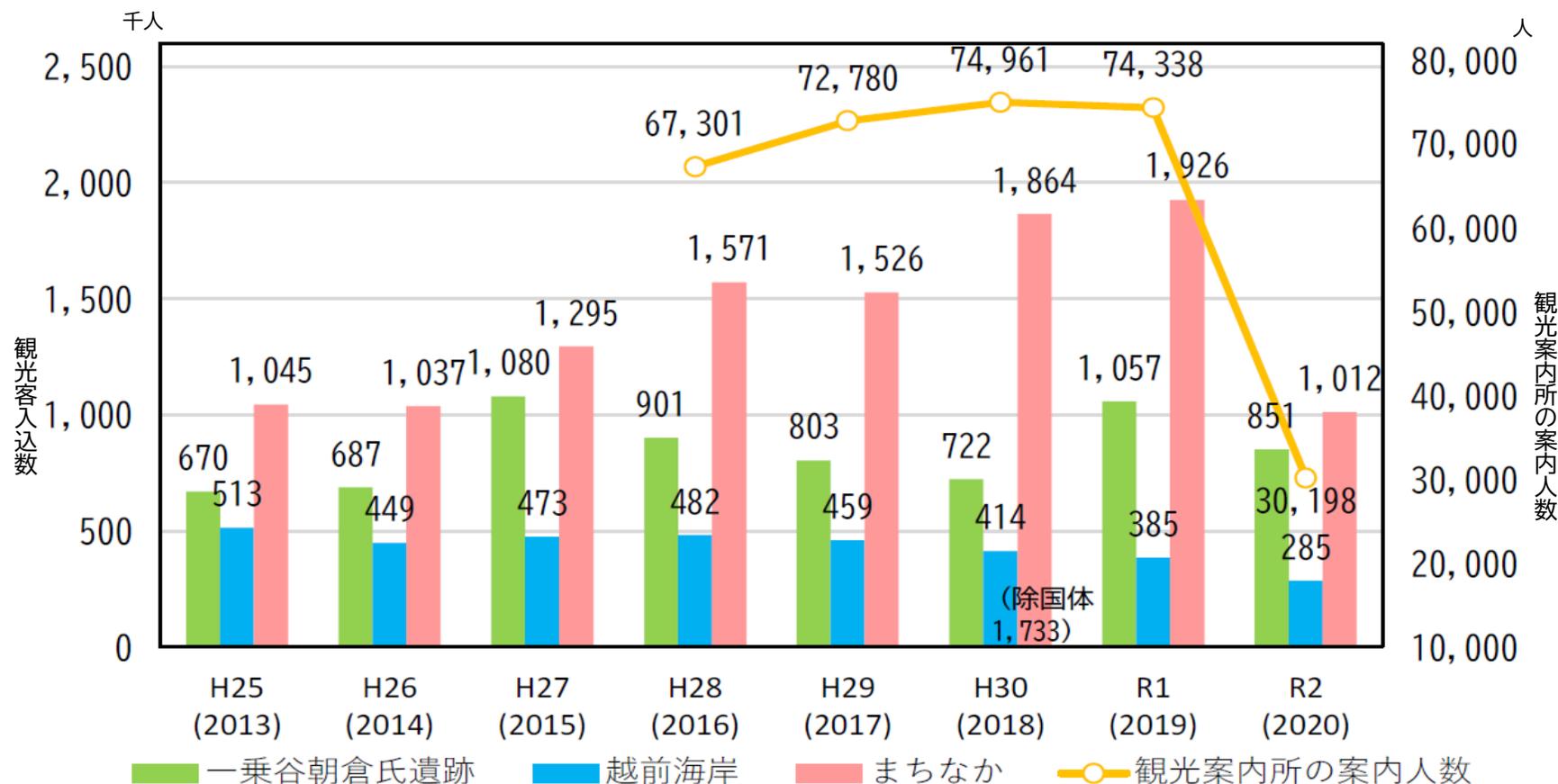


観光

(3)観光地別 観光客入込数

○観光地別では、「まちなか」への観光客が増加傾向にある。
 ○2020年度(令和2)については、新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく落ち込んでいる。

●本市の観光拠点別観光客入込数と観光案内所の案内人数

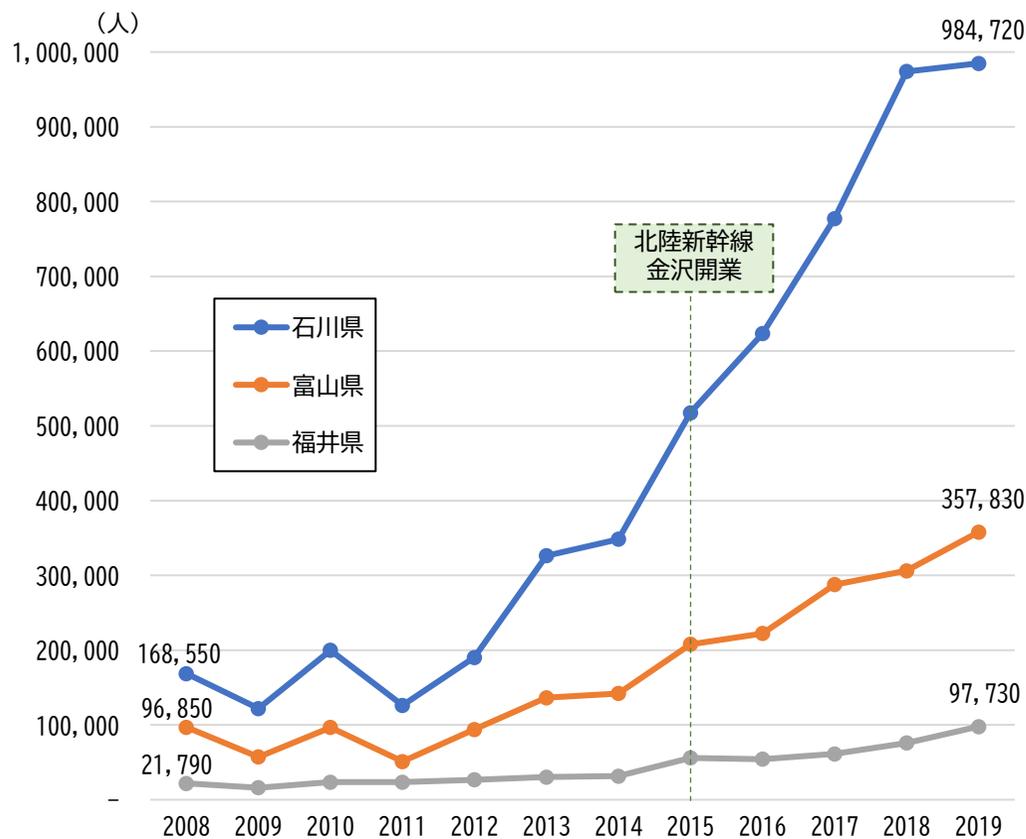


観光

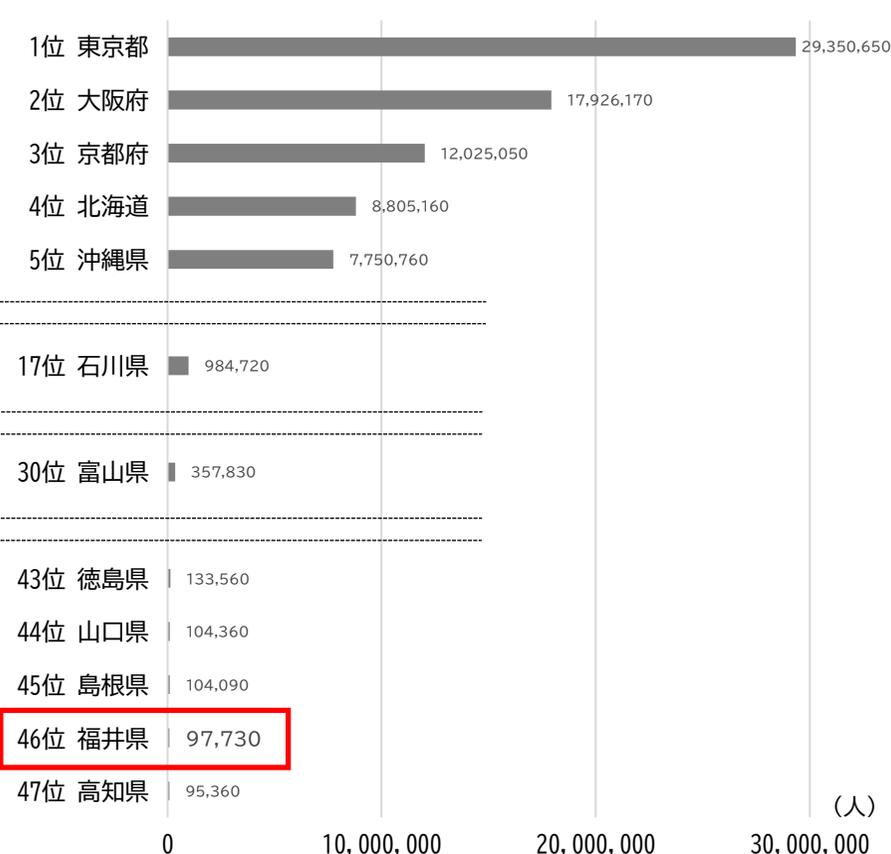
(4)外国人観光客

○福井県の外国人宿泊者数は着実に増加しているものの、石川県・富山県は新幹線開業を契機に、大幅に増加した。
○全国順位で見ると、福井県は46位となっている。

●北陸三県の外国人宿泊者数の推移



●外国人宿泊者数の全国順位(2019)

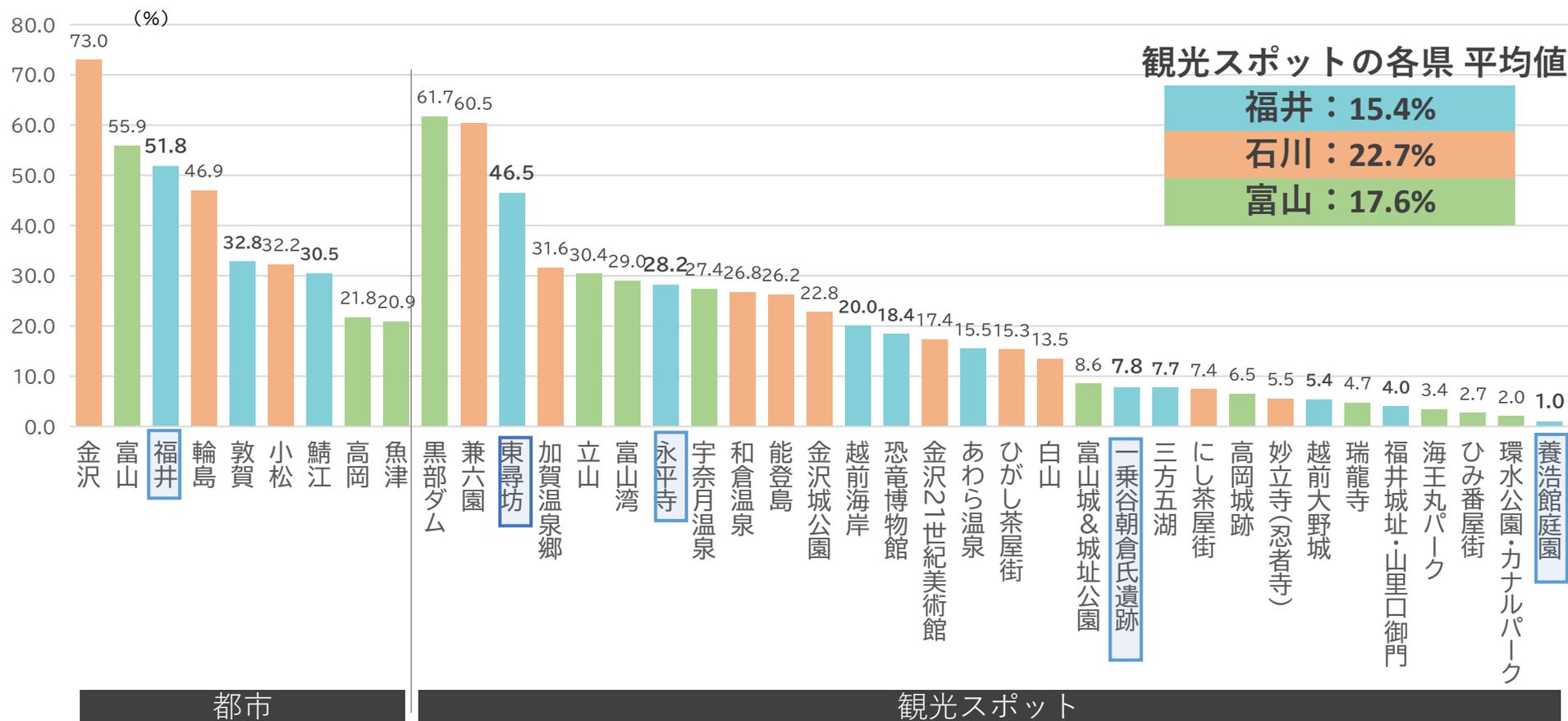


観光

(5)首都圏での認知度

○福井県の観光スポットの認知度平均は約16%となっており、北陸三県で最も認知度が低くなっている。
 ○その中でも福井市の観光スポットである一乗谷朝倉氏遺跡は7.8%、養浩館庭園は1.0%と認知度が低く、東尋坊の46.5%、永平寺28.2%と比べて大きな差がある。

●北陸三県の都市・観光スポットの認知度



※2019年に関東地方（一都六県）居住の20～69歳の生活者に対し、インターネット調査を実施（有効回収数：24,891）

(1)文化指標の都道府県順位

○都道府県 幸福度ランキングでは、福井県は総合1位だが、文化分野では、低い順位となっている。
 ○内訳で見ると、「文化活動等NPO認証数」が45位と最下位付近にあり、県民の文化活動が低調と言える。

●福井県の幸福度ランキングの経年変化(都道府県順位)

		2012年版	2014年版	2016年版	2018年版	2020年版
総合ランキング		3位	1位	1位	1位	1位
分野別 (5分野)	健康	16位	17位	13位	8位	14位
	文化	44位	38位	42位	33位	38位
	仕事	1位	1位	1位	1位	1位
	生活	3位	3位	7位	5位	4位
	教育	1位	1位	1位	1位	1位



※学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動を行うNPO認証数

○本市には数多くの文化財があり、代表的なものとしては、「一乗谷朝倉氏遺跡」「大安寺」「養浩館庭園」などがある。
○令和3年3月に、県内で初めて国の重要文化的景観として「越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観」が選定された。

●本市の文化財の登録状況(R4.1.6)

	国指定（選定）文化財	県指定文化財	市指定文化財
建造物	1 大安寺	3 瑞源寺本堂 等	17 旧梅田家住宅 等
絵画	3 絹本著色 羅漢図 等	9 絹本著色 親鸞聖人伝絵 等	3 絹本著色 八祖九祖絵図 等
彫刻	1 木造十一面観音菩薩立像	18 木造阿弥陀如来坐像 等	18 木造聖徳太子立像 等
工芸品	3 鉄製銀象眼冑 等	5 刀 銘越前国康継 等	1 梵鐘
書跡、典籍、古文書	2 紙本墨書 結城宗広 自筆書状 等	2 八十一難経版本 等	3 西蓮寺文書 等
歴史資料	1 世界及日本図 六曲屏風	2 木彫朱漆塗カメラ 等	
考古資料	2 福井県一乗谷朝倉氏遺跡出土品 等	6 船形石棺 等	5 石棺附副葬品 等
無形民俗文化財	2 睦月神事 等	6 馬鹿ばやし 等	1 免鳥夜網節
有形民俗文化財		1 鎌のコレクション	1 八幡神社千石船絵馬
史跡	3 一乗谷朝倉氏遺跡 等	5 北堀貝塚 等	18 盛源寺 等
名勝	2 養浩館(旧御泉水屋敷)庭園 等		1 青木氏(青木蘭麿堂)庭園
天然記念物	1 アラレガコ生息地	1 真杉家のタラヨウ	20 ラカン樹 等
文化的景観	1 越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観		

表以外に、国選択文化財：1、国登録文化財：24がある。

学校教育

(1)学力全国順位

○2007年度(平成19)の調査開始以来、全国トップクラスの学力を維持している。

●全国学力・学習状況調査結果の推移

小学校総合順位

	2007	2008	2009	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2021
1位	秋田	石川	石川	石川	秋田 石川	石川							
2位	福井	石川	秋田	秋田	秋田		秋田						
3位	香川	青森	青森	青森	石川	石川	石川	福井	福井	福井	福井	福井	福井 東京
4位	青森	富山	広島	京都	青森	青森	青森	青森	広島	愛媛	富山	青森 富山	
5位	富山	東京	石川	広島	富山	香川	富山	富山	富山	富山	東京 広島		京都

中学校総合順位

	2007	2008	2009	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2021
1位	福井	福井	福井	福井	秋田	秋田	福井	福井	福井	福井	福井	福井	石川
2位	富山	秋田	秋田	秋田	福井	福井	秋田	秋田	秋田	石川	石川	石川 秋田	福井 秋田
3位	秋田	富山	富山	富山	富山	石川	富山	石川	石川	秋田	秋田		
4位	石川	岐阜	石川	岐阜	石川	岐阜	石川	富山	富山	富山	富山	富山	東京
5位	岐阜	石川	岐阜	石川	群馬	富山	静岡	岐阜	静岡	愛媛	静岡	東京 静岡	静岡

※2020年度は調査未実施

※順位については、国語・算数(数学)の平均正答率の合計で順位付

※公立のみ

学校教育

(2)体力全国順位

○児童生徒の体力では、2008年度（平成20）の調査開始以来、全国トップクラスを維持している。

●全国学力・運動能力、運動習慣等調査結果の推移

小学校男子(5年生)

	2008	2009	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2021	
1位	福井	大分	福井	大分									
2位	秋田	秋田	秋田	茨城	新潟	新潟	茨城	茨城	茨城	茨城	福井	大分	福井
3位	新潟	新潟	新潟	秋田	茨城	茨城	新潟	秋田	石川	石川	石川	石川	石川
4位	茨城	茨城	千葉	新潟	秋田	石川	石川	広島	秋田	茨城	秋田	秋田	秋田
5位	千葉	千葉	茨城	石川	石川	秋田	秋田	石川	大分	広島	茨城	埼玉	埼玉

小学校女子(5年生)

	2008	2009	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2021	
1位	福井	福井											
2位	秋田	秋田	秋田	茨城	大分								
3位	新潟	茨城	茨城	秋田	秋田	新潟	新潟	秋田	秋田	大分	秋田	秋田	秋田
4位	茨城	新潟	新潟	新潟	新潟	秋田	秋田	新潟	新潟	新潟	大分	茨城	茨城
5位	千葉	千葉	千葉	千葉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	秋田	埼玉	新潟

中学校男子(2年生)

	2008	2009	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2021
1位	千葉	茨城	福井	茨城	茨城	福井	福井	茨城	福井	福井	茨城	新潟
2位	福井	秋田	秋田	新潟	福井	茨城	茨城	福井	茨城	茨城	福井	大分
3位	秋田	福井	千葉	福井	新潟	新潟	新潟	新潟	石川	新潟	大分	福井
4位	茨城	千葉	新潟	岩手	秋田	埼玉	石川	石川	新潟	石川	新潟	秋田
5位	新潟	新潟	茨城	秋田	千葉	千葉	千葉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	岩手

中学校女子(2年生)

	2008	2009	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2021
1位	千葉	福井	福井	茨城	茨城	福井						
2位	福井	千葉	茨城	福井	福井	茨城	茨城	茨城	茨城	埼玉	埼玉	埼玉
3位	茨城	茨城	千葉	千葉	千葉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	茨城	茨城	茨城
4位	埼玉	岩手	静岡	埼玉	埼玉	千葉	千葉	千葉	石川	新潟	新潟	新潟
5位	岩手	埼玉	埼玉	静岡	新潟	新潟	石川	石川	千葉	石川	広島	大分

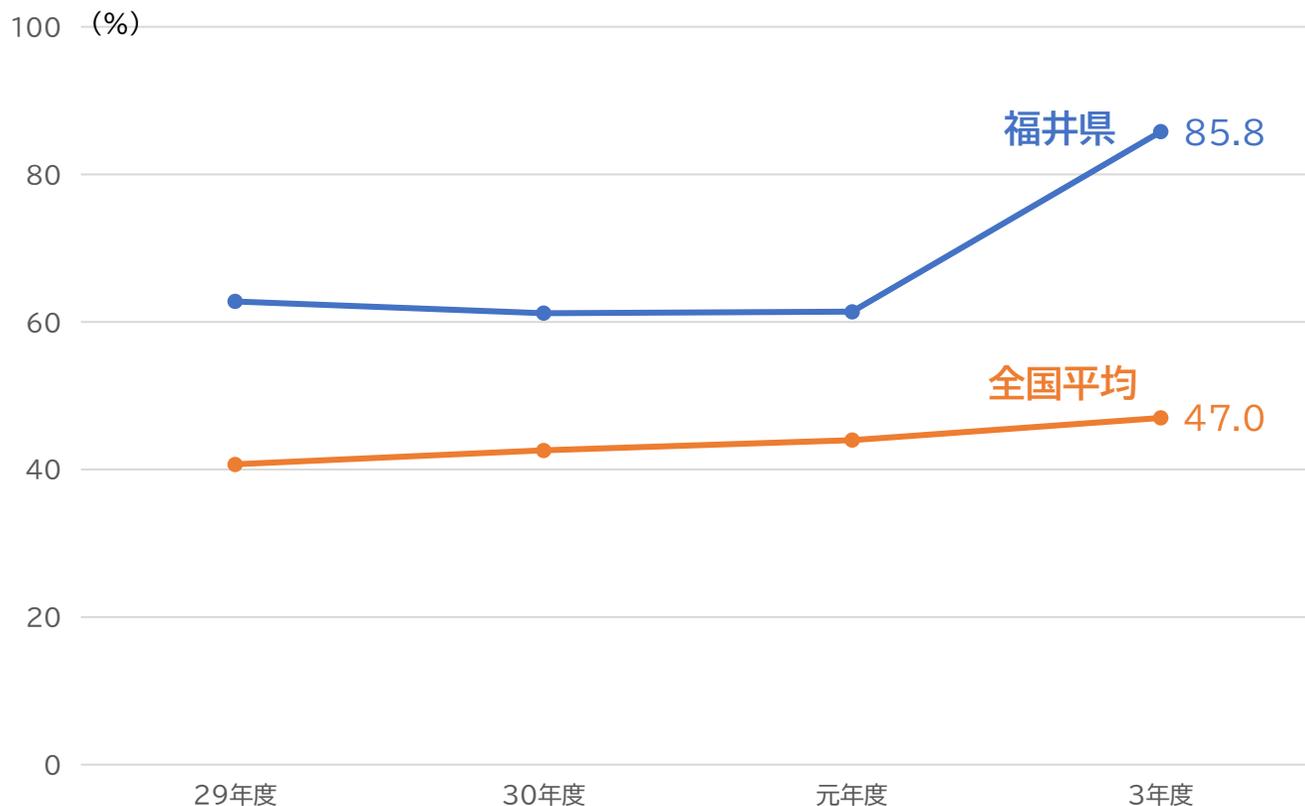
※2020年度は調査未実施

学校教育

(3)英語力

○福井県の中学3年生の英語力は、全国平均を大きく上回っており、都道府県別で4年連続全国第1位となっている。

●中学3年生の英語力の推移(英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合)



※全国平均には、政令指定都市を含む
※令和2年度は、コロナ禍に伴い調査なし

【令和3年度 都道府県別上位】

都道府県	割合
①福井県	85.8%
②群馬県	60.9%
③石川県	56.3%
④岐阜県	55.3%
⑤東京都	54.4%

学校教育

(4) 児童・生徒数

○児童・生徒数が減少すると予測される学校が多い一方、一部の学校では、児童・生徒数が増加すると予測されている。

●児童・生徒数及びクラス数の予測

小学校名	児童数			クラス数		
	H30 (2018)	R5 (2023)	R10 (2028)	H30 (2018)	R5 (2023)	R10 (2028)
森田	923	1,094	1,120	29	35	36
明新	900	750	909	27	24	30
木田	885	875	833	27	28	24
社南	833	812	838	27	26	24
中藤	813	770	780	25	25	24
和田	630	681	772	21	23	24
円山	565	473	458	18	18	18
松本	546	460	476	18	17	18
社北	542	547	604	18	19	18
豊	510	443	404	17	16	12
清明	491	469	453	18	18	18
啓蒙	437	425	406	16	14	12
麻生津	399	347	283	14	13	12
社西	347	329	299	12	12	12
日之出	346	346	343	12	12	12
東安居	311	302	240	12	12	12
湊	309	293	280	12	12	12
春山	308	237	199	12	11	6
日新	263	231	208	11	10	6
西藤島	241	240	196	11	11	6
足羽	237	207	186	9	8	6
東郷	225	197	149	9	7	6
旭	224	208	191	10	9	6
宝永	224	188	144	9	7	6
河合	201	164	132	8	7	6
鶴	201	147	138	8	6	6
東藤島	200	157	133	7	6	6
酒生	181	122	106	6	6	6
清水西	176	140	134	6	6	6
安居	154	148	103	6	6	6
文殊	135	108	87	6	6	6
順化	129	147	123	6	6	6
清水北	122	102	75	6	6	6
岡保	112	106	84	6	6	6
清水東	107	85	74	6	6	6
六条	97	76	70	6	5	5
清水南	82	68	85	6	6	6
粟	73	55	64	6	5	5
本郷	70	36	37	6	4	4
下宇坂	67	44	6	6	4	
鷹巣	64	46	6	6	4	
上文殊	59	61	39	6	5	4
大安寺	62	54	40	5	6	4
美山啓明	45	54	4	4	5	
羽生	44	38	4	4	4	
国見	35	33	26	4	4	3
一乗	30	26	25	3	4	3
越廼	30	27	19	3	3	3
殿下	16	5	6	3	3	3
長橋	15	13		3	3	
計	14,016	12,986	12,533	536	519	

中学校名	児童数			クラス数		
	H30 (2018)	R5 (2023)	R10 (2028)	H30 (2018)	R5 (2023)	R10 (2028)
明倫	703	664	644	23	23	23
灯明寺	531	642	557	18	21	19
成和	515	528	542	18	18	19
明道	513	444	412	18	15	15
大東	479	532	434	16	19	15
足羽	443	451	411	15	15	15
光陽	395	356	368	12	14	13
進明	393	409	302	13	14	12
社	393	428	396	13	15	15
藤島	376	330	318	12	12	12
至民	370	358	370	12	12	13
森田	325	445	519	12	16	18
足羽第一	306	301	226	11	11	9
清水	254	235	168	9	9	6
川西	127	128	70	6	6	3
安居	80	75	68	4	3	3
美山	63	69	57	3	3	3
鷹巣	40	45	30	3	3	3
大安寺	36	26	28	3	3	3
粟	34	37	23	3	3	3
越廼	31	12	13	3	3	3
国見	17	20	13	3	3	3
殿下	8	10	3	3	3	2
計	6,432	6,545	5,972	233	244	230

【小学校】	
標準を上回る	19学級以上
標準	12~18学級
標準を下回る	6~11学級
標準を下回る	複式あり
<small>(特別支援学級を除く)</small>	
【中学校】	
標準を上回る	19学級以上
標準	12~18学級
標準を下回る	3~11学級
<small>(特別支援学級を除く)</small>	

●H30(2018)年度小学校の児童数

・H30年5月1日現在の児童数

●R5(2023)年度小学校の児童数

・6年生はH30年度の1年生の人数をあてはめる。
・1~5年生は住民登録上の人数を基に予測される人数を算出。

●R10(2028)年度小学校の児童数

・6年生は住民登録上の人数を基に予測される人数を算出。
・1~5年生はH33年度の0~4歳児予測人数。(H28年10月時点の住民登録上の人数を基にコーホート変化率法を用いた25~34歳女子人口推計に婦人子ども比を用いて算出。)

●R10(2028)年度小学校のクラス数の算出

【児童数が70人超の場合】

・ $((\text{児童数}/\text{学年数})/(\text{1クラス人数}/35)) \times (\text{学年数}/6)$

【児童数が70人以下の場合】

・児童数によりクラス数を固定

児童数	クラス数
51~70人	5
31~50人	4
30人以下	3

※1:(鷹巣)+(長橋)=46人

※2:(下宇坂)+(羽生)+(美山啓明)=116人

出典：福井市学校規模適正化検討委員会 資料（一部加工）

生涯学習、生涯スポーツ

(1)生涯学習

○地域住民の活動拠点である公民館では、令和3年度は延べ約34万人が利用している。
 ○令和2年度以降は、コロナ感染対策として利用制限期間があったことから、参加人数が大きく減少している。

●公民館における事業別延べ参加人数(令和3年度)

公民館主体事業			団体主体事業		合計
教育事業	講座	会議	共催事業	団体事業	
34,078人	132,725人	34,784人	24,238人	111,533人	337,457人
10.1%	39.3%	10.3%	7.2%	33.1%	100.0%

●教育事業における目的別延べ参加者数

	目的別事業					項目計(人)
	地域の課題解決 に向けた事業	家庭教育 に関する事業	少年教育 に関する事業	青年教育 に関する事業	郷土学習 に関する事業	
R3年度	15,692	5,185	5,762	3,300	4,148	34,087
R2年度	14,921	5,550	5,269	3,687	4,301	33,728
R元年度	28,655	10,527	11,401	4,856	10,605	66,044
H30年度	30,158	9,615	11,579	6,104	10,035	67,491
H29年度	38,718	8,919	13,974	6,406	9,609	77,626

※令和元年度から郷土学習に関する事業を福井学事業に一本化

○本市には、5つの図書館と移動図書館があり、1年間で約50万人の方が利用している。

●図書館の利用状況(令和2年度)

		市立 図書館	移動図書館 (市立)	みどり 図書館	移動図書館 (みどり)	桜木 図書館	美山 図書館	清水 図書館	福井市 総計
開館日数		252日	111日	253日	93日	300日	211日	260日	—
入館者数		129,006人	8,364人	146,420人	6,763人	193,702人	7,414人	6,732人	498,401人
貸出冊数	一般書	201,140冊	7,904冊	197,673冊	5,773冊	134,972冊	6,931冊	8,239冊	562,632冊
	児童書	132,964冊	24,267冊	133,678冊	13,159冊	54,753冊	4,706冊	7,390冊	370,917冊
1日平均入館者数		512人	—	579人	—	646人	35人	26人	1,798人
1日平均貸出冊(点)数		1,413冊・点	—	1,483冊・点	—	689冊・点	63冊・点	71冊・点	3,719冊・点

生涯学習、生涯スポーツ

(3)スポーツ

○市体育施設では、令和2年度以降は、コロナ感染対応として利用制限期間があったことから、利用者数が減少している。
 ○スポーツを楽しみながら心身の健全な育成を図ることを目的として、様々な種目のスポーツ少年団が活動している。

●市体育施設利用者数

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
利用者数(万人)	111	125	123	124	117	106	65	63

万人未満切り捨て

●福井市スポーツ少年団 種目別団数・団員数登録状況(令和3年度)

種目別	複合	リーダー会	野球	剣道	ソフトボール	バレーボール	卓球	サッカー	ミニバスケット	バドミントン	陸上	マーチング	合計
団数(団)	2	1	26	2	3	17	3	8	10	5	2	1	80
団員数(人)	46	9	428	36	31	197	28	214	209	78	81	13	1,370
前年比 団員数(人)	+13	+2	-23	-3	-8	-6	-2	-40	+12	-16	-17	+1	-87

その他

(1) 住みよさランキング

○東洋経済新報社から発表された「住みよさランキング2022」において、本市は歴代最高位となる全国第2位となった。
(県庁所在地及び中核市の中では、いずれも第1位)

●「住みよさランキング」における福井市の順位変動

	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (令和元)	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)
安心度	48位	66位	165位	169位	212位	119位
利便度	111位	156位	42位	43位	51位	50位
快適度	222位	244位	213位	251位	259位	260位
裕福度	182位	183位	67位	76位	69位	21位
総合	13位	32位	4位	5位	7位	2位

【「住みよさランキング2022」について】

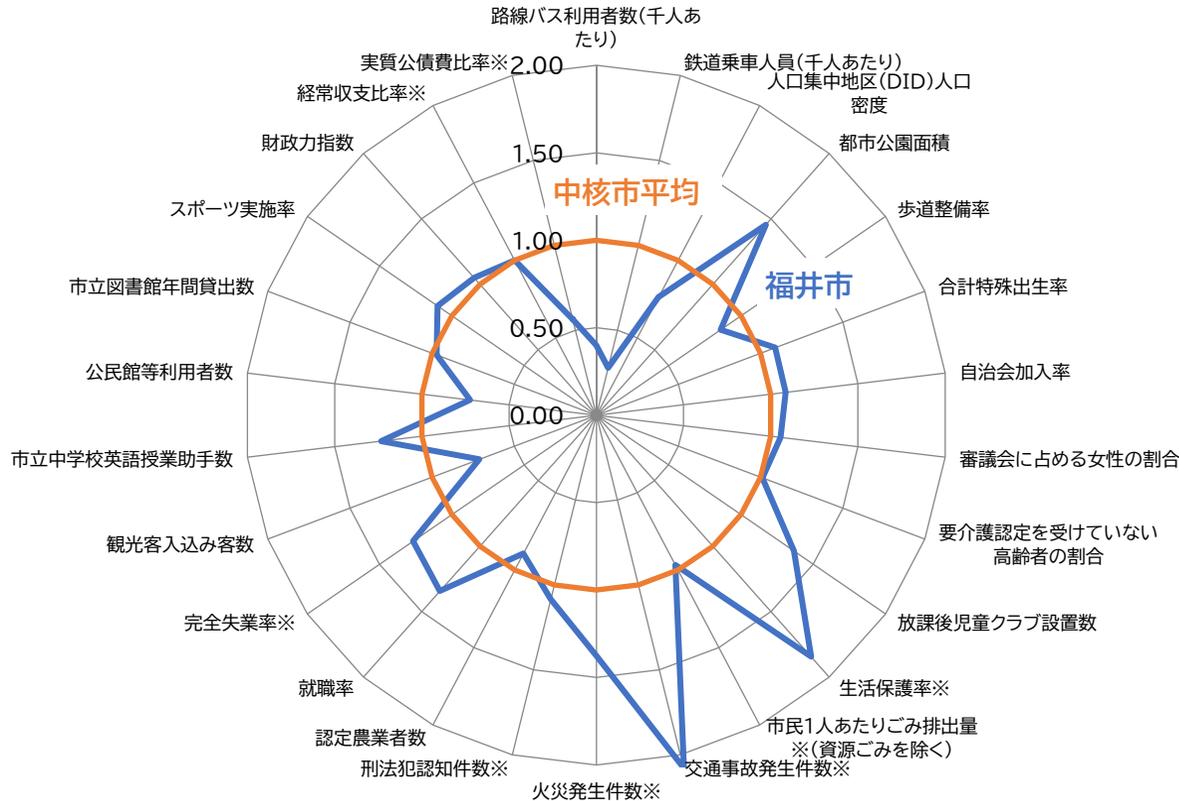
公的統計等を基に、それぞれの都市の「住みよさ」を「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」の4つのカテゴリーに分類し、20の指標について偏差値を算出して、その平均値を総合評価として全国の812都市を順位付けしたものを。

その他

(2)中核市との比較

- 中核市平均よりも優れている指標は、「都市公園面積」「合計特殊出生率」「就職率」など
- 中核市平均よりも劣っている指標は、「鉄道乗車人員(千人あたり)」「観光客入込み数」など

●中核市平均を1.00とした時の福井市の行政水準(令和元年度末基準:62中核市)



※数値が低いほど望ましい指標(※のついた指標)については、低い方が良い指標であるため、逆数をとって指数化している

	項目	福井市	中核市平均	順位	単位
社会基盤	路線バス利用者数(千人あたり)	0.03	0.08	27位	人/日
	鉄道乗車人員(千人あたり)	861.1	3096.71	44位	人/日
	人口集中地区(DID)人口密度	4,874	6,390	44位	人/㎢
	都市公園面積	15.4	10.6	11位	㎡/人
	歩道整備率	15.6	18.1	29位	%
市民福祉	合計特殊出生率	1.53	1.41	11位	-
	自治会加入率	74.5	68.6	21位	%
	審議会に占める女性の割合	31.8	30.1	21位	%
	要介護認定を受けていない高齢者の割合	81.6	80.7	20位	%
	放課後児童クラブ設置数	6.1	4.5	12位	クラブ数/児童千人
	生活保護率※	9.73	17.95	11位	%
	市民1人あたりごみ排出量※(資源ごみを除く)	850.00	822.74	36位	g/人日
	交通事故発生件数※	200.8	417.7	7位	件/10万人
産業	火災発生件数※	1.95	2.68	14位	件/万人
	刑法犯認知件数※	5.32	5.77	26位	件/千人
	認定農業者数	230	257	27位	経営体
	就職率	43.10	32.09	4位	%
教育	完全失業率※	3.44	4.35	8位	%
	観光客入込み客数	16.0	22.5	36位	人/市民1人
	市立中学校英語授業助手数	2.9	2.4	17位	人/生徒千人
	公民館等利用者数	1.33	1.84	44位	人/市民1人
財政	市立図書館年間貸出数	4.67	4.80	26位	冊/市民1人
	スポーツ実施率	49.5	45.03	16位	%
	財政力指数	0.84	0.80	21位	-
	経常収支比率※	93.10	93.08	31位	%
	実質公債費比率※	10.30	5.82	55位	%

出典：地方行財政調査資料2021.11.12「中核市の行政水準に関する調べ」